

2020（令和2）年度 事業報告書



学校法人 藍野大学

— 目 次 —

ウィズ・コロナによるパラダイムシフト	1
第一 法人の概要	
1. 基本情報	2
2. 建学の精神	2
3. 学校法人の沿革	2
4. 設置する学校・学部・学科等及びその学生生徒数の状況	3
5. 収容定員充足率	4
6. 役員・評議員の概要	4
7. 教職員の概要	5
8. その他	6
第二 事業の概要	
1. 主な教育・研究の概要	6
2. 中期的な計画及び事業計画の進捗・達成状況	28
第三 財務の概要	
1. 決算の概要	69
2. その他	73
3. 経営状況の分析、経営上の成果と課題、今後の方針・対応方策	74

ウィズ・コロナによるパラダイムシフト

新型コロナウイルス緊急対策本部を中核組織に様々な感染対策を実行

新型コロナウイルスの感染症拡大が顕在化した 2020 年 2 月以降、本法人では様々な感染防止策を立案・実施してまいりました。2020 年 2 月 21 日には感染拡大防止に向けた組織運営の要となる新組織として「学校法人藍野大学新型コロナウイルス緊急対策本部」を設置し、安全衛生委員会などからの助言・提言を受けながら、感染症対策の基本方針を決定し、各種施策を実行してきました。

2020 年 5 月には藍野大学などで遠隔授業を開始し、6 月には医療職を要請する大学として不可欠な臨地・臨床実習を遂行するため、分散登校による対面授業・実習を開始しました。対面授業の実施に当たっては、本法人の全設置校に「非接触型体温測定システム・顔認証ゲート」を導入するなど、万全の感染症対策を講じています。



さらに、藍野大学及び藍野大学短期大学部を含む茨木市内 6 大学と茨木市は、8 月 3 日にウィズ・コロナにおける学生生活の在り方を提唱する共同声明を発表しました。

共同声明の三本柱

- ・自分が感染しているかも!?という意識を持とう!
- ・おうちかんを大切に、新しいコトをはじめよう!
- ・こんな時こそ、スマイル、Happy、ポジティブに!



学校法人は、教育の質を高めるための前提条件として、学生・生徒の健康や安全の確保に最大限留意しなければなりません。本法人は通学再開により学生・生徒が「3 つの密」にさらされるリスクが増大している現状を踏まえ、感染防止に向けた生活スタイルの周知徹底や登校前の検温の義務付けによる水際対策、遠隔授業の一部継続、超音波噴霧器の設置など多彩な取り組みを推進しています。

また、ウィズ・コロナ時代の教育に必要な措置・施策を学生や保護者に客観的に提示してご理解いただくとともに、戦略的な予算投入によりその実効性を高めていくことが今後ますます重要になってくるものと認識しています。社会の構造や様相がどのように変化しても、学生・生徒の学修機会をしっかりと担保していくこと、それこそが本法人の果たすべき最大の責務だと受け止めています。



第一 法人の概要

1. 基本情報

(1) 法人の名称 学校法人 藍野大学

(2) 主たる事務所及び従たる事務所の住所、電話番号、FAX 番号、ホームページアドレス等

①法人事務局 大阪府茨木市高田町 1-22

<http://www.aino.ac.jp/> TEL.072-621-3764 / FAX.072-621-3756

②藍野大学 大阪府茨木市東太田 4-5-4

<http://univ.aino.ac.jp/index2.php> TEL.072-627-1711 / FAX.072-627-1753

③びわこリハビリテーション専門職大学 滋賀県東近江市北坂町 967

<http://aino.ac.jp/professional/> TEL.0749-46-2311 / FAX.0749-46-2313

④藍野大学短期大学部

大阪茨木キャンパス 大阪府茨木市太田 3-9-25

<http://col.aino.ac.jp/index2.html> TEL.072-626-2361 / FAX.072-621-1901

大阪富田林キャンパス 大阪府富田林市青葉丘 11-1

<https://www.aino-jc.jp/otc/> TEL.072-366-1106 / FAX.072-366-1107

⑤藍野高等学校 大阪府茨木市東太田 4-5-11

<http://high.aino.ac.jp/> TEL.072-627-1796 / FAX.072-627-1797

⑥滋賀医療技術専門学校 滋賀県東近江市八日市東浜町 1-5

<http://shiga.aino.ac.jp/> TEL.0749-46-2311 / FAX.0749-46-2313

2. 建学の精神

「愛智精神 [Philo-sophia] にもとづく人間教育」

この建学の精神にもとづき、人間愛と知性と情操を高め、継続的な自己研鑽を基礎に深い探究心をもった医療従事者の養成に努めています。

3. 学校法人の沿革

1968年4月1日	医療法人恒昭会 藍野病院附属准看護学院 指定
1975年4月1日	医療法人恒昭会 藍野病院附属高等看護学院 指定
1978年4月1日	医療法人附属を藍野看護専門学校に変更、藍野看護専門学校 看護専門課程・看護高等課程 設置
1979年9月1日	(準)学校法人藍野学院 創立、藍野看護専門学校 設置者変更
1983年3月31日	藍野看護専門学校を藍野医療技術専門学校に名称変更
1985年4月1日	藍野学院短期大学 開学
1986年3月31日	藍野医療技術専門学校看護高等課程准看護科 廃止
1988年3月31日	藍野医療技術専門学校医療専門課程看護科(2年課程) 廃止
1990年4月1日	藍野医療技術専門学校医療専門課程看護学科(2年課程定時制) 設置
1993年4月1日	藍野学院短期大学専攻科(地域看護学専攻) 設置
1993年4月1日	藍野医療技術専門学校看護学科2年課程 定時制から全日制へ変更
1994年4月1日	藍野医療技術専門学校医療秘書・病院管理学科を医療福祉ビジネス学科に名称変更
1996年4月1日	滋賀医療技術専門学校(看護学科、理学療法学科、作業療法学科) 開校
1996年4月1日	藍野医療技術専門学校名を藍野医療福祉専門学校に名称変更
1996年4月1日	藍野医療福祉専門学校介護福祉学科 設置
1999年4月1日	藍野医療福祉専門学校医療福祉ビジネス学科 廃止
2001年7月9日	藍野短期大学に藍野加齢医学研究所を附置
2003年4月1日	藍野学院短期大学別科(留学生別科) 設置

2004年4月1日	藍野大学（看護学科、理学療法学科、作業療法学科）開学
2007年4月1日	藍野学院短期大学看護学科を第一看護学科に名称変更
2007年4月1日	藍野学院短期大学第二看護学科（3年課程）設置
2007年4月1日	藍野学院短期大学附属藍野高等学校（衛生看護科）開校
2008年4月1日	藍野大学医療保健学部看護学科 教職課程認定（高等学校教諭一種（看護）・養護教諭一種）
2010年4月1日	藍野大学医療保健学部臨床工学科 設置
2011年3月31日	藍野学院短期大学留学生別科 廃科
2012年3月31日	藍野医療福祉専門学校 廃止
2012年4月1日	藍野大学医療保健学部看護学科 3年次編入学定員変更（20名→5名）
2012年4月1日	滋賀医療技術専門学校理学療法学科 入学定員変更（40名→80名）
2012年4月1日	藍野学院短期大学を藍野大学短期大学部に、藍野学院短期大学附属藍野高等学校を藍野高等学校に名称変更
2013年4月1日	藍野大学短期大学部専攻科（地域看護学専攻）が、独立行政法人大学評価・学位授与機構の定める要件を満たす専攻科としての認定を受ける
2014年4月1日	藍野高等学校衛生看護科 入学定員変更（80名→100名）
2015年4月1日	藍野大学大学院看護学研究科 設置
2016年4月1日	藍野大学再生医療研究所を藍野大学中央研究施設に改組
2017年4月3日	株式会社藍野大学事業部（学校法人100%出資会社）設立
2017年9月15日	学校法人藍野学院を学校法人藍野大学に名称変更
2018年4月1日	藍野大学医療保健学部看護学科入学定員変更（80名→90名）、3年次編入学定員（5名→2名）
2018年4月1日	キャリア開発・研究センターを藍野大学の附置機関とする
2018年9月1日	メディカル・ヘルスイノベーション研究所を藍野大学短期大学部の附置機関とする
2019年3月4日	滋賀医療技術専門学校 募集停止（2019年度生からの募集を中止）
2020年4月1日	びわこリハビリテーション専門職大学 開学
2020年4月1日	藍野大学医療保健学部看護学科入学定員変更（90名→115名）、理学療法学科入学定員変更（80名→90名）
2020年4月1日	藍野高等学校衛生看護科 入学定員変更（100名→120名）
2020年4月1日	藍野高等学校衛生看護科にメディカルサイエンスコースを開設
2020年4月1日	メディカル・ヘルスイノベーション研究所に「あいの発達支援リハビリ訪問看護ステーション」を開設
2020年8月18日	学校法人明浄学院が運営する明浄学院高等学校を支援すべく支援契約を締結
2021年3月31日	滋賀医療技術専門学校 廃止

4. 設置する学校・学部・学科等及びその学生生徒数の状況（2020年5月1日現在）

学校種・学部	学 科	入学定員	入学者数	編入学定員	収容定員	現員数
藍野大学大学院	看護学研究科	6	7	—	12	13
藍野大学 医療保健学部	看護学科	115	115	2	379	410
	理学療法学科	100	106	—	340	383
	作業療法学科	40	48	—	160	188
	臨床工学科	40	37	—	160	162
	計	295	306	2	1,039	1,143
びわこリハビリ テーション 専門職大学 リハビリテーシ ョン学部	理学療法学科	80	44	—	80	44
	作業療法学科	40	14	—	40	14
	計	120	58	—	120	58
藍野大学 短期大学部	第一看護学科	100	92	—	200	191
	専攻科	40	40	—	40	40
	第二看護学科	80	96	—	240	279
	計	220	228	—	480	510
藍野高等学校	衛生看護科	120	102	—	320	331
滋賀医療技術 専門学校	理学療法学科	—	—	—	80	52
	作業療法学科	—	—	—	40	22
	計	—	—	—	120	74
合 計		761	701	2	2,091	2,129

※収容定員については、学年進行上の数値を記載しています。

5. 収容定員充足率（毎年度5月1日現在）

学校種・学部	学 科	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
藍野大学大学院	看護学研究科	1.00	1.17	1.17	1.00	1.08
藍野大学 医療保健学部	看護学科	1.24	1.26	1.20	1.17	1.08
	理学療法学科	1.17	1.19	1.18	1.12	1.13
	作業療法学科	1.16	1.21	1.12	1.13	1.18
	臨床工学科	1.20	1.17	1.06	1.03	1.01
	計	1.20	1.21	1.16	1.12	1.10
びわこリハビリ テーション 専門職大学 リハビリテーシ ョン学部	理学療法学科	—	—	—	—	0.55
	作業療法学科	—	—	—	—	0.35
	計	—	—	—	—	0.48
藍野大学 短期大学部	第一看護学科	1.25	1.13	1.13	1.05	0.96
	専攻科	1.03	1.00	1.03	1.00	1.00
	第二看護学科	1.22	1.25	1.23	1.19	1.16
	計	1.21	1.18	1.17	1.12	1.06
藍野高等学校	衛生看護科	0.89	0.90	0.96	1.04	1.03
滋賀医療技術 専門学校	理学療法学科	0.69	0.73	0.68	0.71	0.65
	作業療法学科	0.61	0.65	0.66	0.68	0.55
	計	0.66	0.71	0.67	0.70	0.62
合 計		1.07	1.07	1.05	1.06	1.02

6. 役員・評議員の概要（2020年5月1日現在）

役員・評議員の定員数、氏名、就任年月日、常勤・非常勤の別、主な現職等

職名	定数	現員	氏名	就任年月日 (重任年月日)	常勤・ 非常勤	主な現職等	
理事	第1号	1人	菅田勝也	2018年4月1日	常勤	学校法人藍野大学 総務担当常務理事 藍野大学 学長	
	第2号	1人	山川正信	2020年4月1日	常勤	びわこリハビリテーション専門職大学 学長	
	第3号	1人	佐々木恵雲	2014年4月1日 (2020年4月1日)	常勤	学校法人藍野大学 一貫教育担当常務理事 藍野大学短期大学部 学長	
	第4号	1人	小山英夫	2000年11月6日 (2018年4月1日)	常勤	学校法人藍野大学 理事長 滋賀医療技術専門学校 学校長	
	第5号	4人以上 6人以内	5人	佐藤基	2019年4月1日	非常勤	藍野高等学校 前校長
				杉野正一	2014年4月1日 (2018年4月1日)	非常勤	医療法人恒昭会藍野病院 院長
				鷺見光博	2016年11月28日 (2019年11月28日)	常勤	学校法人藍野大学 財務担当常務理事
				山本嘉人	2014年4月1日 (2018年4月1日)	常勤	学校法人藍野大学 副理事長
清水達郎	2020年4月1日	非常勤	東洋興産株式会社 代表取締役				
第6号	1人	1人	岡山栄雄	2011年7月26日 (2018年4月1日)	非常勤	中央総合会計事務所所長 税理士	
監事	2人	2人	中務未樹	2015年4月1日 (2018年4月1日)	非常勤	ブランシュ法律事務所 代表弁護士	
			堀江亮司	2015年4月1日 (2018年4月1日)	非常勤	堀江公認会計士・税理士事務所 公認会計士・税理士	
評議員	第1号	1人	1人	菅田勝也	2012年4月1日 (2018年4月1日)	常勤	再掲のため記載省略
	第2号	1人	1人	山川正信	2020年4月1日	常勤	再掲のため記載省略
	第3号	1人	1人	佐々木恵雲	2014年4月1日 (2020年4月1日)	常勤	再掲のため記載省略
	第4号	1人	1人	小山英夫	1996年5月30日 (2018年4月1日)	常勤	再掲のため記載省略

第5号	3人以上 4人以内	4人	波多野浩道	2017年4月1日 (2018年4月1日)	常勤	藍野大学医療保健学部 学部長 藍野大学医療保健学部臨床工学科 学科長	
			後藤昌弘	2017年4月1日 (2018年4月1日)	常勤	藍野大学医療保健学部理学療法学科 学科長	
			酒井浩	2018年4月1日	常勤	藍野大学医療保健学部作業療法学科 学科長	
			井出千束	2018年4月1日	常勤	びわこリハビリテーション専門職大学リハビリテーション学部作業療法学科 学科長	
	第6号	2人	2人	信岡研身	2012年4月1日 (2018年4月1日)	非常勤	医療法人恒昭会藍野病院 看護部長
				本多容子	2018年4月1日	常勤	藍野大学医療保健学部看護学科 学科長
	第7号	10人以上 13人以内	12人	大村卓司	2015年4月1日 (2018年4月1日)	非常勤	茨木市議会議員
				佐藤基	2019年4月1日	非常勤	再掲のため記載省略
				杉野正一	2014年4月1日 (2018年4月1日)	非常勤	再掲のため記載省略
				岡山栄雄	2011年7月26日 (2018年4月1日)	非常勤	再掲のため記載省略
				鷺見光博	2016年11月28日 (2019年11月28日)	常勤	再掲のため記載省略
				山本嘉人	2014年4月1日 (2018年4月1日)	常勤	再掲のため記載省略
				青山弘義	2012年4月1日 (2018年4月1日)	常勤	藍野大学短期大学部第一看護学科 特任教授
飯田英晴				2018年4月1日	常勤	藍野大学短期大学部 副学長	
足利学				2018年4月1日	常勤	藍野大学短期大学部第一看護学科 学科長	
河合まゆみ	2018年4月1日	常勤	藍野大学短期大学部第二看護学科 学科長				
小林正明	2018年4月1日	常勤	学校法人藍野大学 法人事務局 事務局長				
清水達郎	2020年4月1日	非常勤	再掲のため記載省略				

2020年度においては、本法人は、どの役員とも責任限定契約、補償契約を締結しておらず、また、役員賠償責任保険契約についても加入していません。

7. 教職員の概要（2020年5月1日現在）

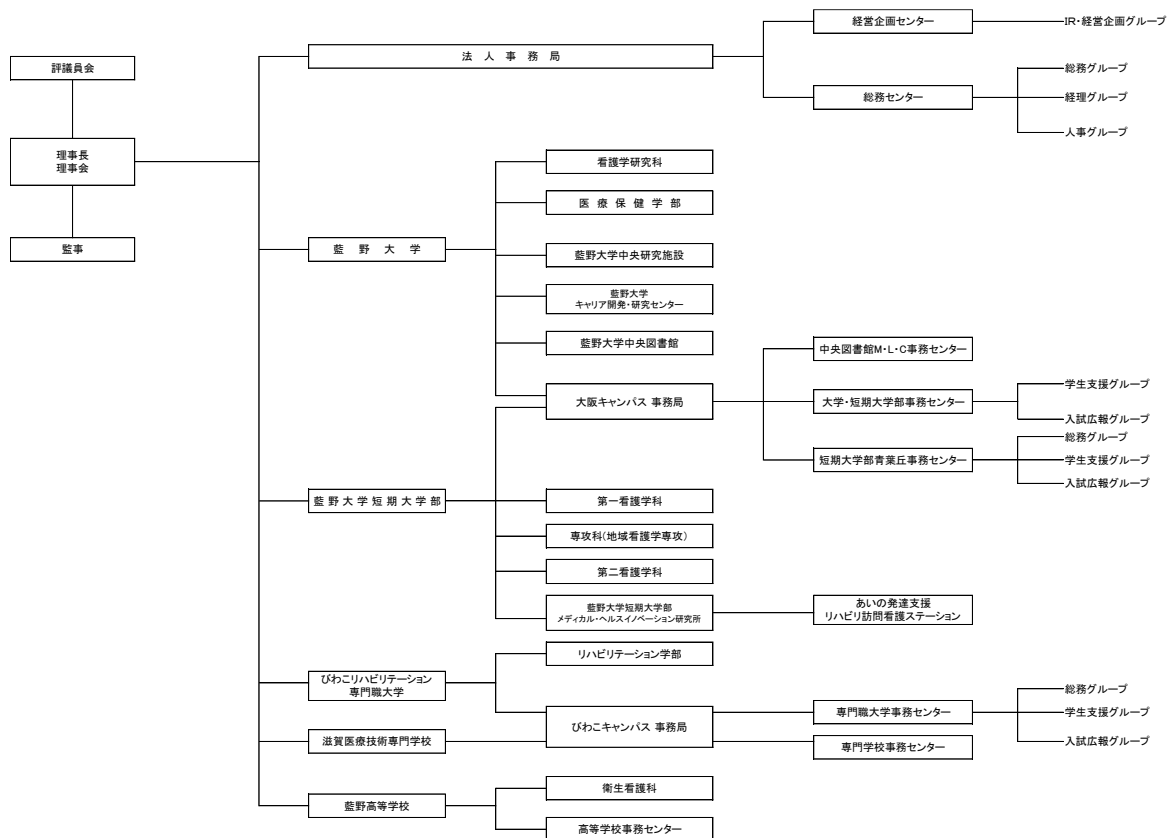
(1) 教職員数（派遣職員は除く）

区分	法人事務局	藍野大学	びわこリハビリテーション専門職大学	藍野大学短期大学部	藍野高等学校	滋賀医療技術専門学校	計	
教員	本務	0	88	31	44	20	10	193
	兼務	0	58	15	97	25	19	214
職員	本務	14 (内、図書館1)	21	12	17	6 (内、寮母1)	1	71
	兼務	2	3	0	2	1	3	11
計	本務	14	109	43	61	26	11	264
	兼務	2	61	15	99	26	22	225

(2) 平均年齢

区分	法人事務局	藍野大学	びわこリハビリテーション専門職大学	藍野大学短期大学部	藍野高等学校	滋賀医療技術専門学校	計	
教員	本務	—	48.1	52.4	52.3	43.7	46.2	49.2
職員	本務	41.6	38.2	39.9	39.6	42.5	—	40.6

8. その他 組織図 (2020年5月1日現在)



第二 事業の概要

本法人では、高等教育機関全体として、18歳人口の減少に伴う規模の縮小や学校経営上の困難といった厳しい事態が生じていることに危機感を持ちつつも、生涯学習ニーズの高まりにより従来型の学生像にとらわれず、社会人学生等幅広い年齢層の積極的な受け入れも視野に入れ、高等教育に対する新しい需要に対応できる学校運営を目指しています。

特に本法人では、「Saluti et Solatio Aegrorum (病める人々を医やすばかりでなく慰めるために)」という心の通った医療サービスの提供を意味する教育理念のもと、ガバナンスの強化や規程の整備などの管理運営の改善はもちろんのこと、運営基盤の安定化に努めるとともに、現代社会が求める「地域に密着し、心の通った安心できる医療の提供」に応えることができる人材の育成及び教育研究活動を積極的に取り組んでおります。2020年度に取り組んだ主な事業について以下、報告します。

1. 主な教育・研究の概要

(1) 藍野大学の3つのポリシー

①卒業の認定に関する方針

【医療保健学部】

医療保健学部では、教育目標に照らし、学部および学科で定めた以下のような能力・資質を身につけることを、卒業認定、および、学士の学位授与の方針とする。各学科で定めた卒業要件単位の修得をもって、系統的な履修にもとづく学位授与方針の達成とみなす。

I. 知識

医療の基礎的知識に加えて、人や文化、社会情勢、科学技術、環境等に関する基本的な教養を習得している。

II. 技能

知識、技術、情報を活用、発信する実践力、コミュニケーション力を体得し、専門職者として科学的根拠に基づいた対応ができる。

III. 態度・姿勢

医療人および社会人として必要な倫理観、行動力を備え、生涯学び続けることで日進月歩の医療知識を職務に反映しようとする心構えができています。

IV. 協創

医療に関わる全ての人と、調和的、創造的な問題解決が遂行できる。

【看護学科】

I. 知識

- ・医療人の基盤となる保健・医療・福祉に関する幅広い知識を備え、看護学を理解するために必須となる医学的知識ならびに看護実践に求められる看護の専門知識を習得している。
- ・国内外の文化や思想、社会の仕組みや社会情勢について学び、良き市民として生きるための豊かな教養として幅広い知識を習得している。

II. 技能

- ・看護実践能力を養うために必要となる論理的・批判的思考を基盤とした臨床的な推論、ならびにコミュニケーション能力やリスク管理能力を包括する看護の専門技能を習得している。
- ・信頼できる情報源から必要な情報を収集・分析・評価し、適切な解釈のもとで論理的・批判的思考を基盤としたアカデミックな議論ができる。

III. 態度・姿勢

- ・責任のある言動がとれるとともに、多様な個人の価値観に対応できる倫理観を持っている。
- ・新しい医療の発展に関心を持ち、研究・探求しようとする態度と、科学的根拠に基づいた思考をする姿勢を身につけ、新たな知識や技能を生涯学び続ける意志を持っている。

IV. 協創

- ・多職種を理解することで自身の専門性を知り、チームで協働的な問題解決を進める際にメンバー間で生じる葛藤を乗り越え、問題に対する解決策を考えることができる。
- ・看護分野の発展に寄与するために、自身の問題意識からアカデミックな探求ができる。

【理学療法学科】

I. 知識

- ・理学療法を実践するための専門的知識を習得している。
- ・新しい理学療法学を創造するための基盤となる幅広い科学的知識、人や文化、社会情勢などの知識を習得している。

II. 技能

- ・理学療法を実践するための専門的スキルを習得している。
- ・アカデミックなテーマを議論するための情報収集、分析、解釈ができ、科学的根拠に基づいて論理的に考える能力を習得している。また、職業生活、社会生活などで必要なコミュニケーション・情報リテラシー・論理的思考力、問題解決力を習得している。

Ⅲ. 態度・姿勢

- ・理学療法士および社会人として必要な倫理観、行動力を備え、新たな知識や技能への関心と主体的に生涯学び続ける意思を持つことができる。
- ・科学的根拠に基づいて研究・探究しようとする態度を習得している。また、自律した学習者として自身の学習を振り返りながら、あらゆる問題に対して探究する態度を習得している。

Ⅳ. 協創

- ・多職種を理解することで自身の専門性を知り、チームで協働的な問題解決を進める際にメンバー間で生じる葛藤を乗り越え、問題に対する解決策を考えることができる。
- ・理学療法分野の発展に寄与するために、自身の問題意識からアカデミックな探究ができる。

【作業療法学科】

Ⅰ. 知識

- ・作業療法を理解・実践するため、専門的知識と医療・保健・福祉に関する幅広い知識を習得する。
- ・多様な文化・価値観を理解するため、幅広く豊かな教養を習得する。

Ⅱ. 技能

- ・対象者への作業療法に必要な情報を選択・収集するとともに、適切な評価・再評価を行うことができ、その結果をもとに理論的な思考をもってアセスメントを組み立てて安全に治療を実践できる。
- ・望ましい人間関係を構築するためのコミュニケーション能力を有し、科学的モデルを基盤とした論理的主張ができる。

Ⅲ. 態度・姿勢

- ・対象者の立場や価値観を尊重した判断を行うとともに、知識や技術に関して最新の知識・技術を保ち、学術的研鑽および人格の陶冶を目指しながら作業療法に貢献ができる。
- ・科学と周辺領域の知識を更新し、常に最新の科学的根拠を使った論理的な視点から物事に対処することができる。

Ⅳ. 協創

- ・多職種を理解することで自身の専門性を知り、チームで協働的な問題解決を進める際にメンバー間で生じる葛藤を乗り越え、問題に対する解決策を考えることができる。
- ・作業療法分野の発展に寄与するために、自身の問題意識からアカデミックな探求ができる。

【臨床工学科】

Ⅰ. 知識

- ・医療人の基盤となる保健・医療・福祉・工学に関する幅広い知識を備え、臨床工学を理解するために必須となる医工学・情報学の知識と医療機器の操作・管理のための専門知識を習得している。
- ・国内外の文化や思想、社会の仕組みや社会情勢について学び、良き市民として生きるための豊かな教養として幅広い知識を習得している。

Ⅱ. 技能

- ・臨床工学技士業務を実践するための専門技能、医療事故を未然に防ぐためのリスク管理能力、患者や医療人と良好な関係を築くためのコミュニケーション能力を習得している。
- ・情報のリテラシーを身につけ、論理的思考と批判的思考を基盤にアカデミックなテーマについても、適切な情報収集により議論・実践でき、その成果をまとめて情報発信できる。

Ⅲ. 態度・姿勢

- ・医療の発展に対して常に関心を抱き、探究心を持って問題解決に挑む姿勢を持っている。
- ・現代の多様な社会における様々な価値観ならびに倫理観を身につけ、科学的な根拠に基づいて思考し責任のある言動がとれる。

Ⅳ. 協創

- ・多職種を理解することで自身の専門性を知り、チームで協働的な問題解決を進める際にメンバー間で生じる葛藤を乗り越え、問題に対する解決策を考えることができる。
- ・臨床工学分野の発展に寄与するために、自身の問題意識からアカデミックな探求ができる。

②教育課程の編成及び実施に関する方針

【看護学科】

[編成方針]

看護学科では、ディプロマポリシーを達成するため、教育課程を基礎科目、専門基礎科目、専門科目の3区分で構成し段階的に配置する。各区分は、以下のような目標をもつ授業科目で構成される。

ア. 基礎科目

- (ア) 国内外の文化や思想、社会の仕組みや社会情勢についての知識を得る科目を配置する。
- (イ) 医療人の基盤となる幅広い科学知識を得る科目を配置する。
- (ウ) 汎用的技能習得のため、フィールドワーク入門、情報科学Ⅰ、Ⅱなどの科目を配置する。

イ. 専門基礎科目

- (ア) 看護の対象である人間理解に関する知識を学ぶため、医療心理学や医療倫理学などの科目を配置する。
- (イ) 健康や医療に関する知識を学ぶため、解剖生理学、病態学などの科目を配置する。
- (ウ) 地域の看護や公衆衛生の知識を学ぶため、疫学や公衆衛生学などの科目を配置する。
- (エ) 協働的な問題解決能力を習得するため、シンメディカルⅠ～Ⅳを配置する。

ウ. 専門科目

- (ア) 看護専門職の知識と技能を、基礎から応用の順次性、体系性に沿って習得するため、基礎看護学分野、専門看護学分野、統合看護学分野の科目を段階的に配置する。
- (イ) 看護実践に必要な、看護の基本的知識と技能を習得するため基礎看護学分野の科目を配置する。
- (ウ) 各年齢層、健康レベル、個人および集団の健康課題等に応じた看護の知識と技能を習得するため、専門看護学分野を配置する。
- (エ) 看護専門職者として生涯にわたり継続して学び続け、看護学を論理的、実践的に理解し、質の高い看護を提供できるようになるため、統合看護学分野を配置する。

[実施方針]

教育課程の実施に当たっては、「看護学教育モデル・コア・カリキュラム」に示された看護実践能力と到達目標をベンチマークに進める。学習方法が身につけられるように、講義・演習ではアクティブラーニングを推進し、実習では「振り返りシート」等を活用した適切なフィードバックを行うことで、講義・演習の学びに統合させる。

[学習成果の評価方法]

- (ア) アカデミックな知識や看護専門職の知識に対し、定期試験やレポートにより評価する。
- (イ) 汎用的な技能や看護専門職の技能に対し、ルーブリックを活用した実技試験や提出課題、自己評価アンケート、卒業研究をもとに評価する。

- (ウ) 医療専門職に必要となる態度や姿勢について、関連科目でのレポートや、実習・演習での自己評価アンケート、授業アンケートをもとに評価する。
- (エ) チーム共同的な問題解決やアカデミックな探求について、シンメディカルⅠ～Ⅳや卒業研究などの科目でルーブリックや授業アンケートを活用した総合評価を行う。
- (オ) 各評価項目に対し、実習・演習や卒業研究において PEPA などの評価方法を活用する。

【理学療法学科】

[編成方針]

理学療法学科では、ディプロマポリシーを達成するため、教育課程を基礎科目、専門基礎科目、専門科目の3区分で構成し段階的に配置する。各区分は、以下のような目標をもつ授業科目で構成される。

ア. 基礎科目

- (ア) 良き市民として生きるため、また国内外の文化や思想、社会の仕組みや社会情勢についての知識を得るため、哲学入門、文化人類学、世界の保健医療などの科目を配置する。
- (イ) 新しい理学療法学を創造する基盤となる幅広い科学知識を習得するため、数学、物理学、再生医療入門などの科目を配置する。
- (ウ) 汎用的技能習得のため、学びの基盤、文章表現法、統計学、コミュニケーション論などの科目を配置する。

イ. 専門基礎科目

- (ア) 医療人として基盤となる保健・医療・福祉に関する幅広い知識を習得するため、社会保障論、社会福祉論などの科目を配当する。
- (イ) 理学療法の基盤となる知識を習得するため、生体構造論、生体機能論、運動学などの科目を配置する。
- (ウ) 協働的な問題解決能力を習得するため、シンメディカルⅠ～Ⅳを配置する。

ウ. 専門科目

- (ア) 理学療法の実践に必要となる理学療法学の知識と技能を習得するため、理学療法学概論、理学療法評価学、運動療法学、運動器理学療法学、臨床推論などの科目を配置する。
- (イ) 理学療法学を実践的に学び、理学療法士としての態度や技能を習得するため、臨床実習を各学年に配置する。
- (ウ) 理学療法に関する学術的な問いについて研究し、またアカデミックスキルを習得するため、医療統計学、理学療法学研究法、卒業研究などを配置する。

[実施方針]

理学療法学プログラムは4年制で、基礎科目、専門基礎科目、専門科目の3つの科目群から構成される。1年次に主に開講する基礎科目は、良き市民として生きるための教養と、医療専門職の基盤となる知識・態度の習得の涵養を重視する。2年次に主に開講する専門基礎科目は、基礎医学の知識と理学療法士としての思考と態度の涵養が中心である。3年次に主に開講する専門科目は、理学療法の治療学の習得と自己省察の期間で、治療学は講義と実習形式で開講する。4年次は、理学療法士としての臨床能力を総合的に育成する期間であり、臨床実習を中心に行う。

学生の興味・関心に合わせて、「国際医療研修」「住環境コーディネーター」などの選択科目も設定されている。また、1年次から4年次まで、4学科合同でシンメディカルⅠ～Ⅳを開講し、学内において協働的な問題解決能力、チーム医療を段階的に学ぶ。

[学習成果の評価方法]

- (ア) 理学療法士としての知識に対しては授業中やコースの終了時に試験またはレポートで評価を行う。
- (イ) 理学療法士としての基本的な技能については実技試験を行う。
- (ウ) 理学療法士として備えるべき倫理・態度については2年次と3年次で実施する OSCE-R（客観的臨床能力試験リフレクション法）の中で評価を行う。
- (エ) 理学療法士としての統合的な臨床能力は、学内における OSCE-R（PEPA）でルーブリックを使って評価を行う。また学外における臨床実習（PEPA）でも評価を行う。
- (オ) 理学療法士としてのプログラム全体での知識の習得については、国家資格試験で評価する。
- (カ) アカデミックな知識・技能、汎用的な技能については、理学療法学研究法、卒業研究で評価を行う。
- (キ) 協働的かつ創造的な問題解決能力については、シメディカル科目の中でルーブリックを使って評価を行う。

【作業療法学科】

[編成方針]

作業療法学科では、ディプロマポリシーを達成するため、教育課程を基礎科目、専門基礎科目、専門科目の3区分で構成し段階的に配置する。各区分は、以下のような目標をもつ授業科目で構成される。

ア. 基礎科目

- (ア) 多様な文化・価値観を理解できる幅広い教養、語学、理系基礎を習得するための科目を配置する。
- (イ) 医療人として求められる基本的態度・倫理観を養い、読解・論理的思考・ライティング・表出などのコミュニケーション力を向上させる科目を配置する。

イ. 専門基礎科目

- (ア) 科学的推論過程を根拠とした作業療法の実践を行える能力を習得するための科目を配置する。
- (イ) リハビリテーション理念や人体の構造・機能、心身の発達に関する基礎知識を習得するための科目を配置する。
- (ウ) 作業療法を実施する上で必要となる内科学、神経内科学、整形外科学、精神医学、老年医学など幅広い疾患や障害に関する知識と技術を習得するための科目を配置する。
- (エ) 協働的な問題解決能力を習得するためにシメディカル I～IVを配置する。

ウ. 専門科目

- (ア) 作業療法士に必要な専門的知識・技能を習得するため作業療法評価学総論、作業療法評価学演習、作業療法治療学総論、作業療法治療学演習、作業療法学総合演習などの科目を配置する。
- (イ) 作業療法実践の場において、対象者の人としての尊厳を守り、より良い人間関係を構築したうえで、協力して目標を達成できる能力を養うため、臨床実習を各学年に配置する。
- (ウ) 生涯にわたって学術的探究を行い、自己研鑽するなど、作業療法分野に寄与するための姿勢を養うために作業療法研究法、卒業研究などの科目を配置する。

[実施方針]

教育課程の実施にあたっては、作業療法士国家試験、臨床実習での実践能力到達目標をベンチマークとして到達度を検証する。各講義科目、演習科目ではアクティブラーニングを推進する。実践能力

の到達度の検証については、学内演習科目においても確認を行い、臨床実習での実践的な技能、姿勢、態度の習得につながるように備える。実習科目においては、学内・学外での演習・実習の「振り返り」を重視し、適切なフィードバックを行う中で、学習効果を高める。

[学習成果の評価方法]

- (ア) 作業療法実践に必要な専門知識に対しては専門基礎および専門科目および総合演習において、定期試験やレポートを通して評価する。
- (イ) アカデミックな知識に対しては基礎科目あるいは専門基礎科目における定期試験やレポートを通して評価する。
- (ウ) 汎用的な技能・態度は、シンメディカルⅠ～Ⅳ (PEPA)、臨床実習前後で行う OSCE (PEPA)、卒業研究を通して評価する。
- (エ) 作業療法士として求められる専門的な技能は、演習科目 (PEPA)、臨床実習または臨床実習前後で行う OSCE (PEPA) を通して評価する。
- (オ) 作業療法士として望まれる態度は、演習科目 (PEPA)、保健医療福祉実習、地域作業療法学演習、総合臨床実習および臨床実習前後で行う OSCE (PEPA) を通して評価する。
- (カ) 協働的かつ創造的な問題解決能力については、シンメディカルⅠ～Ⅳ (PEPA) を通して評価する。

【臨床工学科】

[編成方針]

臨床工学科では、ディプロマポリシーを達成するため、教育課程を基礎科目、専門基礎科目、専門科目の3区分で構成し段階的に配置する。各区分は、以下のような目標をもつ授業科目で構成される。

ア. 基礎科目

- (ア) 社会人として豊かな教養を身につけるため、様々な一般教養科目を配置する。
- (イ) 臨床工学を学ぶための基盤を形成するため、工学分野の基礎となる数学、物理学系科目を初年次に配置する。

イ. 専門基礎科目

- (ア) 臨床工学を学ぶための基盤知識を習得するため、医学・工学基礎の講義科目と演習科目を配置する。
- (イ) 臨床工学専門科目への導入として、医学、工学、情報学の応用に関する講義・演習・実習科目を配置する。
- (ウ) 協働的な問題解決能力を習得するため、シンメディカルⅠ～Ⅳを配置する。

ウ. 専門科目

- (ア) 臨床工学の視点から医療に携わるため、医学、工学、情報学の融合領域に関する講義科目を配置する。
- (イ) 臨床工学技士に求められる専門知識・技能を習得するため、医用機器学（計測装置、治療機器、安全管理など）と生命維持装置学（呼吸療法装置、体外循環装置、血液浄化装置など）に関する講義科目と学内実習科目を配置する。
- (ウ) 臨床工学技士としての応用力・実践力を育成するために、臨床実習Ⅰ～Ⅳを配置する。
- (エ) 臨床工学技士として生涯にわたる学習の重要性を認識し、かつ主体的に課題を発掘および解決する姿勢を身につけるために卒業研究を、また、日進月歩に発展する医学・工学や医療機器開発の動向を把握するために臨床工学特論、臨床工学特別演習等の科目を配置する。

[実施方針]

教育課程の実施に当たっては、臨床工学技士国家試験や第2種ME技術実力検定試験などをベンチマークとして到達度を検証する。また、アクティブラーニングを積極的に取り入れ、学内・学外の演習・実習の「振り返り」を重視するとともに、医療機器メーカー等で最新の医療機器に接する機会も多く設け、技能の応用力が獲得されたかを検証し、評価する。

[学習成果の評価方法]

- (ア) 各科目の成績評価ならびに授業アンケートをもとにして学習成果の達成状況を評価する。
- (イ) 一般教養に関しては基礎科目を、臨床工学分野における医工学の知識に関しては専門基礎科目を中心とした、科目成績評価をもとにして学習成果の達成状況を評価する。
- (ウ) 臨床工学技士業務に求められる技能に関しては、臨床実習・学内実習を中心としてPEPA、ルーブリック評価と授業アンケートから学習成果の達成状況を評価する。
- (エ) アカデミック分野における課題抽出ならびにその解決能力と、生涯学習のための技能・態度・姿勢については、卒業研究、臨床工学特別演習などで、ルーブリック評価により学習成果の達成状況を評価する。
- (オ) 臨床工学科カリキュラムを通しては、臨床工学技士国家試験や第2種ME技術実力検定試験などをベンチマークとして学習成果の達成状況を評価する。
- (カ) 臨床工学技士として医療分野に携わりチーム医療を実践するための多職種間連携能力に関しては、シンメディカルⅠ～Ⅳならびに授業アンケートから学習成果の達成状況を評価する。

③入学者の受入れに関する方針

【看護学科】

ア. 求める学生像

医療保健学部看護学科では、卒業後に看護職として従事することを前提に、医療専門職に求められる知識技能の修得を図り、生命・人間尊重の倫理観や豊かな感性を磨くため、次のような人物を求めています。

- (ア) 医療と看護の重要性について理解がある人【知識・技能】
- (イ) 人々の健康や福祉の向上および活動に関心が高く、周りの人々と協働することができる人【主体性・協働性】
- (ウ) 人の話を聴くことができ、自己の考えを相手にわかるように示せる人【思考力・判断力・表現力】
- (エ) 生物、化学、物理、数学を通じて得られる看護に必要な自然科学的思考力と英語、国語の読解力・言語運用能力を有する人【知識・技能】

イ. 入学者選抜の基本方針

本学では以下の方法によって評価・判定を行います。

(ア) 総合型選抜入試

資料読解や数式を用いて解答する基礎力テストや小論文において医療人に就く前提となる知識や思考力を測り、グループディスカッションや面接を通して他者との協働性、共感能力、主体性、知性と感性のバランスの取れたコミュニケーション能力などについて評価・判定を行います。

(イ) 学校推薦型選抜入試

小論文や英語・国語・数学分野から選択となる基礎学力試験を行います。また、面接において他者との協働性、共感能力、知性と感性のバランスの取れたコミュニケーション能力などについて評

価・判定を行います。また知識・技能の観点から、高等学校での学習成績を調査書の「学習成績の状況」により評価します。

(ウ) 一般選抜入試

複数科目からなる個別学力試験では、知識、読解力、思考力、文章表現力について評価・判定を行います。

(エ) 大学入学共通テスト利用入試

大学入学共通テストにより、知識、読解力、思考力について評価・判定を行います。

【理学療法学科】

ア. 求める学生像

医療保健学部理学療法学科では、卒業後に理学療法士に従事することを前提に、医療専門職に求められる知識・技能の習得を図り、生命・人間尊重の倫理観や豊かな感性を磨くため、次のような人物を求めています。

(ア) 人々の健康、医療、福祉に関心があり、理学療法士の特性、役割、重要性について理解している人【知識・技能】

(イ) 自分の言動に責任を持ち、周りの人々と協働することができる人【主体性・協働性】

(ウ) 人の話をよく聞くことができ、道徳的見地から判断し、かつ、論理的に考え、自分が思っていることを相手に理解できるように説明ができる人【思考力・判断力・表現力】

(エ) 英語・国語の読解および表現能力があり、数学・生物・物理に関する医療系カリキュラムに適応できる基礎知識を有する人【知識・技能】

イ. 入学者選抜の基本方針

本学では以下の方法によって評価・判定を行います。

(ア) 総合型選抜入試

資料読解や数式を用いて解答する基礎力テストや小論文、小レポート、テストなどにおいて医療人に就く前提となる知識や思考力を測り、グループディスカッションや面接を通して他者との協働性、共感能力、主体性、知性と感性のバランスの取れたコミュニケーション能力などについて評価・判定を行います。試験内容は、各学科選抜で重視する項目に応じて組み合わせを行い実施します。

(イ) 学校推薦型選抜入試

小論文や英語・国語・数学分野から選択となる基礎学力試験を行います。また、面接において他者との協働性、共感能力、知性と感性のバランスの取れたコミュニケーション能力などについて評価・判定を行います。また知識・技能の観点から、高等学校での学習成績を調査書の「学習成績の状況」により評価します。

(ウ) 一般選抜入試

複数科目からなる個別学力試験では、知識、読解力、思考力、文章表現力について評価・判定を行います。

(エ) 大学入学共通テスト利用入試

大学入学共通テストにより、知識、読解力、思考力について評価・判定を行います。

【作業療法学科】

ア. 求める学生像

医療保健学部作業療法学科では、卒業後に作業療法士に従事することを前提に、医療専門職に求め

られる知識技能の習得を図り、生命・人間尊重の倫理観や豊かな感性を磨くため、次のような人物を求めています。

(ア) 日本の医療の現状と作業療法の重要性について理解している人【知識・技能】

(イ) 人々の健康や福祉の向上とそれに向けた活動に関心の高い人【主体性・協働性】

(ウ) 人の話をよく聞くことができ、論理的に考え、自分が思っていることを相手にわかるように示せる人【思考力・判断力・表現力】

(エ) 英語・国語の読解力および言語運用能力があり、医療を理解する上での理科系の基礎知識を有する人【知識・技能】

イ. 入学者選抜の基本方針

本学では以下の方法によって評価・判定を行います。

(ア) 総合型選抜入試

資料読解や数式を用いて解答する基礎力テストや小論文、小レポート、テストなどにおいて医療人に就く前提となる知識や思考力を測り、グループディスカッションや面接を通して他者との協働性、共感能力、主体性、知性と感性のバランスの取れたコミュニケーション能力などについて評価・判定を行います。試験内容は、各学科選抜で重視する項目に応じて組み合わせを行い実施します。

(イ) 学校推薦型選抜入試

小論文や英語・国語・数学分野から選択となる基礎学力試験を行います。また、面接において他者との協働性、共感能力、知性と感性のバランスの取れたコミュニケーション能力などについて評価・判定を行います。また知識・技能の観点から、高等学校での学習成績を調査書の「学習成績の状況」により評価します。

(ウ) 一般選抜入試

複数科目からなる個別学力試験では、知識、読解力、思考力、文章表現力について評価・判定を行います。

(エ) 大学入学共通テスト利用入試

大学入学共通テストにより、知識、読解力、思考力について評価・判定を行います。

【臨床工学科】

ア. 求める学生像

医療保健学部臨床工学科では、卒業後に臨床工学技士に従事することを前提に、医療専門職に求められる知識技能の習得を図り、生命・人間尊重の倫理観や豊かな感性を磨くため、次のような人物を求めています。

(ア) 多くのことに知的好奇心を持ちチャレンジ精神と探究心を持つ人【知識・技能・主体性】

(イ) 責任感があり実行力があり他者を思いやることができる人【主体性・協働性】

(ウ) 医学と工学に関心があり医療分野で社会に貢献したいという意欲を持ち、創造的に考え行動しようとする人【思考力・判断力・表現力】

(エ) 数学・物理・化学・生物を通じて得られる数理的・自然科学的思考能力を持ち、国語・英語の読解力を有する人【知識・技能】

イ. 入学者選抜の基本方針

本学では以下の方法によって評価・判定を行います。

(ア) 総合型選抜入試

資料読解や数式を用いて解答する基礎力テストや小論文、小レポート、テストなどにおいて医療

人に就く前提となる知識や思考力を測り、グループディスカッションや面接を通して他者との協働性、共感能力、主体性、知性と感性のバランスの取れたコミュニケーション能力などについて評価・判定を行います。試験内容は、各学科選抜で重視する項目に応じて組み合わせを行い実施します。

(イ) 学校推薦型選抜入試

小論文や英語・国語・数学分野から選択となる基礎学力試験を行います。また、面接において他者との協働性、共感能力、知性と感性のバランスの取れたコミュニケーション能力などについて評価・判定を行います。また知識・技能の観点から、高等学校での学習成績を調査書の「学習成績の状況」により評価します。

(ウ) 一般選抜入試

複数科目からなる個別学力試験では、知識、読解力、思考力、文章表現力について評価・判定を行います。

(エ) 大学入学共通テスト利用入試

大学入学共通テストにより、知識、読解力、思考力について評価・判定を行います。

慶野大学医療保健学部 作業療法学科 (2020年度以降に入学した学年用)																
分類	科目ID	授業科目名	時間	編成				履修制限				学修ディプロマポリシー		学修ディプロマポリシー		
				必修	選択	履修	履修	履修	履修	履修	履修	履修	履修	履修	履修	
基礎	BA1001	哲学入門	15	1	1											
	BA1002	倫理学入門	15	1	1											
	BA1003	人間学	15	1	1	1										
	BA1004	心理学入門	15	1	1											
	BA1005	文化人類学	15	1	1											
	BA1006	現代の文化	15	1	1											
	BA1007	近世の伝統文化	15	1	1											
	BA1008	日本史の概観	15	1	1											
	BA1009	国語学入門	20	2	2											
	BA1010	フィールドワーク入門	15	1	1											

慶野大学医療保健学部 臨床工学科 (2020年度以降に入学した学年用)																
分類	科目ID	授業科目名	時間	編成				履修制限				学修ディプロマポリシー		学修ディプロマポリシー		
				必修	選択	履修	履修	履修	履修	履修	履修	履修	履修	履修	履修	
基礎	BA1001	哲学入門	15	1	1											
	BA1002	倫理学入門	15	1	1											
	BA1003	人間学	15	1	1	1										
	BA1004	心理学入門	15	1	1											
	BA1005	文化人類学	15	1	1											
	BA1006	現代の文化	15	1	1											
	BA1007	近世の伝統文化	15	1	1											
	BA1008	日本史の概観	15	1	1											
	BA1009	国語学入門	20	2	2											
	BA1010	フィールドワーク入門	15	1	1											

※ 従来の文化118年度以降は後期開講
 ※ 従来の伝統文化118年度以降は前期・後期開講
 ※ 国際比較概論は18年度以降は前期開講
 ※ フランス語入門は18年度以降は前期開講
 ※ 社会福祉論は18年度以降は前期開講

※ 従来の文化118年度以降は後期開講
 ※ 従来の伝統文化118年度以降は前期・後期開講
 ※ 国際比較概論は18年度以降は前期開講
 ※ フランス語入門は18年度以降は前期開講
 ※ 生物医学内科学論は18年度以降は前期開講

(2) 藍野大学大学院の3つのポリシー

①卒業の認定に関する方針

看護学研究科では、教育目標に照らし、以下のような能力・資質を身につけることを、修業認定、及び修士の学位授与方針とする。2年以上在学し、修了に必要な単位を修得し、かつ修士論文を提出して審査に合格し、加えて最終試験に合格した者に修士（看護学）の学位を授与する。

- ア. 高い倫理観に基づいた深い学識と識見及び豊かな人間性をもち、サービスを受ける者の視点に立った実践ができる。
- イ. 学際的な視点とリサーチマインドをもって、実践の場での課題を発見し、保健医療福祉に関して深めた知識から、課題解決のための新たなケア技術やシステムの開発を試みることができる。
- ウ. 看護専門職者として専門的役割を示すロールモデルとなって、指導力を発揮して教育的役割を果たすことができる。
- エ. 保健・医療・福祉のさまざまな領域で看護組織及び看護ケアをマネジメントし、関連多職種と連携し協働することができる。

②教育課程の編成及び実施に関する方針

本研究科は、医療技術の発展と少子高齢化の進行に伴い近年急速に高まっている看護サービスの質向上に対する要請に応えるため、高度な専門的知識と技術の上に、深い学識と識見及び豊かな人間性に裏打ちされた看護実践者、看護管理者、教育研究者を養成することを目指した教育課程を編成する。そのため、共通科目には高度な看護実践、管理および教育研究を行う基礎となる科目、保健医療福祉に関する造詣を深め、学際的な視点とリサーチマインドを涵養する科目を配置する。

専門科目では、「成育看護学」「高齢者看護学」「精神看護学」「災害看護学」「地域保健看護学」「看護管理学」「感染管理学」の専門領域ごとに特論科目と演習科目を設け、習得した知識と技術を統合して研究を行い、併せて修士論文を作成する「特別研究」を配置する。

③入学者の受入れに関する方針

ア. 大学院教育を通じてどのような力を発展・向上させるのか

本研究科は、実践看護分野と看護マネジメント分野の2つの分野からなる。実践看護分野では、高度な専門的知識を獲得させ、専門職業人たる看護実践能力を向上させ、研究的思考能力を開発するとともに、人々のニーズを汲み取る感性と豊かな表現力を養う。看護マネジメント分野では、複雑な看護課題を解決するために必要な柔軟な思考力、的確な判断力、高度な専門的知識・技能を獲得させるとともに、研究的思考能力を開発する。

イ. 入学者に求める能力は何か

上記ア. を踏まえ、以下の資質、能力を備えた者を入学者として求める。

- (ア) 大学卒業程度以上の看護学の基本的な知識・技能を有している人
- (イ) 看護学に対する深い関心をもつ人
- (ウ) 研究の遂行に必要なコミュニケーション能力、思考力、分析能力及び記述能力のある人
- (エ) 高い倫理観のもと、人々の健康のために働く強い意志と協調性をもつ人
- (オ) 看護の実践、看護学の教育研究において、自主的に課題を発掘し解決することを志向する人

ウ. 入学者に求める能力をどのように評価するのか

入学者の評価は、小論文と面接によって行う。小論文では主に、知識、思考力、分析能力、記述

能力について評価する。面接では、看護学に対する関心、コミュニケーション能力、倫理観、協調性、課題解決志向を中心に評価する。

(3) びわこリハビリテーション専門職大学の3つのポリシー

①卒業の認定に関する方針

【リハビリテーション学部】

本学において所定の期間在学し、学科ごとに定める単位を取得し、次のとおりの能力を身に付けた者に学位を授与する。

- DP01 生命の尊厳と職業倫理を備え、幅広い教養を有し、リハビリテーション専門職としての自覚と責任を持ち、生涯にわたり自己研鑽することができる。
- DP02 地域住民や多職種と円滑なコミュニケーションをとることができ、信頼関係を築くことができる。
- DP03 理論に裏付けられた知識と技術を有し、適切なリハビリテーションを実践することができる。
- DP04 地域及び地域住民が抱える課題を発見することができ、解決するための方法を論理的に考案することができる。
- DP05 専攻分野に関連する他分野について学ぶことで応用力を高め、多職種と連携し理学療法士・作業療法士の新たな展開を創造することができる。

【理学療法学科】

理学療法学科では、所定の規則に基づき 131 単位の単位取得及び上記の要件を充たしたうえで、次のような能力・資質を備えた人物に理学療法学士（専門職）の学位を授与する。

- DP01 人を尊び幅広い教養を有し、差別と偏見を持たない倫理感のもと、理学療法士としての自覚と責任を持ち、生涯にわたり自己研鑽することができる。
- DP02 地域住民を取り巻く多職種と必要な信頼関係を築き、円滑なコミュニケーションをもって理学療法を実践することができる。
- DP03 理学療法学の専門的知識及び技術を修得し、論理的思考に基づいた最適な理学療法を実践することができる。
- DP04 地域住民の健康で質の高い生活の維持・向上のために、理学療法士の特性を活かし地域が抱える身体活動に関する課題を発見し、解決方法を導くことができる。
- DP05 理学療法に関連する他分野の専門的知識を修得し、地域住民の身体活動に関する自助、共助を支援するため、多職種と連携し、理学療法を創造的に応用することができる。

【作業療法学科】

作業療法学科では、所定の規則に基づき 130 単位の単位取得及び上記の要件を充たしたうえで、次のような能力・資質を備えた人物に作業療法学士（専門職）の学位を授与する。

- DP01 作業療法士として生命を尊び、地域住民との関わりを大切にする豊かな人間性と倫理観、幅広い教養を有し、自覚と責任をもって行動し、生涯学び続けることができる。
- DP02 多職種と協調・連携して課題を共有し、且つ解決に向けて支援を実践するためのコミュニケーション能力を有し、信頼関係を構築することができる。
- DP03 作業療法に関する専門的知識と技術に基づき、生活課題の解決に向けて作業療法を実践することができる。

DP04 変化する地域社会における課題の発見に努め、課題解決に向けて、作業療法士の専門性を活かした創造的な解決方法を導くことができる。

DP05 作業療法に関連する他分野の専門的知識を修得し、地域生活課題の新たな支援展開に向けて作業療法を活用することができる。

②教育課程の編成及び実施に関する方針

【リハビリテーション学部】

リハビリテーション学部の教育課程は、専門職大学設置基準及び理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則及び本学科のディプロマ・ポリシーを達成するために、以下の5つの方針で編成する。

CP01 倫理観に基づき人を尊重し、生涯にわたり自己研鑽し、地域住民の社会生活を支援できるようになるための科目を配置する。

CP02 専門職に必要なコミュニケーション能力を有し、対象者や多職種と良好な対人関係を築くことができるようになるための科目を配置する。

CP03 専門職として必要な専門的知識や技術を修得し、論理的思考に基づいた問題解決策を考案できるようになるための科目を配置する。

CP04 自らの専門性を基盤とし、地域住民と地域社会の課題発掘と問題解決を実践できるようになるための科目を配置する。

CP05 専門領域に関連する専門分野の知識を修得し、地域共生社会の実現に向けて多職種と連携して支援できるようになるための科目を配置する。

【理学療法学科】

理学療法学科の教育課程は、専門職大学設置基準及び理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則及び本学科のディプロマ・ポリシーを達成するために、以下の5つの方針で編成する。

CP01 倫理観に基づき生命を尊重し、責任をもって生涯にわたり理学療法士として研鑽を続け、地域住民の社会生活を支援する能力を養うための科目を配置する。

CP02 理学療法士として必要なコミュニケーション能力を有し、多職種と協調し、連携して地域住民との関係を構築する能力を養うための科目を配置する。

CP03 理学療法に必要な専門知識と技術を身につけ、科学的かつ論理的思考をもって科学的根拠に基づいた理学療法を実践できる能力を養うための科目を配置する。

CP04 理学療法の知識・技術を基盤とし、地域住民の生活から地域社会を見渡す広い視野を持ち地域の課題を発掘し、問題解決を実践できる能力を養うための科目を配置する。

CP05 理学療法に関連する他分野の専門学力を修得し、地域住民の健康で生涯にわたる質の高い生活維持に関して、理学療法の知識や技術を養うための科目を配置する。

【作業療法学科】

作業療法学科の教育課程は、専門職大学設置基準及び理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則及び本学科のディプロマ・ポリシーを達成するために、以下の5つの方針で編成する。

CP01 人の生命や価値観や人の暮らす社会を理解できる幅広い教養を有し、医療専門職の意義や役割を理解し学術的に探究できる能力を養うための科目を配置する。

CP02 多職種と協調・連携するための円滑なコミュニケーション能力を養うための科目を配置する。

CP03 作業療法士として必要な専門的知識と技術を習得し、地域住民を心身機能、社会活動・参加ま

た環境面から捉える思考方法を身に付け、作業療法を実践できる能力を養うための科目を配置する。

CP04 人的、作業的、環境的側面から地域生活課題の発見に努め、論理的に課題の構造化を行い、課題解決に向けて実践できる能力を養うための科目を配置する。

CP05 地域社会への関心をもち関連する分野について理解を深め、地域生活の課題解決にむけて作業療法を応用的・創造的に活用する能力を養うための科目を配置する。

③入学者の受入れに関する方針

【リハビリテーション学部】

リハビリテーション学部では、「①高い倫理観と豊かな人間性、理論に裏付けられた専門的な知識と技術を身に付け、子どもから高齢者までの地域住民を対象に、適切なリハビリテーションを提供できる人材を養成する。②地域共生社会の実現に向け、理学療法士・作業療法士として保健・福祉・スポーツ・就労等の分野において、多職種と連携・協力のもと、地域住民及び地域が抱える課題を発見し、解決することのできる創造性豊かな人材を養成する。」ことを養成する人材像として掲げている。

[知識・技能]

AP01 高等学校までに学ぶべき基礎的な知識を有する人。

[主体性・多様性・協調性]

AP02 人を尊重し人に興味を持ち、リハビリテーションの専門職として社会に貢献することに意欲を持つ人。

AP03 良好な対人関係を築くためのコミュニケーション能力を有し、他者と協働して物事を進めることができる人。

[思考力・判断力・表現力]

AP04 客観的に状況を把握し、課題を発見するとともにその解決に向け、自主的に取り組み継続できる人。

AP05 多角的に物事を捉え、新しい展開への探求と論理的思考ができる人。

【理学療法学科】

理学療法学科では、「①理学療法士として、子どもから高齢者までの地域住民を対象に、住み慣れた地域で生活を維持するために、地域住民の思いに共感し、且つ多職種と協働し、科学的な根拠に基づく最適な理学療法を実践できる人材を養成する。②理学療法士の専門性を活かし、地域住民の健康寿命延伸と QOL 維持・向上のために、身体活動に関わる生活の側面から、多職種との連携を通じて地域が抱える課題を発見し解決することで、健康・スポーツ・福祉の分野において地域共生社会の実現に向けて地域住民の支援ができる人材を養成する。」ことを養成する人材像として掲げている。そのために、以下のような資質を有する学生を求めている。

[知識・技能]

AP01 高等学校までに学ぶべき基礎的な知識を有する人。

[主体性・多様性・協調性]

AP02 人を尊重し人に興味を持ち、リハビリテーションの専門職として社会に貢献することに意欲を持つ人。

AP03 協調性をもち他者と良好な関係を築き、協働して自己の役割を責任を持って果たすことができる人。

[思考力・判断力・表現力]

AP04 客観的に状況を把握し、課題を発見するとともに、その解決に向け、自主的に物事に取り組み継続できる人。

AP05 論理的な思考力や柔軟な発想力を持ち、自己の意見を的確に示す表現力や論述力を有している人。

【作業療法学科】

作業療法学科では、「①子どもから高齢者までの多様な年齢層の地域住民を対象として、健康で幸福な生活の獲得に向け、意味のある生活行為とそれを行うために必要な心身の活動に対して環境面に働きかけながら作業を手段あるいは目的として利用できる人材を養成する。②地域住民が抱える暮らしの中での課題を発見し、多職種や産業界と連携しながら新たな支援や支援体制の構築ができることによって社会適応力の向上を促し、地域共生社会の実現に向けて保健・福祉・就労等の面から貢献できる人材を養成する。」ことを養成する人材像として掲げている。

そのために、以下のような資質を有する学生を求めている。

[知識・技能]

AP01 高等学校までに学ぶべき基礎的な知識を有する人。

[主体性・多様性・協調性]

AP02 人を尊重し、健康や生活に関心を持ち、作業療法士として社会に貢献することに意欲を持つ人。

AP03 協調性に富み他者と良好な関係を築き、柔軟な思考をもって、物事を協働して進めることができる人。

[思考力・判断力・表現力]

AP04 客観的に状況を把握し、課題を発見するとともに、その解決に向け、継続性をもって自ら考えて積極的に取り組むことができる人。

AP05 論理的な思考力や柔軟な発想力を持ち、自己の意見を的確に示す表現力や論述力を有している人。

(4) 藍野大学短期大学部の3つのポリシー

①卒業の認定に関する方針

藍野大学短期大学部では、医療や看護の十分な専門知識を身につけているのみならず、医療環境の変化に対応してゆくことのできる柔軟性を持ち、さらに教育理念にあるように「医やすばかりでなく慰める」ことができる人間性の豊かな医療人を育成することを目指しています。具体的にはカリキュラムに従った学修の結果、以下の項目を満たし、かつ所定の単位を取得した者に対して卒業を認定します。

- ア. 看護師あるいは保健師として十分な専門知識と技能を身につけている。
- イ. 患者あるいは対象となる個人やその家族等と共感を持って接することができて、円滑なコミュニケーションをとることができる。
- ウ. 社会人として、また医療人として豊かな人間性と高い倫理性を備えている。
- エ. 自己のスキルアップ、新しい知識の修得について意欲的であり、その方法について理解している。
- オ. 修得した知見を他者に対して論理的に説明できる。

【第一看護学科・第二看護学科】

- ア. チーム医療の一員として同僚や他職種の人と協調性を保ちつつ積極的に関わることができる。
- イ. 医療・保健・福祉における社会資源の知識を持ち、活用方法を考えることで支援システムについて知ることができる。

【専攻科（地域看護学専攻）】

- ア. 地域の健康課題を明確にし、その課題解決に向けて計画・立案する方法を理解している。
- イ. 地域に存在する社会資源の把握及び活用方法を修得し、必要な支援システムや資源について考えることができる。
- ウ. 公衆衛生看護の対象となる個人・家族・集団・組織に対して、対象別の実践方法を理解している。
- エ. 関係機関・関係職種との協調性を保ちつつ積極的に関わることができる。

②教育課程の編成及び実施に関する方針

藍野大学短期大学部は、育成する人材像をディプロマ・ポリシーで定めています。その目標を達成するために以下の方針で教育課程の編成がなされています。また、学修効果を高めるために、アクティブ・ラーニングなどの教育方法を積極的に取り入れます。

- ア. 基礎分野・専門分野等、保健師助産師看護師学校養成所指定規則に則り、適切に科目を配置する。
- イ. 基礎科目、専門科目の比率を適切に定める。
- ウ. 各科目の履修年次、履修順序を最も効果的に学修できるように配置する。
- エ. 豊かな人間性を涵養するため、幅広い教養教育を行う。
- オ. 論理的な思考や、それに基づいたプレゼンテーション能力を身に付ける。
- カ. 専門職業人としての自覚と能力を養うために、臨地実習を重視する。

各科目については、定期試験等により必要となる知識、技能が身につけているかを判定します。実習科目は、看護師・保健師としての専門知識及び技能、協調性、コミュニケーション能力等について評価基準を基に、ディプロマ・ポリシーで掲げる能力が身につけているかを評価します。

③入学者の受入れに関する方針

【第一看護学科】

I. 「大学教育を通じてどのような力を発展・向上させるのか。」

第一看護学科では、卒業後に看護師として従事することを前提に、准看護師から看護師へのステップアップをするために、専門的知識と技術の修得、生命の尊厳を基盤とする倫理観、豊かな人間力を養い、ヒューマンケアを中核としたより実践的な看護の知識技能の修得を図ります。また、チーム医療の中で看護の役割を果たすことができる人材育成を目指します。この目的のために入学後は、以下の能力の向上を図ります。

- ア. 高いコミュニケーション能力を持ち、深い洞察と倫理観に基づく人間関係を形成する能力
- イ. 身につけた知識と技術をさらに高度なものとし、自発的に目的意識を喚起できる能力
- ウ. 自ら考え、なにごとにも挑戦し、最後まで粘り強くやり遂げる能力

II. 「入学者に求める能力は何か。」

上記 I. 「大学教育を通じてどのような力を発展・向上させるのか。」を踏まえ、以下の意欲・資質を備えた者を入学者として求めています。

- ア. 相手と気持ちを分かち合い、人の痛みがわかる感性を持ち、かつ自分の意見を発信して、人との関係を大切にできる。
- イ. 准看護師の基礎的な知識と技術を有し、高い専門性を持ち、努力を惜しまず自己研鑽できる。
- ウ. 明確な目標をもち、その実現に向かってひたむきな努力を惜しまず、最後までやり遂げることができる。

高等学校衛生看護科または准看護師学校養成所で修得しておくことが望ましい科目として、国語の読解力および言語運用能力（国語総合）と数学Ⅰの計算能力があげられます。また、入学後の学修を円滑にするために基礎看護と人体と看護の科目を修得しておくことが望まれます。

III. 「培ってきたどのような能力をどのように評価するのか。」

第一看護学科の選抜試験では、以下の評価を行います。

- ア. 一般選抜入試では、上記 II. 「入学者に求める能力は何か。」で掲げた科目を中心とする学科試験により基礎学力（知識、思考力、表現力）を評価します。前期日程においては、小論文と看護専門科目により評価します。また、後期日程においては、看護専門科目と面接により評価します。
- イ. 推薦入試では、小論文および面接により意欲、資質などを評価します。
- ウ. 社会人入試では、看護専門科目および面接により意欲、資質などを評価します。

面接においては、上記 II. に関する認識や態度、特に①で求められる意思疎通、協調性、自己表現能力、共感能力、知性と感性のバランスの取れたコミュニケーション能力などについての資質、それらを身に付ける意欲などを評価します。面接における参考資料として、出身校等の調査書や志望理由書を活用します。（評価全体に占める面接の比率は約 25%）

【第二看護学科】

I. 「大学教育を通じてどのような力を発展・向上させるのか。」

第二看護学科では、卒業後に看護師として従事することを前提に、看護に関しての専門的知識と技術の修得、生命の尊厳を基盤とする倫理観、豊かな人間力を養い、ヒューマンケアを中核としたより

実践的な看護の知識技能の修得を図ります。また、チーム医療の中で看護の役割を果たすことができる人材育成を目指します。この目的のために入学後は、以下の能力の向上を図ります。

- ア. 高いコミュニケーション能力を持ち、深い洞察と倫理観に基づく人間関係を形成する能力
- イ. 身につけた知識と技術をさらに高度なものとし、自発的に目的意識を喚起できる能力
- ウ. 自ら考え、なにごとにも挑戦し、最後まで粘り強くやり遂げる能力

II. 「入学者に求める能力は何か。」

上記 I. 「大学教育を通じてどのような力を発展・向上させるのか。」を踏まえ、以下の意欲・資質を備えた者を入学者として求めています。

- ア. 相手と気持ちを分かち合い、人の痛みがわかる感性を持ち、かつ自分の意見を発信して、人との関係を大切にできる。
- イ. 看護学を学ぶために必要な基礎学力を有し、看護に関心を持ち、努力を惜しまず自己研鑽できる。
- ウ. 明確な目標をもち、その実現に向かってひたむきな努力を惜しまず、最後までやり遂げることができる。

高等学校で履修しておくことが望ましい科目として、国語の読解力および言語運用能力(国語総合)と数学Ⅰの計算能力があげられます。また、入学後の学修を円滑にするために、生物基礎の科目を履修しておくことが望まれます。

III. 「培ってきたどのような能力をどのように評価するのか。」

第二看護学科の選抜試験では、以下の評価を行います。

- ア. 一般選抜入試では、上記 II. 「入学者に求める能力は何か。」で掲げた科目を中心とする学科試験により基礎学力(知識、思考力、表現力)を評価します。前期日程においては、小論文と選択科目1科目(数学Ⅰ、生物基礎)により評価します。また、後期日程においては、国語総合と面接により評価します。
- イ. 推薦入試では、国語総合および出身高等学校の調査書における評定値、面接により意欲、資質などを評価します。
- ウ. AO入試では、講義等理解力試験および面接により意欲、資質などを評価します。
- エ. 社会人入試では、国語総合および面接により意欲、資質などを評価します。

面接においては、上記 II. に関する認識や態度、特に①で求められる意思疎通、協調性、自己表現能力、共感能力、知性と感性のバランスの取れたコミュニケーション能力などについての資質、それらを身に付ける意欲などを評価します。面接における参考資料として、志望理由書やエントリーシートを活用します。(評価全体に占める調査書の比率は約 13%、面接の比率は約 25%)

【専攻科(地域看護学専攻)】

I. 「大学教育を通じてどのような力を発展・向上させるのか。」

専攻科(地域看護学専攻)では、卒業後に保健師として従事することを前提に、地域・企業・学校などの活動の場において、あらゆる世代やあらゆる健康レベルの個人、家族、さらに集団、組織を対象とした公衆衛生看護活動を展開できるよう、入学後は以下の能力の向上を図ります。

- ア. 高いコミュニケーション能力を持ち、深い洞察と倫理観に基づく人間関係を形成する能力
- イ. 身につけた看護学をもとに、公衆衛生看護の視点をもって、保健師として自発的に目的意識を喚

起できる能力

- ウ. 自ら考え、積極的な姿勢で、最後まで粘り強くやり遂げる能力
- エ. 社会情勢などをみて、物事を客観的に見極め、保健師の役割について考えられる能力
- オ. 地域の医療・保健問題の調査研究や問題解決に主体的に取り組める能力

II. 「入学者に求める能力は何か。」

上記 I. 「大学教育を通じてどのような力を発展・向上させるのか。」を踏まえ、以下の意欲・資質を備えた者を入学者として求めています。

- ア. 対象者と気持ちを分かち合い、人の痛みがわかる感性を持ち、かつ自分の意見を発信して、人との関係を大切にできる。
- イ. 看護学に関する基礎学力を有し、公衆衛生看護に関心を持っている。
- ウ. 自己研鑽に努力を惜しまず、最後までやり遂げることができる。
- エ. 探求心を持ち、主体的に研究に取り組むことができる。

入学後の学修を円滑にするために、また、各看護師養成校で修得しておくことが望ましい科目として、看護学（特に公衆衛生看護学）の基礎知識・看護技術があげられます。

III. 「培ってきたどのような能力をどのように評価するのか。」

専攻科（地域看護学専攻）の選抜試験では、以下の評価を行います。

- ア. 一般選抜入試では、上記 II. 「入学者に求める能力は何か。」で掲げた教科を中心とする学科試験により基礎学力（知識、思考力、表現力、文章表現力）を評価します。前期日程においては、看護学と小論文により評価します。また、後期日程においては、小論文と面接により評価します。
- イ. 推薦入試では、小論文および面接により意欲、資質などを評価します。
- ウ. 社会人入試では、小論文および面接により意欲、資質などを評価します。

面接においては、上記 II. に関する認識や態度、特に①で求められる意思疎通、協調性、自己表現能力、共感能力、知性と感性のバランスの取れたコミュニケーション能力などについての資質、それらを身に付ける意欲などを評価します。面接における参考資料として、出身校等の調査書や志望理由書を活用します。（評価全体に占める面接の比率は約 30%）

2. 中期的な計画及び事業計画の進捗・達成状況

(1) 藍野大学

[中期的な計画の進捗・達成状況]

①内部質保証に関すること

「内部質保証システム体系図」「藍野大学の PDCA サイクル概念図」を刷新し、運営会議を全学内部質保証推進と位置づけ、内部質保証委員会を各学科・委員会等との中継役として明文化しました。また、各規程においても役割・権限を明確化し、本学における自己点検・評価体制を強化する取り組みを行いました。さらに教学 IR の位置づけを明確にすることで教学 IR 機能の充実を図るとともに根拠に基づいた PDCA サイクル体制を構築させました。2021 年度には中間報告書を取りまとめ外部評価を実施することとします。

②教育研究組織に関すること

新たな学部を設置及び看護学研究科後期博士課程、リハビリテーション分野研究科（修士課程）の

設置に向けた検討を進めました。新たな学部設置については、2028年度以降の設置にて継続的に検討することとしました。また、2024年度大学院設置に向け、教員の研究業績向上及び具体的な設置内容について検討を引き続き進めています。

③教育課程・学習成果に関すること

学習成果を可視化するため、アセスメント評価を行うルーブリックを作成及び重要科目によるパフォーマンス評価（PEPA）の作成を行いました。次年度以降これらの内容を実行し、検証の指標として活用していきます。

④学生の受け入れに関すること

藍野高等学校との高大連携協定書を締結しました。また、明浄学院高等学校との高大連携協定書の締結に向けた検討を進めてきました。2021年度には協定書を締結し、制度の実施を進めていきます。

入試改革により入試制度が変更となった初年度であることからデータ分析を行い、経年分析による成績状況や退学率等の指標として活用していきます。

⑤教員・教員組織に関すること

新型コロナウイルス感染症対策のため、今年度は主としてオンラインによる研修会を開催しました。コロナ禍での学生状況アンケート分析など学習の質保証をメインとするFDSR研修や科研費に関する研修会等を開催し、教育力及び研究力の向上に資する取り組みを行いました。大学院設置構想を視野にいたした研究力の向上を今後も推進していきます。

⑥学生支援に関すること

全国の大学がほぼ全ての授業をオンライン授業に切り替えて授業を遂行していた状況のなか、本学では教育の質の担保と医療従事者を育成する使命を全うするため、感染対策を徹底のうえ、演習等の一部科目を対面にて実施し、実習の一部を臨地にて実施することができました。臨地・臨床実習は従来の半分以上となりましたが、重点戦略としている、①最新の知見に根ざした医療サービスを提供する医療人の育成②社会に必要とされる教育・研究の実行を具現化した取り組みとなりました。

⑦教育研究等環境に関すること

アクティブラーニングを実施する設備を備えた新校舎として設置したM・L・Cではありましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大によりその機能を活用することができない結果となりました。能動的な学習の場を提供することは難しい情勢ではありますが、オンライン授業や対面授業の環境整備を充実させるべく取り組みを検討します。

⑧社会連携・社会貢献

2020年度では、社会連携・社会貢献における活動制限があり、実施ができていない結果となりました。2021年度以降については、例えばワクチン接種に本学教員が協力するなど、現時点で実施可能な取り組みを検討していきます。

[事業計画の進捗・達成状況]

①教育活動

ア. 大学院看護学研究科の活動

2020年4月入学者は7名と前年度に比べて多くの入学生を迎えることができました。一方、2名

が自主退学しました。2021年3月には、2019年度入学の2名が修了し、「修士（看護学）」の学位を授与しました。1名は教育機関、1名は病院勤務でしたが、予定の2年で修了し、それぞれの職場で継続して勤務、今後の活躍が期待されます。UCLAでの「先進看護論演習（2単位）」はコロナ禍のため、実施できませんでした。コロナ禍で前期の一部は学部と同様にオンラインでの講義となったり、研究計画発表会はWEBとなりましたが、予定された授業は実施することができました。

イ. 医療保健学部の教育等活動

（ア）看護学科

看護学科では、2020年度の新入生は20名の定員増を受けて115名でした。定員増に合わせ実習室の改修・整備を行い、教員配置を整えて準備をすすめていましたが、新型コロナウイルス感染症拡大により、入学式が中止、4月は休講となりました。一度も登校できないままの新入生のために、「新入生歓迎パンフレット」を作成し、全新生に郵送したり、学年担任を中心に全学生に連絡を取るなどきめ細やかにフォローを実施しました。その結果、5月の遠隔授業開始時、6月の分散登校開始時も大きな混乱なく、大学生活をスタートさせることができました。在校生については、3月30日、31日の両日に全学生に電話をかけ、体調確認と感染予防指導を実施しました。休講中もmanabaを活用し、担任が体調確認と個別対応を実施しました。また遠隔授業の開始前には、講義資料と看護技術の演習物品(注射器や点滴セット等)を全員に郵送し、自宅学習を支援しました。分散登校開始後も、担任を中心に面接やmanaba通してのフォローを継続しました。演習休講や登校制限に対する不安の訴えはありませんでした。実習については、可能な限り臨地での実習を目指し、実習施設と調整を図りました。その結果、多くの施設が臨地での実習を受け入れてくださいましたが、感染症の拡大を受けて途中で学内実習に変更となるケースもありました。しかし事前準備と実習施設の協力により、学習目標を達成することができました。

本年度国家試験の合格率は、保健師100%(18名/18名)、看護師94.6%(88名/93名)でした。保健師・看護師ともに全国平均値を上回り、本年度目標値を到達することができました。次年度はさらなる合格率の向上を目指し、国家試験対策委員会を中心によりきめ細かい対策と支援を行っていきます。また就職希望者の就職内定率は100%(86名/86名)、進学希望者の進学率も100%(2名/2名：助産)でした。なお本年度卒業の14期生卒業率は77%(81名/105名)、退学率は6.6%(7名)でした。本年度の退学者は、1年生2名（進路変更）、2年生1名(進路変更)、4年生1名(経済的理由)の合計4名でした。低学年での退学者は全員が進路変更であるため、入学試験時に看護師を目指す意欲や動機について、より細やかに見極める必要があると考えます。4年卒業率85%以上という目標達成に向けて、中長期的な対策を立案し、取り組んでいきたいと思っております。

2020年度は、コロナ禍で例年とは異なる形態での授業・実習となり、学生の不安や閉塞感、教員の負担も大きいものになりました。しかし、このような時期だからこそできる取り組みに前向きに挑戦しました。まず、受験生の獲得のため、入学試験委員会を中心に広報活動に力を入れました。完全予約制で対面式のオープンキャンパスの実施、放課後個別相談会や高校ガイダンス、大学見学についても積極的に受け入れました。他大学の広報活動中止が相次ぐ中、感染予防対策を十分に実施・説明したうえでの実施は非常に好評で、高校ガイダンスや大学見学の依頼数は例年以上でした。さらに広報活動の一環として、コロナ禍での看護学生の実習について複数のテレビ取材を受けました。特に、コロナ禍での学内実習の取り組みについては、特集として全国放送されました。今後も、様々な機会を利用して藍野大学看護学科を発信していきたいと考えています。

(イ) 理学療法学科

理学療法学科（以下「本学科」という。）では、毎週 1 回開催する学科会議で担任及び科目担当者から提供される学生情報を学科教員で共有し、修学支援の方針を決定しました。成績低迷者に対する学習支援については、例年であれば教員間のコンセンサスを取り、カリキュラム外支援クラスを配置して科目別個別指導を行っておりますが、2020 年度については新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、特に前期については遠隔授業の準備に追われ成績低迷者に対する十分な個別対応を行うことはできませんでした。通信環境や使用端末に関する調査を徹底し、Wi-Fi 環境に制限があったり、端末が古く画像処理に難があるなど、遠隔授業に支障をきたす学生を支援すべく法人支援のもと学生に Wi-Fi や iPad の個別貸し出しを行いました。2020 年 6 月以降は一部対面授業を再開することができ、特に 1 年生に対しては学生と教員間の関係性構築に努め、2～4 年生についてはモチベーション低下や専門科目の学習の遅れが生じないように対応し、後期からは成績低迷者に対する学習支援も再開しました。

2020 年度の退学者は 1 年生 106 名中 1 名、2 年生 89 名中 1 名、3 年生 98 名中 2 名となりました。当学科では 4 年卒業率の目標値を 85%以上としており、本年度卒業した 14 期生については 86.6%、昨年度卒業した 13 期生は 85.9%、12 期生 85.0%、11 期生 85.3%と 4 年連続で目標を達成することができました。

学生最後の集大成となる新卒 14 期生理学療法士国家試験の合格率は 97.7% (84/86 名) でした。全国合格率は新卒で 88.6%、既卒者を含めた場合 86.4%であり、本学科の合格率は全国を上回ることができ、大阪府下理学療法士養成校の中では第 1 位の成績でした。就職についても 2021 年 3 月末の時点で 14 期生全員の就職が内定しました。

2018 年 10 月に理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則の改正が行われ、臨床実習指導者の要件が厳格化され、臨床実習指導者講習会を開催して指導者を養成しなければならなくなりました。本学科では 2020 年 2 月より臨床実習指導者講習会大阪府協議会と連携し、藍野大学主催臨床実習指導者講習会を開催しておりますが、本年度については新型コロナウイルス感染症予防の観点から開催を中止せざるを得ませんでした。

(ウ) 作業療法学科

作業療法学科（以下「本学科」という。）では、本年度の取り組みとして、産学連携プロジェクトを通じた教育・研究面および受験生動員面における強化、新指定規則に対応した実習指導者養成研修会および卒後研修会の開催、国家試験対策プログラム強化による国家試験合格率向上を挙げました。しかし、前期期間においては新型コロナウイルス感染症拡大による遠隔授業システムの準備、遠隔授業システムの構築と運用に四苦八苦し、後期期間においても遠隔授業と分散登校のハイブリットシステムの構築と運用に終始してしまう結果となりました。

このような新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、4 年次総合臨床実習においては学外での臨床実習が行えなくなり、学内での代替実習（以下、学内実習）に置き換える必要が生じ、短期間で学内実習システムの構築を行いました。また、1～3 年次の外部臨床実習においては、全対象学生数相応の外部臨床実習施設を確保できましたが、新型コロナウイルス感染症拡大状況に影響を受け、部分的に学内実習にて対応せざるを得ないケースが生じました。このような状況は今後も続くものと想定されることから、新規に文部科学省に登録する実習施設を大幅に増やし、今後の不足を補っていきます。また、実習期間中に実習を中止せざるを得ないといったケースも散見されるため、

学内実習システムを常に対処可能な状態に整備します。

新1年生に関しては、入学式を行わず、その後、約2か月間は自宅にて待機を要請し、前期期間は遠隔授業による対応、後期期間においても分散登校による対応を余儀なくされました。この状況によって、1年生はそれまでの学年と比べて教員との距離感、信頼関係構築が難しくなり、授業態度を含む適切な学習態度の形成も難しく、多面的な影響が生じました。この学年の学生に加えて、新年度の1年生に対しては、可能な限りの感染対策を施しながら対面での講義を一定数維持し、その限られた時間の中で信頼関係や適切な学習態度を形成させるための支援をしていきたいと考えます。一方、4年生については、前期期間は総合臨床実習を行い、卒業研究を終了させて、9月からは国家試験対策プログラムに取り組むという流れでありましたが、総合臨床実習は全員が学内実習に組み換え、その後の卒業論文指導はオンラインでの対応となり、国家試験対策プログラムにおいても大部分がオンラインによる対応を余儀なくされました。結果として、国家試験合格率は大幅に下降し、新卒の合格率が83.0%（全国平均88.8%）となり、本学科におけるオンラインシステムとそのハイブリット型となる国家試験対策プログラムが不十分であった可能性が示唆されました。今後は、このことを踏まえて3年生3月期より国家試験対策プログラムをスタートさせ、当初よりオンラインと対面のハイブリット形式を想定したプログラムに変更するなど、国家試験対策プログラムを強化します。

学生参画型産学連携プロジェクトについても、スペランツア大阪高槻とのスポーツ脳科学プロジェクト、シャープとのスマートエイジングプロジェクトは年度を通して再開できませんでした。グットタイムリビングとのクロスエイジプロジェクトについては、グットタイムリビングとの協議を重ねた結果、後期期間から提供するアクティビティをオンライン化する試みを行い、12月にその1回目の提供を行うことができました。次年度もオンラインによるアクティビティ提供を行うことで合意し、学生参画型という側面は変更せず、今後においても、学生に学びの機会を提供することが可能となりました。今後は、スペランツア大阪高槻とのスポーツ脳科学プロジェクト、シャープとのスマートエイジングプロジェクトをオンライン化できないかを協議していく予定です。

2021年度の入学人数は37名（定員40名）となりました。全国的にリハビリテーション分野、特に作業療法学科において定員充足が困難な状況であり、この要因は新型コロナウイルス感染症拡大による高校生の将来展望が変容したことや、高校の授業が変則的となり、高校生が十分に進路指導を受け、進路を検討する時間が少なくなってしまったことなどが挙げられます。この結果に対しては、日本作業療法士協会、都道府県作業療法士会に働きかけて作業療法の啓蒙活動を強化するとともに、オープンキャンパスにおける企画の見直しや指定校枠数の大幅な増加を行うことで入学定員増を図っていきます。

(エ) 臨床工学科

2020年度に計画されていたかなりの数の事業が中止となりました。2020年度入学生が定員割れとなったこともあり、アセスメントプランに基づき、インプットとして、より有為な学生を獲得すること、アウトプットとして、優秀な卒業生を輩出することを検討し、本年度はその対策を順次実施することを計画していました。有為な学生の獲得策としては、入学志願者数の増加策を優先しました。しかし、高大連携の学びステーション、夢ナビライブは中止となり、高校訪問、オープンキャンパスも縮小等を余儀なくされました。それでも、オープンキャンパスではWEBオープンキャンパス特設サイトの公開、放課後個別相談会等の新規の取り組みを実施することができました。その結果、オープンキャンパス参加者は昨年度の半数ではあるものの、強い志望動機が窺える参加者

を得て、本年度の入学志願者増に寄与したと考えられます。入学志願者増に最も寄与したのは、新型コロナウイルス感染症関連のニュースで、ECMO等で重症患者に向き合う臨床工学技士の活動が報道され、広く認知された事です。他大学での良好実践として、企画していた「地域の方々に参加してもらう学内実習報告会」は中止となりましたが、医療機器・医工学技術への関心を確かなものにする取り組みの有効性が実感できました。

優秀な卒業生の輩出としては、国家試験合格率は100%でない年もありますが、合格者数としても、40名弱は本校志望者にとっては大いに訴求力のある数字です。2020年度も新卒では合格者数37名、合格率は97.4%です。国家試験対策がかなりの部分で対面では出来ない等の制約はあったものの、LMSを活用し、教員学生一体となった頑張りで、十分に代替できたと考えられます。国家試験合格率を維持向上しつつも、さらに合格者数も増加する上でも、アウトカム目標値として設定された、4年卒業率85%の達成、退学率7%以下の達成を目指します。

退学者をより少なく、4年卒業率を向上する策について、教育活動と教育環境の2面から検討していました。まず、教育活動では、少人数指導できるアドバイザー制（ゼミ制）を採り、面倒見の良い教育をこれまでも実施していますが、1・2年生の段階での数学・物理学の履修に大きな壁があること、動機が不足していた入学者がその後十分に動機を調達できていないままであること等、退学に至る要因について検討を行いました。施策までには至りませんでした。また、教育の質・量の充実として、今年も臨床工学技士免許のある呼吸器系を専門とする教授を公募しましたが、採用決定には至りませんでした。

一方、優秀な学生を輩出するための環境整備策としては、M・L・Cの活用と臨床教育ができる施設（手術室・集中治療室の模擬施設）の設置検討を計画していました。これは、2023年度に予定されているカリキュラム8単位増も見越した環境整備計画でもありました。また、機器・設備については、新規以外にも昨年度来検討してきましたが、機器の計画的更新案を立案しました。M・L・Cの活用については、中期計画のVII. 教育研究等環境に関することのKPIとして位置づけられた「アクティブラーニングによる授業比率」向上のために、能動的な学習の場としてのM・L・Cを活用することででしたが、本年度は、ICT教育として寄与したにとどまりました。ただ、中期計画に沿った事業計画の立案から実施・点検・改善というPDCAを廻す取り組みに、学科一体として取り組んだ結果の報告が本来、事業報告として求められていることをM・L・C活用の検討評価で認識できました。

計画通りにできなかったことも多いが、学科として、大学全体で取り組む中期計画の達成に向けて、課題解決に一体として取り組むことが求められていることを認識できた2020年度でした。

ウ. 学生募集の取り組み

看護・医療系の新設大学・学科が急増する中、定員確保、入学生の質の向上のための入試・広報活動の重要性は事業計画上最も上位に挙げています。2017年度以降の入学志願者数及び入学定員充足状況の推移は、次のとおりです。

入学志願者数の推移

	看護学科	理学療法学科	作業療法学科	臨床工学科	合計
2017年	629	321	89	77	1,116
2018年	707	263	74	72	1,116
2019年	875	472	74	127	1,548
2020年	1,185	407	93	107	1,792
2021年	1,125	402	86	122	1,735

入学定員充足状況（入学者数：入学定員充足率）

	看護学科	理学療法学科	作業療法学科	臨床工学科	合計
2017年	105 : 1.31	97 : 1.21	49 : 1.23	46 : 1.15	297 : 1.24
2018年	92 : 1.02	98 : 1.23	45 : 1.13	38 : 0.95	273 : 1.09
2019年	95 : 1.06	89 : 1.11	43 : 1.08	46 : 1.15	273 : 1.09
2020年	115 : 1.00	106 : 1.06	48 : 1.20	37 : 0.93	306 : 1.04
2021年	128 : 1.11	120 : 1.20	37 : 0.93	54 : 1.35	339 : 1.15

※看護学科は、3年次編入学を除く。

2020年度中に行われた入学試験（上の表では、2021年として記載）での入学生数は339名、昨年度に比べて33名の増加となり、学部全体の定員充足率は1.15倍となりました。

学科ごとの志願者数は、昨年度と比較して、臨床工学科以外は減少し、特に作業療法学科は入学定員充足率が0.93となりました。また昨年度と比べ、入学辞退者数は41名から26名と減少しました。

今後の課題は、作業療法学科を含めた全学科の志願者の絶対数を増加させるとともに、選ばれる大学として特色を打ち出した広報や入学者選抜を検討、実践していくことが挙げられます。特に広報に関しては、新型コロナウイルス感染症の拡大対策として、対面型のオープンキャンパスだけでなく、WebオープンキャンパスやSNS・ホームページを充実させ、対面型広報と併用することが考えられます。

エ. 国家試験及び就職状況について

国家試験の結果については、学校法人全体としても重要な説明責任を担うものであり、教員はもとより、外部講師による対策授業なども積極的に取り入れた対策をとっています。本年度卒業生の国家試験の合格状況と就職状況については、次のとおりです。

2020年度卒業生 国家試験の結果

	受験者数（人）	合格者数（人）	合格率（％）	全国平均（％）
第110回 看護師国家試験	93	88	94.6	95.4
第107回 保健師国家試験	18	18	100.0	100.0
第56回 理学療法士国家試験	86	84	97.7	86.4
第56回 作業療法士国家試験	47	39	83.0	88.8
第33回 臨床工学技士国家試験	38	37	97.4	84.2

2020年度卒業生 就職状況（2021年3月31日現在）

学科	卒業生数（人）	就職希望者（人）	就職者数（人）	就職率（％）
看護学科	93	86	86	100.0
理学療法学科	86	84	84	100.0
作業療法学科	47	39	39	100.0
臨床工学科	38	35	34	97.1
合計	264	244	243	99.6

※就職希望者数は、進学者、国家試験不合格者を除いております。就職率＝就職者数÷就職希望者数

就職数上位の就職先（2020年度）

学 科	就 職 先
看護学科	滋賀医科大学医学部附属病院、兵庫県立尼崎総合医療センター、大阪府三島救命救急センター、済生会京都府病院、大阪府済生会吹田病院、関西ろうさい病院、市立池田病院、洛和会音羽記念病院、北摂総合病院、藍野病院、藍野花園病院、ほうせんか病院、吹田徳洲会病院、愛仁会高槻病院、愛仁会リハビリテーション病院、男山病院、滋賀県立総合病院、大阪医科薬科大学附属病院、関西医科大学附属病院、大阪府立総合医療センター、神戸市立医療センター中央市民病院、西宮市立中央病院
理学療法学科	神戸低侵襲がん医療センター、大阪医科薬科大学附属病院、済生会滋賀県病院、済生会守山市民病院、大阪府済生会茨木病院、三重県済生会明和病院、大阪赤十字病院、舞鶴赤十字病院、宇治徳洲会病院、松原徳洲会病院、近江草津徳洲会病院、茨木医誠会病院、蘇生会総合病院、草津総合病院、千里中央病院、住友病院、京都九条病院、関西リハビリテーション病院、貴志川リハビリテーション病院、わかくさ竜間リハビリテーション病院
作業療法学科	済生会守山市民病院、済生会中津病院、ひょうご子どもと家庭福祉財団、あいの苑、樫原リハビリテーション病院、関西医科大学くずは病院、武田総合病院、阪神リハビリテーション病院、鶴見緑地病院、彩都リハビリテーション病院、京都九条病院、洛西シミズ病院、ヴォーリズ記念病院、暇生会脳神経外科病院、馬場記念病院、星ヶ丘医療センター、宇治病院、加納総合病院、南草津病院
臨床工学科	大阪府立病院機構、兵庫県立尼崎総合医療センター、堺市立総合医療センター、市立大津市民病院、大阪医科薬科大学病院、大阪府立大学医学部附属病院、京都府立医科大学附属北部医療センター、奈良県立医科大学附属病院、千葉大学医学部附属病院、滋賀県立総合病院、和歌山県立医科大学附属病院、済生会守山市民病院、近江草津徳洲会病院、医真会八尾総合病院、岸和田徳洲会病院、茨木医誠会病院、三菱京都病院、京都岡本記念病院、井上病院、白鷺病院

オ. 学生支援体制

2012年度入試から導入した特待生制度の本年度実績は、入学金及び初年度授業料の半額免除特待生（A認定）が1名、初年度授業料の半額免除特待生（B認定）が3名、入学金のみの免除特待生（C認定）が1名、総計5名です。また、家族入学優遇制度については、5名の該当学生に対し入学金の免除を行いました。2011年度入試から募集している「自宅外通学者奨学金給付制度」については、1、2年生で計4名が利用しました。詳細については、次のとおりです。

(ア) 学者に対する優遇措置（2020年度中に給付または免除したもの）

制度名	内 容	認定者	給付(免除)総額
特待生制度	藍野大学に入学を希望する者で、本制度試験の成績優秀者に対し、入学金や授業料等の学費の一部を免除する制度（入学後返金）。	5人	¥2,800,000
家族入学優遇制度	藍野大学に入学を希望する者で、両親、兄弟姉妹もしくは配偶者が藍野大学の卒業生または本法人各設置校（藍野大学含む）に在籍している場合は入学金を免除する制度（入学後返金）。	5人	¥1,250,000
自宅外通学者奨学金給付制度	藍野大学に入学を希望する者で、自宅外通学を余儀なくされることにより入学が困難になる者に対し、奨学金として毎月5万円を2年間給付する制度。	4人	¥2,400,000

※自宅外通学者奨学金給付制度の人数と金額は2年目支給対象者を含む。

(イ) student job（有償ボランティア制度）

student job は、学生支援の一環として、学生が大学内外の清掃美化業務や就職情報の管理業務または図書館での受付業務等を有償で行う制度です。学生自身が大学業務や清掃活動に携わることでボランティア精神の醸成や愛校心が育まれています。今年度は新型コロナウイルス感染症対策のため十分な活用ができませんでした。

2020年度 student job の実施結果

実施時期	延べ人数・延べ時間
4月～9月	4人 4時間
10月～3月	23人 103.25時間
合計	27人 107.25時間

また、参考までに独立行政法人日本学生支援機構による奨学金の給付・貸与状況は次のとおりです。

独立行政法人日本学生支援機構の給付・貸与状況（2020年5月1日時点）

種類	看護学科	理学療法学科	作業療法学科	臨床工学科	学部全体
第一種（無利子）	64人	71人	26人	35人	196人
第二種（有利子）	128人	149人	51人	59人	387人
給付型	19人	18人	6人	9人	52人
奨学生数	211人	238人	83人	103人	635人
学生数	410人	383人	188人	162人	1,143人
受給者率	51.5%	62.1%	44.1%	63.6%	55.6%

(ウ) 校友会活動について

発足6年を迎えた藍野大学校友会は、2020年度において正会員1,121名となり、1,000人を超える組織となりました。今年度は、役員新体制のもと在校生及び卒業生が研鑽できる機会を提供するためのイベントを企画することを事業計画としていましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止を余儀なくされる結果となりました。しかし、校友会としての活動が全て停止したわけではなく、2カ月に1度の役員会をオンラインにて開催してまいりました。役員会に自治会幹部の学生を招待し、交流を深める機会を設け、学生の悩みや不安に感じていることを軽減できる取り組みを実施しました。

今後も校友会として、コロナ禍の中奮闘している学生に対して支援できる取り組みを模索し、在校生が求める企画や正会員に対しても研修会等を企画のうえ、実行できるよう検討を重ねてまいります。

②研究活動

ア. 外部資金獲得状況

2020年度の科学研究費助成事業（科学研究費補助金・学術研究助成基金助成金）の交付額は、研究代表者として15,080千円（総件数18件）であり、研究分担者として2,516千円（総件数13件）となりました。

応募件数67件に対し、新規採択件数は、研究代表者として、基盤研究（C）3件、若手研究2件、研究活動スタート支援1件でした。

	研究種目	研究課題名	交付金額（円）
2020年度新規採択	基盤研究（C）一般	宇宙環境における内耳前庭の発生維持とバイオメカニクス	3,120,000
	基盤研究（C）一般	認知症の高齢者に対するカラーテープを用いた転倒予防策の実用化の検証	1,040,000
	基盤研究（C）一般	高齢者の握み損ないを科学するー握る力と腕の力の持続出力調整機能の研究ー	520,000
	若手研究	職場での多文化共生の実現と外国人ケア労働者の定着を図るための支援プログラムの開発	1,170,000

	若手研究	クール・レジスタンス・運動が筋組織内酸素代謝に及ぼす影響と臨床への応用	2,080,000
	研究活動スタート支援	温罨法の活用が動脈硬化性心血管病の予防にもたらす効果の検証	1,430,000
継続課題	基盤研究 (C) 一般	舌苔を有する高齢者に対する効果的で心地よい舌苔除去方法の検証	650,000
	若手研究	脊髄損傷の再生医療における自発的運動介入の効果に関する研究	2,600,000
	若手研究	短時間の階段昇降運動による糖代謝機能改善効果に関する検討	520,000
	基盤研究 (C) 一般	糸球体内皮細胞の場に応じた領域特異性の確立：腎炎発症進展解析の新たなアプローチ	1,690,000
	若手研究	高齢者における呼吸筋力増強のための水中運動強度の検討およびプログラムの作成	260,000
延長課題	基盤研究 (C) 一般	認知症の高齢者に対する色彩を用いた転倒予防策の検証	
	基盤研究 (C) 一般	病院看護部が自然災害に対して備える方略と備え対策を継続実施できるシステム構築	
	基盤研究 (C) 一般	浸透圧負荷に対する血管内皮細胞の応答のバイオメカニクス	
	基盤研究 (C) 一般	非接触計測型 IoT センサモジュールを用いた日常場面でのストレス評価システムの開発	
	基盤研究 (C) 一般	看護の質の本質の解明－プロフェッショナルリズムと職務モチベーションについて－	
	基盤研究 (C) 一般	「平衡障害に対する新規治療法の開発」-iPS 細胞による前庭再生医療-	
	基盤研究 (C) 一般	認知症予防を目的とした回想法が老年期の認知機能に及ぼす効果に関する研究	

その他、奨学寄附金 3 件 (2,600 千円)、AMED 事業の分担研究 (130 千円)、共同研究 1 件 (500 千円) を獲得しました。

イ. 中央研究施設の活動

(ア) 研究の概要 (中央研究施設で行われている研究)

a. 尿臭をメルクマールに新規評価法を用いた膀胱癌の鑑別診断

経尿道的膀胱腫瘍切除術前後の尿臭識別を行ったところ、 1×10^4 希釈以上で識別成績が徐々に低下したが、 1×10^6 希釈でも尿臭の識別が有意に可能であった。一方、健常男性の採取日が異なる混合尿臭では、 1×10^1 希釈の識別は可能だったが、 1×10^2 希釈以上では識別不可能であった。

b. 脊髄損傷モデルラット、マウスを用いた神経再生治療法の開発

近畿大学・TRI と共同研究している足場材料に関して、実験動物レベルで有効性が認められ、前年度までに国際特許を取得した。今年度は、論文投稿のための追加データを得たり、臨床応用へ向けた条件検討を行い、better な条件を得たりすることができた。

c. 骨髄間質細胞由来の神経突起伸長因子の解析

神経突起伸長因子についてタンパク質解析から遺伝子解析に一部変更して実施した。DNA マイクロアレイ法により多くの因子の変動が検出されて、結果を分析している。

d. 終糸上衣細胞の培養方法の確立

終糸を神経根から分離する方法の検討から始まり、現在では、純粋な終糸を取り出すことができ、上衣細胞の効果的な培養の方策の試行錯誤を重ねて検討中である。

e. コラーゲンゲルの移植によるラット損傷脊髄の再生

LASCOL の移植効果を調べた。In vitro の実験で LASCOL は、神経細胞の生存は促進するが、グリア細胞の増殖は阻止するという特殊なコラーゲンである。損傷脊髄に移植すると再生軸索が LASCOL に沿って伸びることが明らかとなった。

f. 中心管上衣細胞の移植によるラット損傷脊髄の再生

中心管上衣細胞を移植に用いる前に、損傷脊髄に対する中心管上衣細胞の反応を調べた。脊髄損傷によって中心管上衣細胞が大きく増殖することが明らかとなった。

g. ラット腰髄損傷モデルの作成-自発的リハビリテーションの有効性を検討するための予備的研究-

脊損モデルラットを作成し、術後の運動機能の経過を追っている途中である。

h. 気管上皮細胞の障害と修復メカニズムに関する研究

気管の器官培養を行い、薬剤による気管上皮障害後の変化を観察した。免疫染色で上皮細胞を観察できたサンプル数が少ないため、障害の有無などの評価は困難であった。

i. Lmo2 転写因子複合体による血管新生制御

野生型マウスに比べ Lyl1 TG マウスの胸部大動脈から発芽してくる血管は血管密度が高く、分岐 branching が多いことが判明した。このことは Lmo2 転写因子複合体の一員である転写因子 Lyl1 が、新生血管の分岐を制御することで血管密度を規定していることを示唆する。さらなる Lyl1 TG マウスの肺や脾臓の免疫組織化学で、野生型に比して血管密度が著しく増加していることをつきとめ、現在その分子メカニズムを解析している。このマウスの尻尾が短い表現型のメカニズムも解析中である。

(イ) 研究成果

a. ア著書・論文等 2編

b. 特許出願

(a) アメリカへの移行

PCT 国際特許出願 / 米国国内段階移行

米国出願番号 : 16/966,232

米国出願日 : 2020年7月30日

国際出願番号 : PCT/JP2019/003502

国際出願日 : 2019年1月31日

発明の名称 : 神経細胞培養材および神経損傷治療剤

出願人 : (学) 近畿大学、(学) 藍野大学、(公財) 神戸医療産業都市推進機構

(b) 中国への移行

PCT 国際特許出願 / 中国国内段階移行

中国出願番号 : 201980011059.1

中国出願日 : 2020年7月30日

国際出願番号 : PCT/JP2019/003502

国際出願日 : 2019年1月31日

発明の名称 : 神経細胞培養材および神経損傷治療剤

出願人 : (学) 近畿大学、(学) 藍野大学、(公財) 神戸医療産業都市推進機構

(c) 日本への移行

PCT 国内移行 (日本)・出願審査請求

出願番号 : 特願 2019-569589

国際出願番号 : PCT/JP2019/003502

提出日 : 2020年7月16日

発明の名称 : 神経細胞培養材および神経損傷治療剤

出願人 : (学) 近畿大学、(学) 藍野大学、(公財) 神戸医療産業都市推進機構

c. 学会発表等 8件

d. 卒業論文 4編

(ウ) 研究施設で行われる動物実験の研究課題(動物実験委員会への申請課題) 14件

(エ) 高大連携プログラム

藍野高校メディカルサイエンス1年生

(オ) 外部資金の獲得

科学研究費 基盤研究(C) 一般3件

奨学寄附金 1件

(カ) 外部機関との共同研究

住友化学(株)

「研究題目: 癌バイオマーカーに関する研究」

(キ) 「第5回 中央研究施設シンポジウム」開催

特別講師: 伊藤 嘉一(滋賀県立総合病院研究所 特任上席研究員)

演 題: 「新しい人工聴覚器について」

(ク) 動物実験講習会の開催

2回開催

参加者: 12名

(ケ) 実験動物慰霊祭の挙句

参加者: 10名

③社会貢献活動

教員免許状更新講習および市民公開講座について実施を検討しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、2020年度は実施を見送りました。今後は、感染症対策を行った上での実施に向け検討を行ってまいります。

④藍野大学中央図書館

ア. 年間受入資料(2021年3月31日現在)

		図書			製本雑誌			AV資料		
		和	洋	合計	和	洋	合計	和	洋	合計
受入 区分	購入(含消耗品)	911	1	912	254	103	357	9	0	9
	寄贈	290	6	296	0	0	0	1	0	1
合計		1,201	7	1,208	254	103	357	10	0	10

イ. 年間購読雑誌

	和雑誌		洋雑誌		合計
	専門	一般	専門	一般	
2020年度	170	17	39	0	226

ウ. 購入電子資料

医中誌 Web、最新看護索引 Web、メディカルオンライン、国立情報学研究所学術コンテンツポータル

ル機関定額制利用

エ. 年間開館日数

	開館日数			開館時間数		
	平日	土・日・祝	合計	平日	土・日・祝	合計
2020年度	218	52	270	2,564	468	3,032

オ. 年間入館者数

	入館者数		
	平日	土・日・祝	合計
学内・関連機関	55,241	2,240	57,481
うち学外利用者	71		

カ. その他

外部委託契約の図書館業務も定着し、継続的に安定してすすめるなか、関係規程の見直しを行いました。また、パソコンの入れ替えやコピー機のキャッシュレス化など、運営管理と事務処理の合理化を図り利用者のサービスの向上に繋げることができました。

図書の電子化においても、コロナ禍の現状を鑑み、文献検索はリモートアクセスを全面的にとりいれました。

⑤藍野大学キャリア開発・研究センター

ア. キャリアサポート

「AINONAVI」を利用することにより、学生が自宅のパソコンやスマートフォンからいつでも求人情報が閲覧でき、就職希望条件に応じた検索によって、就職活動の利便性を図っています。同時に各施設から送付されてくる求人案内は、エリアごとに仕分けて、閲覧しやすいように棚に並べています。

また、独自で「AINONAVI」に入力いただいている施設は、施設案内や奨学金案内等オリジナル豊富な情報を登録いただいております。学生が一早く欲しい情報を収集することができ、教職員が学生の指導を行う際にも非常に役立っています。

イ. 看護キャリアアップ支援事業

(ア) 認定看護管理者教育課程について

公益社団法人日本看護協会認定の認定看護管理者教育機関として、2014年度からファーストレベル、2017年度からセカンドレベルの教育課程を継続的に開講しており、本年開講の実績は次のとおりです。

a. ファーストレベル

2020年11月5日～12月19日（定員50名）

受講者41名・修了者40名

b. セカンドレベル

2020年7月23日～10月17日（定員35名）

受講者21名・修了者21名

ファーストレベルは本年度より定員を 40 名から 50 名に増員したこともありますが、セカンドレベルと共に新型コロナウイルス感染症の影響もあり、定員を満たすことができませんでした。

受講者募集活動についても、毎年 PR や情報収集として関西圏の医療機関に訪問していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により断念し、リーフレット送付のみの広報活動を行いました。

(イ) 講演会・セミナー及びセカンドレベル公開講座の実施について

看護キャリアアップ支援事業の一環として、看護師有資格者全般を対象とする講演会・セミナーを計 3 回、認定看護管理者教育課程セカンドレベルの講義を公開講座として 1 回実施しました。

a. 講演会・セミナー

第 1 回

日 時：2020 年 7 月 18 日（土）9：30～12：30

場 所：Medical Learning Commons 4F F401

講 師：社会医療法人生長会 ベルランド総合病院 前原 陽子

テーマ：「ファースト・セカンドレベル スキルアップ研修①

どう使う？問題解決フレームワーク」

受講者数：一般参加者 32 名

第 2 回

日 時：2020 年 7 月 18 日（土）13：30～16：30

場 所：Medical Learning Commons 4F F401

講 師：京都大学大学院医学研究科 教授 任 和子

テーマ：「ファースト・セカンドレベル スキルアップ研修② どう書く？小論文・課題レポート」

受講者数：一般参加者 37 名

第 3 回

日 時：2020 年 11 月 7 日（土）9：30～12：30

場 所：Medical Learning Commons 4F F401

講 師：社会医療法人生長会 ベルランド総合病院 前原 陽子

テーマ：「ファーストレベル スキルアップ研修どう使う？問題解決フレームワーク」

受講者数：一般参加者 32 名

b. セカンドレベル公開講座

第 1 回

日 時：2020 年 9 月 26 日（土）9：30～16：30

場 所：Medical Learning Commons 4F F401

講 師：日本看護協会 副会長 兼 関東学院大学 教授 齋藤 訓子

講義名：「ヘルスケアシステム論Ⅱ」

保健医療福祉サービスの現状と課題・保健医療福祉サービスの提供内容の実際
病院看護小規模多機能型居宅介護、訪問看護ステーション等

ファーストレベル及びセカンドレベル受講を視野に入れた方々を対象に 2018 年度から実施している「どう書く？課題レポート・小論文」、2019 年度から実施している「どう使う？問題解決フレームワーク」は、本学での受講希望者の参加もあり大変好評でした。

また、セカンドレベルにおいては、管理者として特に興味深いと思われる講義の中から 1 テーマ

を公開講座として開放し、管理者として更なる学びを深めたい方々に募集しましたが、新型コロナウイルスの影響もあり参加者はいませんでした。

なお、講演会・セミナーの受講者募集は、近畿圏内の各病院にリーフレットを郵送しており、毎回多くの病院からお問い合わせ、受講申し込みをいただくと同時に、過去に受講された方々のレポート率が非常に高く、講義内容の質が高く評価されていると感じました。今後、更に本学の認知度を高めるとともに、看護師のキャリアアップに貢献し、ファーストレベル・セカンドレベルの受講者募集に繋げていければと考えています。

(ウ) 看護研究支援について

看護キャリアアップ支援事業の一環として、看護研究支援を申し込まれた方（施設）へ医療保健学部看護学科の教授に支援をしていただきました。

a. 市立吹田市民病院への支援

申込者：市立吹田市民病院

支援者：医療保健学部看護学科 教授 平山 恵美子

テーマ：「認知症ケアリンクナースの活動報告」

実施日：2020年7月15日（水）

合計支援回数7回（2019年度に6回実施）

b. 加古川中央市民病院への支援

申込者：加古川中央市民病院

支援者：医療保健学部看護学科 教授 平山恵美子

テーマ：「新型コロナウイルスによるパンデミック時に看護師長が抱える倫理的問題」

実施日：2021年3月24日（水）

合計支援回数1回（2021年度に引き続き支援予定）

市立吹田市民病院への支援は第7回をもって終了しましたが、サポートや支援体制も評価が高く、満足度が高い結果でした。今後も支援を申し込まれた方へ、専門分野の研究支援者の助言や協力を活かし、看護研究支援を行っていきます。

ウ. スカラシップ就学支援事業

求人情報システム「AINONAVI」では、求人情報のみならず、病院奨学金制度のある病院を検索できるようにシステム化し、奨学金を必要とする学生に情報の提供を行っています。今後、さらに内容の充実を図っていく予定です。

(2) びわこリハビリテーション専門職大学

[中期的な計画の進捗・達成状況]

①教育の内部質保証、教育成果の可視化の構築

開設2年目を迎えた本学では、まず内部質保証体制を確立し、教育に関する学生のデータを収集・分析するIR機能を強化し、2021年度以降順次公表していきます。

②専門職大学ならではの実践的な職業訓練

リハビリ専門職として、現在も臨床現場で活躍している教員（実務家教員）による講義を通じて実践的な能力を養います。教員たちの臨床のフィールドは、スポーツチーム、整形外科クリニック、養護学校、療育園、こども園など多岐にわたり、それぞれの強みを生かした教育を行います。

本学の特長として、理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則で定められた実習以外の実習もこれらのフィールドを活用して行うべく、2020年度は実施に向けた調整を進めました。

③リハビリテーションを实践できる人材の養成

本学は「地域共生社会の実現に資する人材の養成」を教育目標に掲げています。その目標の達成に向け教育課程連携協議会を設置しており、地域の行政関係者、理学療法士会、作業療法士会の会長等と地域でのリハビリテーション職として必要となる技術・能力について意見交換を行い教育に反映させていきます。2025年度目標の年2回の実施に向けて、2020年度は年1回（2021年3月）実施しました。

④開かれた大学として卒業後の知識のアップデートの支援

滋賀県理学療法士会・作業療法士会との連携により、県下の理学療法士・作業療法士に対して研修会を実施します。2020年度には滋賀県理学療法士会と提携に関する協定を締結しました。2021年には具体的な年間計画を策定し、2025年までに各士会と本学の共催を目指します。

また、義務化された臨床指導者講習会も年に1回～2回開催し、実習先の施設の指導者の養成にも取り組み、その上で臨床実習が本格化する2022年度までに現行の実習施設の指導者の講習を終えるとともに、その後も継続して臨床実習指導者講習会を開催し、地域のリハビリテーション専門職の知識向上に貢献していきます。

⑤教育力、研究力向上のための組織的取り組み

教育と研究それぞれについて、FD・SD研修会を毎年定期的で開催します。研究活動については、科学研究費補助金の応募数を増やしていき、単に応募数を増やすだけでなく、採択数を上げるための研修、学内の支援体制を整備していきます。

2025年度目標の年間3回以上、オンライン参加を含め参加率100%に向けて、2020年度には2回の研修会を実施し68.3%の参加率となりました。また、科学研究費補助金に関しては2025年度目標の専任教員の90%の応募率に対して、2020年度には20件の応募となりました。科研費以外の競争的研究資金採択数に関しては、2025年度目標の2件以上に対して、2020年度実績は1件となりました。

⑥施設更新による魅力あるキャンパスづくり

開学に向けて施設の改修、増築を行いました。2020年度には設置計画で購入を予定している三次元動作解析装置等を導入し、学生の学習環境の整備を進めて参ります。2023年度までに学内Wi-Fi環境の整備、教室内の設備のさらなる充実、電子書籍を含めた図書の実用も進めていきます。2023年度以降は、八日市キャンパス等の活用も含め、キャンパスの充実を図る予定です。

⑦独自の修学支援システムを活用したキャリア支援

藍野大学、藍野大学短期大学部、滋賀医療技術専門学校で使用している求人情報システムの更新を2021年度をめどに行います。

⑧地元自治体・各種団体・組織・スポーツチーム等との連携強化

本学の設置の趣旨でもある地域共生社会の実現に向け、2020年度は東近江市、日野町との間に連携・協力に関する協定を提携しました。スポーツチームとしては、滋賀レイクスターズとのアカデミックパートナー契約を継続し、新たに滋賀県理学療法士会と提携に関する協定、認定こども園みのりと教育・連携に関する協定を締結しました。2025年度までには滋賀県及び近隣の市町・各種団体・スポーツチームとの協定締結を進めます。

⑨学生募集の戦略的な取り組み

入学定員および収容定員数の確保は、学校経営における最重要課題です。とくに開設初年度の学生

募集が振るわなかったため、完成年度時の収容定員確保が課題です。基本方針として、志願者数の増加を図ることと同時に、入学者の学力層を高めていく取り組みを進めていきます。

2025年度目標の志願者倍率(2.50)、滋賀県外からの入学者の比率(25%)、収容定員充足率(1.10)に対して、2020年度実績は、それぞれ1.70、約15%、0.73となりました。

⑩高校との連携協定による専門職大学の認知度向上

本学は2019年度に近江兄弟社高校と高大連携協定を締結しました。2020年度にはさらに1校と高大連携協定を締結しました。2025年度までには6校程度と高大連携協定を結び、本学教員の派遣や生徒の受け入れ等を進め、本学の認知度の向上に努めます。

⑪藍野高校及び明浄学院高等学校からのグループ内進学強化

藍野高校に2020年度開設されたメディカルサイエンスコースの生徒が卒業する2022年度に向けて、藍野高校の教員と本学教員の間での意見交換等を踏まえたうえで、高大連携協定を締結、内部進学枠の確保等の整備を進めます。

また、2020年に本法人が支援を行うこととなった明浄学院高等学校からの進学も受け入れることが出来るように体制整備を行います。2025年度の内部進学者数の目標数は5名です。

[事業計画の進捗・達成状況]

①2020年度の教育研究活動と課題

開設初年度の2020年4月の入学生は、理学療法学科44名、作業療法学科14名、計58名と入学定員120名を大きく下回る結果となりましたが、2021年度の入学生は、理学療法学科89名、作業療法学科37名、計126名となり、作業療法学科で入学定員を下回ったものの、学部としては入学定員を上回る学生を迎えることができました。これは、近畿圏で初の専門職大学に対する期待が大きいことに加え、長年専門学校として教育を行ってきた実績により、とくに滋賀県湖東、湖南地域から多くの志願者を集めることができたことによります。

また、広報活動においても、大学独自の奨学金(スカラシップ)制度を設けたこと、1限目の始業時間を遅らせ通学の利便性の向上を図ったことで、数は多くないものの近隣府県からの入学者も増やすことができました。安定した学生確保は大学運営の最重要課題であり、そのためには京都府や岐阜県、また遠隔地から京阪神の大学を目指す志願者を今後も継続して増やす必要があります。

教育環境については、設置計画どおり順調に整備が進んでいます。2020年度に購入予定であった機器備品は予定通り購入し、設置計画で予定していた機器備品の購入は完了しました。

そのほか、新型コロナウイルス感染症の拡大による学事歴の変更はあったものの、教員組織や教育課程の履行においても設置計画どおりに進めることができました。

本学では、教育目的に地域共生社会の実現に貢献することを掲げており、自治体、企業、スポーツ団体や地域コミュニティーなどさまざまな機関等と連携し社会貢献できることを目指しています。2020年度においては、東近江市、日野町、滋賀県理学療法士会、認定こども園みのりと連携協定を結ぶことができ、種々活動を開始しています。

ア. 学生支援体制

学生支援体制として2020年度中に整備したこと、および整備中のものは以下のとおりです。

(ア) スクールバスの一部新規リース運用を行うとともに、ルートも能登川から専門職大学の区間だけでなく、八日市から専門職大学の区間の運行を始め学生の通学利便性を高めました。

(イ) 学生相談については、メールでの申し込み等を受け付けることができるようにし、必要に応じ

て、心理の専門家のカウンセリングを受けることができるようにしました。

(ウ) 学習支援センター、実習支援センターを立ち上げ、学習に何らかの困難を持つ学生の支援のありかた、および今後の学外実習体制について検討を開始しました。

(エ) 新たに開始された修学支援新制度に関する手続きを円滑に行うよう努めたことと、2021年度以降の入学生に向けた本学独自の奨学金制度を策定しました。

学生支援に関しては、サークル・クラブ活動等の正課外活動の推進、学生自治会活動、2020年度はコロナ禍により実施できなかったが学園祭の実施などの体制作りが課題となっており、2021年度に向けて準備している段階であります。

イ. 教育活動

2020年度当初は近隣府県において、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言の発出により、5月末まで登校を停止し、遠隔授業を行うこととなりました。この間、予定していた学外の見学実習の一部を学内で行うなどの影響が出ましたが、6月からは対面授業を全面的に再開し、学事が夏期休業期間にずれ込んだものの授業時間数の遺漏はなく、必要な補講も実施できました。

また、8月には客員教授によるコミュニケーションに関する特別授業も実施し、後期の授業はコロナ禍の影響は受けず、順調に消化できました。

その他、教員の教育・研究能力の向上を目的とし、2020年度中には2回のFD・SD研修会を実施しました。活動に関しては、以下のとおりです。

年月日	テーマ
2020年9月24日	科研費獲得に向けた研修会 科学研究費の申請・獲得に向けて 研究倫理及びコンプライアンスについて
2020年10月27日	自学自習を促すシラバス作成法

2020年度には環びわ湖大学・地域コンソーシアムに参画し、滋賀県内の大学、行政機関との連携を強化するための事業への取り組みを始めました。そのひとつとして単位互換事業があり、滋賀県下の大学・短大の指定する授業の科目履修ができる制度であり、本学も参画しています。2021年度から学生への周知、履修の案内を行う予定です。

また、専門職大学間の連携強化を図るために、専門職大学コンソーシムが発足し、本学も参画しました。今後、情報交換をはじめ、教育での連携も視野に入れて活動を行う予定です。

教育環境に関しては、設置計画に基づき、2020年度も引き続き当初計画どおりに機器備品を導入しました。主な導入機器は以下のとおりです。

	機器名
1	発達検査器具
2	障害者用パーソナルコンピューター
3	競技用車いす
4	各種トレーニング機器
5	電磁センサー
6	三次元動作解析装置

専門職大学に改組するにあたり増築した走行スペースに、三次元動作解析装置を設置し本格的に

稼働させ、教育・研究に活用を始めました。他にも競技用車いす 12 台、各種トレーニング機器の導入も完了し、今後の授業に活用していく予定であります。

各教室に関しては、一部未整備となっていたプロジェクター、スクリーン、マイク等の音響設備を新設及び増設し、教育環境の整備に努めました。

図書館に関しても、設置計画どおり整備を進めています。特に電子書籍等の充実は、新型コロナウイルス感染症のため、大学に来ることができないときでも自宅からアクセスできるように、学生の利便性の向上を図りました。

また、自動車通学を希望する学生も多く、駐車場の整備が急務であります。まずは安全確保のために学生駐車場の街灯整備を行いました。今後も順次整備を進めていく予定です。

ウ. 入試広報

(ア) 入試

昨年度は、(旧) AO 入試や指定校推薦入試が十分実施できなかったこともあり、2020 年度は、総合型選抜入試 ((旧) AO 入試) 方法を受験生にわかりやすく公表し、指定校推薦についても入学金の一部免除制度の導入と併せ、早期に一定の学生確保が図れるよう努めました。

また、コロナ禍による受験振替措置の公表や Web による入学相談を随時受け付けるなどの対応を行いました。昨年度は導入が間に合わなかった Web 出願についても予定通り導入し、出願処理の円滑化、省力化を図りました。

なお、2021 年度から実施される大学入学共通テストを利用した入学者選抜も行い、その関連で本学の教職員を滋賀県立大学に派遣し、同テストの共同実施を行いました。

(イ) 広報

コロナ禍によりもっとも影響を受けたのは広報活動であります。まずオープンキャンパスは、新型コロナウイルス感染症拡大のため、通常の形式での実施は 4 月、5 月は中止としました。その間はオンラインによる学校説明会の実施、動画による学科説明や教員紹介などを実施しました。6 月からは感染症対策を講じたうえで、滋賀県内での会場説明会やオープンキャンパスを実施しました。高等学校への訪問については、幸い滋賀県内における感染拡大が緩やかであったこともあり予定どおり実施できました。その他、後述する地域連携に関する広報活動についても今後強化していきます。

なお、専門職大学の認知度向上を主な目的に、専門職大学コンソーシアムが 2020 年 7 月に発足しました。今後、広報、教務、渉外活動などをおして加盟大学の共存共栄を図ることとなり、有意義な連携を築いてまいります。

(ウ) 高大連携

2019 年度に近江兄弟社高等学校、2020 年度に彦根総合高等学校の 2 校と高大連携協定を締結し、クラブ活動に対する支援や出張講義などを行っています。こうした活動を継続することで、今後、動機が強固で学力にも不安がない生徒の本学入学を促進することが期待できると考えます。

エ. 地域連携

地域や企業との連携の強化も進めていく予定です。現在の滋賀レイクスターズとのアカデミックパートナー契約だけでなく、他の企業との連携を進め、共同研究や実習施設としての協力などを通して、地域社会のなかでの本学の役割を果たしてまいります。

なお、2020 年度には以下の行政機関、団体と協定を締結しました。教員の派遣、事務局の設置な

ど連携事業を実施、計画しています。

区分	協定先	協定名
行政	東近江市	東近江市とびわこリハビリテーション専門職大学との連携協力に関する協定書
行政	日野町	日野町と学校法人藍野大学びわこリハビリテーション専門職大学との地域連携・協力に関する協定書
団体	滋賀県理学療法士会	学校法人藍野大学びわこリハビリテーション専門職大学と公益社団法人滋賀県理学療法士会の提携に関する協定書
団体	認定こども園みのり	学校法人藍野大学 びわこリハビリテーション専門職大学と社会福祉法人みのり 認定こども園みのりとの教育・研究に関する連携協定書

オ. 研究活動

教員の研究を推進するために、地下の倉庫を一部改修し、動物実験室を設置しました。それに伴い各種規程を制定し、本学において動物実験が実施できる環境の整備を進めました。今後さらに研究環境を整備し、研究活動を推進します。

2020年度の科研費の応募数、奨学寄附金等の受け入れ状況は以下のとおりです。

項目	件数
科学研究費補助金新規・継続件数（研究代表者）	6件
科学研究費補助金新規・継続件数（研究分担者）	5件
科学研究費補助金応募件数（採択数）	20件
奨学寄付金受入数	1件

(3) 藍野大学短期大学部

[中期的な計画の進捗・達成状況]

①教育の効果に関すること

2020年4月に立ち上げた発達支援リハビリテーションに特化した訪問看護ステーションが大きな反響を呼び、開設1年目にして多数の利用者様に利用していただきました。また、学生の実習の場としても活用し、地域貢献及び教育活動の大きく寄与することができました。

②教育課程と学生支援に関すること

新型コロナウイルス感染症の拡大により教育課程の大幅な変更を余儀なくされました。4月は全ての科目を休講とし、5月からオンラインによる授業展開、6月末からようやく順次対面授業を取り入れることとなりました。実習に関しても後期から一部実施できることとなり、実習の機会を学生に提供できたことは学生支援の観点からも非常に効果的でありました。また、学生が登校できない期間についてもチューターによる手厚いフォロー体制を整備しました。

③教育資源に関すること

藍野高等学校及び明浄学院高等学校との協定書を締結し、次年度以降の内部進学を強化しました。また、藍野大学短期大学部として人権力を強化することを掲げ、FD研修会を次年度に向け企画しています。さらに、2025年度の短期大学部移転に伴うプロジェクトを立ち上げ、施設設備の充実を検討するとともに大阪茨木キャンパスと大阪富田林キャンパスの統合に向けた検討を継続的に進めました。大学設置基準等の法令に基づきキャンパス充実を図り、よりよい学習環境の整備された施設にするよう検討を進めていきます。

[事業計画の進捗・達成状況]

①主な活動と今後の課題

ア. 教育活動方針

基礎学力の向上を図るため、入学前教育、リメディアル教育の拡充を図ったが、その活用までには至りませんでした。

2020年度、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受け、対面授業を遠隔授業に切り替えることとなり、教育支援システム「manaba」や「respon」を導入し1年を通して活用しました。

また、学生の教育の機会を確保するために「Zoom」を用いて同時双方向性を保ったオンライン形式で授業を行ったり、録画した動画を視聴させた後で質問を受け付けるオンデマンド形式の授業も取り入れました。今後は、学生の授業時間外の学習はもちろんのこと、遠隔授業により自宅学習の時間が増加することを見据え、既存のオンライン教材との連動を図ることを計画しています。

イ. 地域貢献活動の推進

大阪茨木キャンパスは、地域連携推進室を中心に、2016年度から実施している公開講座「健康長寿講座～生き生きと死を迎えるために～」を2020年度も実施することを計画していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、全面中止を余儀なくされました。例年、好評であったこの講座は、今後も継続して実施することを計画していますが、受講者は高齢者を対象としているため、新型コロナウイルス感染症への対策を十分に行う必要があることを踏まえ、実施方法を検討していきます。

また、大阪富田林キャンパスでは、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、例年より少ない回数となりましたが、市民公開講座を9月2日（水）に大阪狭山市子育て支援センターにおいて、親子を対象に「ベビーマッサージ」を参加人数を限定して実施しました。「安心できた」という母親の声を聞き、コロナ禍だからこそやらなければならないこともあると痛感しました。

2014年に富田林市と大阪富田林キャンパスは、法人所有施設の使用に関する協定を締結しており、災害時一時避難場所となっています。防災資機材等の設置については、学内の設置場所の検討結果を富田林市危機管理室と調整中でしたが、2021年度以降に持ち越しとなりました。また、富田林内における避難所すべてに、炊飯等が可能な「かまどベンチ」を設置する事となり、大阪富田林キャンパス内においても中庭に1台設置されました。

ウ. メディカル・ヘルスイノベーション研究所

2018年9月に設置したメディカル・ヘルスイノベーション研究所の3つの領域である医学領域・公衆衛生領域、メンタルヘルス領域、子育て・発達支援領域の各活動は以下のとおりです。

また、研究所の活動を広めるためにホームページを開設しました。

(ア) 医学領域・公衆衛生領域

本学の客員教授・客員准教授の4名に加えて研究員6名の受け入れを継続しました。新型コロナウイルス感染症の影響を受け、研究活動が制限されることもありましたが、各自研究活動を積極的に行っています。

(イ) メンタルヘルス領域

本学学生や教職員はもちろんのこと卒業生や保護者も対象に心理相談を行う窓口の設置、また地域住民を対象に高齢者うつやグリーフケア相談、自死予防などのメンタルヘルスに関する公開講座

の実施やグリーンサポーター養成講座の開講などを企画しています。2020年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を鑑み、これらの企画を実現できませんでしたが、今後の新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を踏まえ、感染対策に留意した実施方法を含めて引き続き企画調整を行います。

(ウ) 子育て・発達支援領域

2020年4月1日から学校法人で行う付随事業として「あいの発達支援リハビリ訪問看護ステーション」を開設することができました。2021年3月1日現在の訪問件数は、延べ808件となっています。新規契約数は順調に増加傾向にあり、茨木市内においては本ステーションが社会的に認知されつつあると考えています。さらに、藍野大学医療保健学部作業療法学科の実習を受け入れ、学生の実習指導も行いました。2021年度は、本学第一看護学科や専攻科の実習施設として、学生を受け入れる予定にしています。また、教員の研究フィールドを確保する観点から、本領域内に次世代訪問看護システム研究会を発足し、8月・11月・12月にZoomを活用したオンラインセミナーを開催しました。引き続き、本ステーションは、以下の役割を担うこととしています。

◇学生の実習場の一つとしての役割を担う。

◇教員の実践能力（実務）の維持・増進の場としての役割を担う。

◇教員の研究フィールドとしての役割を担う。

◇専門職として就職した本学卒業生の質の向上を目的に、自律的に生涯にわたって最新の知識と技術を学び続ける場としての役割を担う。

エ. 教育研究活動の支援

研究や教育活動に貢献した教員に対して表彰を行う制度の整備を行うこととしていましたが制定には至っていません。継続して検討を進める予定です。

副学長・学科長の主導のもと、学術研究への取り組みを促し、科学研究費助成事業等の外部資金の獲得に向け2名の教員が科学研究費助成事業に応募しました。結果は、採択に至りませんでした。次年度においても引き続き積極的な取り組みを促していきます。

また、全教育職員に対して、研究者としての意識向上のために研究倫理教育やコンプライアンス教育の充実を図るため、研究倫理委員会や外部資金の獲得に係る規程の見直しを随時行いました。

その他、教員の学位取得を推進し、2021年3月には2名が修士、1名が博士の学位を取得しました。

オ. 私立大学等改革総合支援事業に選定される取り組み

私立大学等改革総合支援事業に選定される事を目標とし、特色ある教育研究の推進に取り組んでまいりましたが、十分に達成できたとはいえませんでした。

カ. ファカルティ・ディベロップメント（FD）の推進

教員の教育力向上、学生への対応力の向上などを目的に計9回のFD研修を実施しました。本学独自の研修の実施のみならず、藍野大学で開催されたFD研修へも積極的に参加しました。また、新型コロナウイルス感染症の影響により対面による研修の実施が困難でありましたが、「Zoom」や「YouTube」を活用して動画配信形式による研修など工夫して実施しました。

今後は、教職協働を目指すため、FD・SD推進委員会と名称を変え、教育職員のみならず事務職員と共に参加する研修テーマを計画しています。

2020年度 FD 研修

回	日程	内容	講師
1	4月23日	藍野大学 FD 研修 「オンライン授業の概要と zoom の活用方法について」	新潟大学 教育戦略統括室 斎藤有吾先生
2	4月28日	藍野大学 FD 研修 「オンライン授業における classroom と meet の活用方法について」	藍野大学 五十嵐朗先生・林拓世先生
3	5月7日	遠隔授業に向けて ①「YouTube のアカウントの作成方法」 ②「manaba の使用例」	①第一看護学科 竹田秀信先生 ②第一看護学科 中野幸恵先生
4	7月20日	動画配信形式・Zoom 使用 「効果的なプレゼン方法」	特定医療法人 神戸健康共和会 東神戸病院 事務次長 島田尚哉先生
5	8月31日	藍野大学 FD 研修 「オンライン授業の課題と将来展望」	報告者：杉山芳生先生（藍野大学 教学 IR 室） 講師：澁川幸加先生（日本学術振興会特別研究員・京都大学大学院・藍野大学非常勤講師） 講師：岩居弘樹先生（大阪大学サイバーメディアセンター教授・藍野大学非常勤講師）
6	10月下旬～ 11月初旬	動画配信形式 ①コンプライアンス教育・研究倫理教育 ②科学研究費公募説明	①飯田英晴副学長 ②事務センター
7	11月6日	Zoom 使用 「学修支援（発達障がい児について）」	飯田英晴副学長
8	11月30日	Zoom 使用 「発達障がいのある学生へのかかわり方」	足利学学科長 中川栄太副所長
9	2月26日	「アンガーマネジメントについて」	足利学学科長

キ. 自己点検評価

2017年度に受審した一般財団法人短期大学基準協会の第三者評価の結果を踏まえ、独自の評価を行い、活動報告書を作成し学内外へ公開するため、評価方針やマニュアル等の整備を進めていくこととしておりましたが滞っている状況です。2021年度も引き続き取り組んでまいります。

ク. 教育環境の整備

大阪富田林キャンパスは、大講義室が少なかった為、小講義室、教員室、実習室等を改修し、新たに大講義室（最大170名収容）と実習室、commonsを設置しました。

Windows7のサポート終了に伴い、大阪富田林キャンパスの情報処理室のパソコンの入れ替えを行いました。大阪茨木キャンパスでは、前年度から引き続き教員のパソコンの入れ替えを行いました。

②学科の計画

ア. 第一看護学科

（ア）教育内容の充実

a. チューター制の実施

学生の日常生活指導のため、学生から好評を得ているチューター制を引き続き実施しました。その結果、学生は不安なこと困りごとがあると、最初にチューターへ相談するようになり、面倒見の良い教育に繋がったのではないかと考えています。

b. 学内演習の充実

学内演習では複数クラスに分割し、看護技術をより習得しやすくするため環境を整えました。また、1年次の総まとめの科目として位置づけている、統合実践看護での演習を、多領域の臨地実習で応用が可能なりアリティのある内容に改変し、2年次開講の臨地実習直前に看護技術の到達度を確認しました。

c. マナー講座の実施

学生のマナー向上を目的として、第一看護学科においては、1年生を対象とし臨地実習前に外部業者による実習前マナー講座を実施しました。また、本格化する就職活動に向けて就職活動準備講座、履歴書・面接対策講座を実施し、学生の意識と意欲の醸成を図りました。

(イ) 2020年度 看護師国家試験への取り組み

a. 看護師国家試験の結果

新卒			既卒		
受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
91名	80名	87.9%	19名	7名	36.8%

b. 看護師国家試験対策

- ・国家試験対策に専念できるよう後期カリキュラム調整の実施
- ・チューター制度（面談、出席指導）
- ・専任教員による国家試験対策特別講座
- ・習熟度別クラスによる国家試験対策授業の実施
- ・外部講師による国家試験対策講座
- ・保護者への協力依頼（模試成績送付）

以上のことを実施しましたが、国家試験の合格率は全国平均には及びませんでした。これは、成績下位の学生へのアプローチが不十分であったことが要因の一つと考えており、教員の学生への対応を検討する必要があると考えています。

c. 1年生に対する国家試験対策の実施

1年生に対して、国家試験に対する意識付けと学力の把握を行うため、必修試験を3回実施しました。試験の結果については2年次での指導に活用いたします。

(ウ) 藍野高等学校との連携強化

短期大学部と高等学校の教員が、情報交換会等を通じて相互理解を深め、入学後に適切な指導ができるように連携を強化しました。

イ. 第二看護学科

(ア) 教育内容の充実

a. 担当制・チューター制の実施

学生生活への不適応から起こる学習への支障を減らすことで、学生生活が充実したものになるよう、サポート体制を強化しました。また、対面と映像に分かれて講義を行う際は、複数の教員が講義に入り、学習についていけない学生のフォローを行いました。

b. アクティブ・ラーニングの推進

新型コロナウイルス感染症の影響により、計画していたグループディスカッション等については実施する事が出来ませんでした。

c. マナー講座の実施

思いやりの心を持った接遇行動が取れるよう、外部講師によるマナー講座や教職員との関わりを通してマナー向上を図りました。

(イ) 看護師国家試験合格率の向上

a. 専任教員全員によるチューター制の継続、指導の強化

b. 外部講師による国家試験対策講座の実施

c. 臨床での学びと机上の学習を繋げることや、臨床に即応した問題への対応を意識した指導を行うことで、知識の定着を図りました。

d. 看護師国家試験の結果

新卒			既卒		
受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
83名	73名	88.0%	11名	9名	81.8%

以上のことを実施しましたが、国家試験の合格率は全国平均には及びませんでした。

(ウ) 地域貢献活動

市民公開講座として、「ベビーマッサージ」を開催しました。

ウ. 専攻科（地域看護学専攻）

(ア) 教育内容の充実

講義による知識の習得だけでなく、実際に市民を対象に行われている「ゲートキーパー養成講座」や「認知症サポーター養成講座」などの実践的な講座の実施や、関係機関等で従事している様々な専門職、難病当事者などをゲストスピーカーに招き、保健師としての力量形成を図っていくための授業展開を行いました。

また、新型コロナウイルス感染症のため臨地での実習が困難なため、公衆衛生看護実習Ⅱ・Ⅲにおいては、現状に則した活動を学ばせるため、特別講師を招き教育内容の充実を図りました。

ゲートキーパー養成講座

日時	内容	参加学生数
2021年2月26日	自殺危機初期介入スキルワークショップ ～ゲートキーパースキルワークショップ～	16名

認知症サポーター養成講座

高齢者保健指導の講義の1コマとして、認知症サポーター養成講座を実施しました。

日時	参加学生数
2020年7月10日	40名

メンタルヘルスマネジメント検定

心の健康管理の知識と技術を身に付け、将来の保健師活動のスキルアップに役立てることを目的として、メンタルヘルスマネジメント検定試験を実施し、下表のとおり受験しました。受験にあたり、メンタルヘルスマネジメント検定対策講座を2014年度から引き続き実施しました。

受験者			合格者	
Ⅱ・Ⅲ両方	Ⅱ種のみ	Ⅲ種のみ	Ⅱ種	Ⅲ種
29名	3名	0名	27名	29名

(イ) 2020年度 保健師国家試験への取り組み

a. 保健師国家試験の結果

新卒		
受験者	合格者	合格率
40名	39名	97.5%

b. 保健師国家試験対策

- ・保健師国家試験対策模試の実施（計3回）
- ・外部業者（さくら国試サポート）による保健師国家試験対策講座の実施（13コマ）
- ・保健師国家試験対策用教材の導入
- ・専任教員による成績下位学生への面談・指導

以上の取り組みの結果、2020年度の国家試験の結果は97.5%という結果になりました。

(ウ) 専攻科学生の個人研究支援

大学改革支援・学位授与機構の審査による学士の学位取得を促進するため、審査に必要な専攻科学生の個人研究を支援しました。その結果、大学改革支援・学位授与機構への学位申請を予定している学生は22名となりました。

(エ) 地域貢献活動

a. 子育てサロン「だっこ」

2013年度から実施している子育てサロン「だっこ」は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を鑑み、計画していた4回の開催すべての中止を余儀なくされました。2021年度は、感染症対策に留意しながら、開催に向けて実施方法を検討していくこととしています。

b. 例年、茨木市南茨木多世代交流センターにおいて、専攻科学生が健康教育を実施していましたが新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりました。

③学生募集

ア. 大阪茨木キャンパス（第一看護学科・専攻科）

(ア) 学校訪問

2020年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、学校訪問ができませんでした。その代替措置としてオンライン個別相談会の実施やDM発送などを行い、高校・准看護師養成校へのアプローチを進めました。オンライン個別相談会には27名の申し込みがあり、直接の学校訪問はできませんでしたが、一定の効果を得ることができました。

(イ) 広報

学校訪問ができないこともあり、ホームページ情報の拡充に努めました。Web オープンキャンパスのページを新たに作成し、Web 動画を作成することで、実際に来校できない受験生への周知に努めました。また、SNS や DM などの広報ツールに被リンクとして紐付けを行うことで、情報発信の拡散を狙いました。

(ウ) 高大連携・オープンキャンパス

11 月・3 月に山口県にある私立高校へ出張講義を実施しました。短期大学の授業は専門的かつ実践的な内容であるため、高校生にとっては新鮮に映り、興味を持って参加してくれました。2020 年度のオープンキャンパスは対面式での実施ができませんでしたが、Web 形式で開催し、456 名の参加申込者がありました。オンデマンドによる学科紹介や入試説明などに加え、ライブでの双方向の情報発信を行うことで、参加者の疑問点にも答えることができ、好評を得ました。

また藍野高校と高大連携協定を結び、定期的に高大連携協議会を実施することで、グループ内の情報共有と連携を強化していくこととしました。

(エ) 入試制度

2021 年度入試は、「学力の 3 要素」を多面的・総合的に評価する入試方式として実施し、第一看護学科において出願者合計 169 名（前年比 74 名）、専攻科（地域看護学専攻）において出願者合計 279 名（前年比 51 名）となりました。その結果入学者数は、第一看護学科において 140 名、専攻科（地域看護学専攻）において 40 名となりました。

イ. 大阪富田林キャンパス（第二看護学科）

(ア) 新たな入学試験の制度・施策・実施

2020 年度中に行われた 2021 年度入学生に対する入学試験では、大学入試改革として、アドミッション・ポリシーの変更や選抜方法（総合型選抜、学校推薦型選抜、一般選抜、社会人選抜）、「学力の 3 要素」を多面的・総合的に評価できるよう新入試制度を導入しました。早期から勉学に対して明確な目的と意欲を持つ優秀な入学者を確保することができました。入学定員充足率は 125% となり、安定的に定員を確保しています。

2021 年度入学生 第二看護学科入学試験状況（過去 4 年対比表）

入試状況		2021 年	2020 年	2019 年	2018 年	
入試 志願者数	延数合計	146	175	187	207	
	実数合計	138	152	159	168	
	実数内訳	高校生	123	139	131	139
		社会人	15	13	28	29
入学者数		100	96	89	90	
入学定員充足率 (%)		125.0	120.0	111.25	112.5	

(イ) 高大接続・連携の推進と拡大

高大連携事業においては、高大連携協定校との事業内容の充実を図りました。学校法人樟蔭学園樟蔭高等学校内においては、本学の教員が約 60 名の高校生に対し、「心のプロジェクト」と題して、心理学、精神看護学領域、老年看護学領域の各領域について講義形式で実施しました。今後も藍野大学短期大学部での学びに対する理解を深め、自発的に将来の進路について考えることができるプログラムを引き続き推進してまいります。

(ウ) 魅力を的確に発信するたねの訴求コンテンツの見直し及び強化

オープンキャンパスは新型コロナウイルス感染症の影響もあり、来場型(人数制限を実施)と Web 型として実施し、コンテンツの見直しもを行い、合計 226 名(昨年比 19 名減)となりました。

また、出張(模擬)講義、進学説明会、来学者対応及びオープンキャンパス等の接触者(受験生・保護者等)等のステークホルダーに対して、明確で一貫した“強み”や、「良さ・メリット」の周知と「共感・関心」を持たせることにより、新型コロナウイルス感染症の影響により高校生の進学に対する意識低下の中、資料請求者数は 4,349 名(昨年比 97%)となりました。

2020 年度入学生 第二看護学科オープンキャンパス状況・資料請求状況(過去 4 年対比表)

広報状況		2020 年	2019 年	2018 年	2017 年
オープンキャンパス	延数	198	235	186	163
来場者数	実数	148	199	151	154
資料請求者数		4,349	4,484	3,189	3,380

(エ) ブランディング、ブランドの強化

2020 年度の広報戦略において、第二看護学科の付加価値を訴求するため、藍野大学短期大学部内(第二看護学科、専攻科)の進学による 3 年間+1 年間で取得する看護師・保健師の資格と「学士」の取得を推奨し、印刷物やホームページなどでブランディング、ブランド力の強化を図りました。

④ 学生支援

ア. キャンパス共通サポート(大阪茨木キャンパス、大阪富田林キャンパス)

(ア) 高等教育における新たな修学支援制度の適正な運用

2020 年度より新たにスタートした修学支援新制度と授業料減免制度について、文部科学省・日本学生支援機構とも連携しながら、給付希望者に対して年間を通して適正な運用を図りました。また、特段の問題も発生していないこともあり、次年度についても制度対象校として認可を受けられる予定です。

(イ) 新たな求人情報システムの導入

これまで運用している「AINO NAVI」の代わりとして、後継システムの選定を行ってきましたが、本年度中の新規導入には至りませんでした。今後は、次年度中でのテスト運用に向けて継続して取り組んでいきます。

(ウ) スクールカウンセリングの充実

臨床心理士によるスクールカウンセリングを継続して実施しました。大阪茨木キャンパスでは、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、前期はオンライン授業等で登校する機会が少なく面談もできませんでしたが、後期に入って継続的に相談する学生も見受けられました。

また、大阪富田林キャンパスでは、掲示板への学生相談室の案内掲示や「manaba」を利用することで、より周知が進み、定期的に利用する学生はもとより、学位記授与式を終え、就職する直前まで相談に訪れる等、学生相談の窓口として広く定着しました。引き続き、全学的にメンタルヘルスケアの強化に努めます。

イ. 大阪茨木キャンパス(第一看護学科・専攻科)

(ア) 安心・安全な学生生活サポートの強化

学生の生活安全指導に活用するため「学生生活サポートブック」を新規作成しました。年度当初のオリエンテーション時に使用する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により登校できなくなったため、郵送にて全学生に配付しました。また、地元警察による防犯ガイダンスも中止となりました。

(イ) キャリアサポートの充実

就職サポートのさらなる強化を図るために、これまでの各種就職ガイダンスに加えて「面接対策」、「小論文対策」等のより実践的なガイダンスを導入する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響による学事スケジュール再編等で新規実施には至りませんでした。

(ウ) 新たな学生行事の実施

毎年、藍野大学と共同開催で学園祭（あいの祭）を行ってきましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、実施が中止となりました。

ウ. 大阪富田林キャンパス（第二看護学科）

(ア) 学生行事、学生活動の支援

青葉祭、親睦会、スポーツレクリエーション等の学生行事について、新型コロナウイルス感染症の影響によりすべて中止となりました。

(イ) 就職説明会等の実施

就職活動前に対象学生に向けて、求人情報システム AINONAVI の使用方法を説明し活用を促しました。就職活動に必要なマナーや就職に対する意識付けの強化を目的として、2年生を対象として2月に履歴書・面接講座、就職活動準備講座を実施し、1年生を対象として9月にマナー講座を実施し、学生のマナー、身だしなみ、就職に対する意識を高めました。

また、2年生を対象に実習病院を主とした就職説明会を行う予定でありましたが、新型コロナウイルスの影響で中止となりました。3年生に対しては、教員が履歴書の書き方や面接時の注意点など、個別に指導を行いました。

⑤事務運営

スタッフ・ディベロップメント（SD）の推進

例年、知識、技能及びマナーの向上を図り、得た知見を学生支援や事務運営に活かすため、大学行政管理学会総会、大学行政管理学会 財務問題研究会・財務研究グループ合同研究会、日本私立短期大学協会の入試担当者研修会、教務担当者研修会、経理事務担当者研修会、学生生活指導担当者研修会などの研修会に積極的に参加していますが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった研修会が多く、Web開催となった研修会においても、学内の新型コロナウイルス感染症対策や遠隔授業への対応によりほとんどの研修会に参加できませんでした。

今後は、新型コロナウイルス感染症の状況によりませんが、Web開催となる研修会などには積極的に参加し、参加した研修会で得た資料や情報は、担当以外の業務に関しても理解を深めるため、事務職員間で情報交換を行い共有していきます。

(4) 藍野高等学校

[中期的な計画の進捗・達成状況]

①高大連携による重層的かつ一貫性のある教育システム

本校は藍野大学、藍野大学短期大学部のアドミッションポリシーを踏まえ、グループとして育成を

目指す人材像を共有し、教育の連続性によって共通化される教育システムを構築すべく、2025年度目標の結果検証に向けて2020年度は準備を進めました。

②藍野高校からのグループ内進学強化

短期大学部第一看護学科への内部進学により最短で看護師資格取得へのルートを今後も維持していくと同時に、メディカルサイエンスコースからは3年間で看護師受験資格を取得できる短期大学部第二看護学科への内部進学、さらには看護師資格を取得した後、専攻科に進学することにより、4年制大学卒業の認定を受けることができるルートの進学者割合を増やすべく、2025年度目標の内部進学率20%以上に向けて、2020年度は高大接続、連携を強化しました。

③学習到達目標の設定による生徒の意欲と自己学習能力の向上

メディカルサイエンスコースでは各教科の基本プランの充実を促し、学習到達目標の設定を数値化、各学年での目標を明確にすることにより、生徒の学力向上やスキルアップを図るべく教育指導を行っています。

④医療職の実情を体感し、能力・適性にあった進路決定の支援

メディカルサイエンスコースでは、グループ校と連携した授業を展開し、看護系だけではなく医療職の知識を高めることで、自身に適した医療職を探求することを目標としています。大学入試の要件として、キャリアパスポートを導入し、学習成果の可視化ができる環境を整えることを2025年度目標としています。結果検証に向けて、2020年度はその活用準備を進めました。

⑤衛生看護科の特徴を活かした生徒募集

入学した生徒のカリキュラム面での満足度を高めるとともに、藍野大学短期大学部への内部進学をはじめ、藍野大学等グループ内設置校への進学、その他進学面の指導において実績を上げ、さらに、高大連携の熟成を高め、新たなICT教育環境を整備活用したきめ細かい指導など本校独自の取り組みをPRすることで志願者増につなげることを目指しています。2025年度目標の志願者数170名以上に向けて、2020年度の志願者数は、153名となりました。新たなICT教育環境を整備活用したきめ細かい指導については、現在、導入ツールのマッチングなど考察を行っています。

⑥校舎の老朽化への対応

現在の校舎は開学前からの残存建築物の流用であることから、老朽化への対応と共に耐震化対策が喫緊の課題です。2024年4月より新校舎への移転方針が機関決定されており、2020年度は法人事務局と協力し具体的な移転計画に向け準備を開始しました。

⑦藍野大学・藍野大学短期大学部へのグループ内進学強化

藍野大学、藍野大学短期大学部他の内部進学を行うべく、高大連携協議会を定期開催し、内部進学に関する成績条件面など協定内容の調整を進めています。今後、正式な内部進学協定の締結を行います。本校としては、藍野大学への内部進学を希望する生徒には、その進学条件に適合させるための進路指導を行い、高大間合計7年での医療人材育成を行うシステムを強化していきます。

2025年度目標の内部進学者数100名以上に向けて、準備を進めましたが、2020年度の内部進学者数は卒業生123名中、111名（藍野大学短期大学部第一看護学科110名、藍野大学医療保健学部看護学科1名）となりました。

[事業計画の進捗・達成状況]

①教育活動

藍野高等学校（以下「本校」という。）で学ぶ生徒の「興味・関心」、「能力・適性」等の多様化が顕著となる中で、将来を見据えた生徒一人ひとりの可能性を引き伸ばす教育を実践し、一般教科の

基礎・基本的学力の定着と、看護教科の専門知識（衛生看護コース）、並びに各医療専門職に関連した知識（メディカルサイエンスコース）の習得を目標にした取り組みを行いました。

本校では、基礎学力の高い生徒（入学時の成績）の割合が年々多くなってきている一方で、下位層の生徒も例年一定数入学してきている現状があります。本校が継続的に取り組む大きな課題として、上位層の学力をより一層伸ばすとともに、下位層の基礎学力を引き上げていく必要があります。そのため、衛生看護コースにおいては、単に「准看護師試験合格」を目指すのではなく、卒業後、大半の生徒が進学する藍野大学短期大学部での「看護師国家試験合格」に繋げるため、一般教科での基礎学力の更なる向上と、看護教科においては高等学校卒業時における「看護師国家試験の必須問題」クリアを目標に下記のような取り組みを行いました。またメディカルサイエンスコースにおいては、「総合的な探究の時間」を活用して藍野大学との高大連携による論理的な思考を育てる授業を展開し、生徒個々の能力や職業適性を磨き、将来の職業選択のための幅を広げることができるような取り組みを行いました。

一般教科の主な取り組み

- ・シラバスの作成（学習指導要領に即しているか）
- ・教科研修会への積極的な参加
- ・基礎力・実力診断テスト（英・数・国）の実施による生徒の学力把握と補習を含む学習指導の強化
- ・基礎力・実力診断テストによる学力グループの編成と検証
- ・定期考査の補習充実
- ・長期休暇中の課題・補講の実施
- ・学力底上げのための教材準備
- ・学習意欲の高い生徒への支援教材の作成
- ・朝学習の実施（生徒の主体的な学習の取り組み）

看護教科の主な取り組み

- ・シラバスの作成（学習指導要領に即しているか）
- ・教科研修会への積極的な参加
- ・准看護師試験模擬試験の実施（1年生から計画的に実施）
- ・定期考査の補習充実
- ・長期休暇中の准看護師試験対策に関する補講（習熟度別）の実施
- ・看護レポートの書き方等についての表現力養成講座の実施

教育の内容・水準を担保するため、高等学校学習指導要領に沿った内容の授業が展開することはもちろん、より生徒の満足度を高めるための努力を行いました。具体的には、基礎力・実力診断テスト、定期考査の結果を受け、速やかに個別面談を行うとともに成績に応じた適切な教材を作成し、補講を行なうことで学習意欲の向上を図りました。また、教員の資質向上を図るため、教科研修会等に担当教員が積極的に参加し、その成果を教科指導に生かす取り組みなどを行いました。

一方、本校の教育方針である「高い学力と豊かな人間性を備え、将来の社会に貢献できる自立した医療人を育成する」の一環として、基本的な生活習慣とマナーの確立、自主性・主体性の伸長を目指し、挨拶の習慣化や家庭との連携を密にすることに努め、委員会活動・学校行事を通し指導を行いました。

本校の組織運営体制の改善・充実を図るために、学校評価（自己評価・学校関係者評価）を前年度に引き続き実施しました。引き続き PDCA サイクルの意識を高め、改善を進める体制を継続していま

す。看護専門科目については、以下の「教科目標」を定め、昨年度同様に継続して実施しました。

教科目標

看護医療に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、看護の本質と社会的な意義を理解させるとともに、国民の健康の保持増進に寄与する能力と態度を育てることを目標としています。

ア．基礎看護

看護の意義と保健・医療・福祉における看護の役割を理解させるとともに、日常生活の援助及び診療における看護に関する基礎的な知識と技術を習得させ、看護を適切に行う能力と態度を育てる。

イ．人体と看護

看護を実践するために必要な人体に関する知識を習得させ、人体と生活及び環境との関係について理解させる。

ウ．疾病と看護

看護を実践するために必要な疾病、治療及び薬物に関する知識を習得させ、これらと疾病からの回復を促進させるための看護との関連について理解させる。

エ．生活と看護

看護を実践するために必要な精神保健、生活者の健康及び社会保障制度に関する知識を習得させ、社会生活における医療と保健及び福祉との関係について理解させる。

オ．成人看護

成人の心身、生活、保健及び疾病について理解させ、成人の看護に関する知識と技術を習得させるとともに、その看護を行うために必要な基礎的な能力と態度を育てる。

カ．老年看護

高齢者の加齢、生活、保健及び疾病について理解させ、高齢者の看護に関する知識と技術を習得させるとともに、その看護を行うために必要な基礎的な能力と態度を育てる。

キ．精神看護

精神看護の意義と役割及び精神に障害のある人の看護の実際を理解させ、精神看護に関する知識と技術を習得させるとともに、その看護を行うために必要な基礎的な能力と態度を育てる。

ク．在宅看護

在宅看護の意義と役割及び看護の実際を理解させ、在宅での看護に関する知識と技術を習得させるとともに、その看護を行うために必要な基礎的な能力と態度を育てる。

ケ．母性看護

母性の特質、生活、保健及び疾病について理解させ、母性の看護に関する知識と技術を習得させるとともに、その看護を行うために必要な基礎的な能力と態度を育てる。

コ．小児看護

小児の特質、生活、保健及び疾病について理解させ、小児の看護に関する知識と技術を習得させるとともに、その看護を行なうために必要な基礎的な能力と態度を育てる。

サ．看護の統合と実践

看護に関する各科目において習得した内容を臨床で活用できるよう、知識と技術の統合を図るとともに、看護の専門職として必要な能力と態度を育てる。

シ．看護臨地実習

看護に関する各科目において習得した知識と技術を臨床の場で活用し実践する経験を通して、看

護観をはぐくみ、問題解決の能力を養うとともに、チーム医療に携わる様々な職種の役割及び保健医療福祉との連携・協働について理解し、臨床看護を行うために必要な能力と態度を育てる。

ス. 看護情報活用

社会における情報化の進展と情報の意義や役割を理解させるとともに、情報の活用に関する知識と技術を習得させ、看護の分野で情報及び情報手段を主体的に活用する能力と態度を育てる。

②生徒指導・生徒支援体制

ア. カウンセリング機能（相談体制）の充実と生活指導の強化

本校では、生徒の修学や日常的な場面の悩みなどに対して、適切かつ迅速に対応し、生徒が安心して学習に取り組むことができるように、継続した取り組みとして「心の専門家」である臨床心理士をスクールカウンセラーとして配置し、生徒指導担当等の教員と協力のうえ、学校内におけるカウンセリング機能（相談体制）の充実を図っています。

また、初期対応を重要視し、担任、生徒指導担当及び看護教員並びにスクールカウンセラーの定期的なミーティングにより生徒個々の特性を共有するなど、早期からの相談体制の継続した取り組みを行いました。

併せて、将来の医療人として、挨拶、身だしなみ、基本的な社会規範や生活習慣を身に付けさせるための生活指導の強化に努めました。

2020年度 スクールカウンセラー相談件数（前年度対比）

実施時期	延べ件数		増減
	2020年度	2019年度	
4月～6月	30	44	△14
7月～9月	24	6	18
10月～12月	29	14	15
1月～3月	20	48	△28
合計	103	112	△9

イ. 経済的支援

「学業成績優秀学生生徒給付奨学金制度」により、2年次以上の学業成績が優秀であり勉学意欲の旺盛な生徒5名（2年生2名、3年生3名）が本奨学金の給付を受けました。

③准看護師試験

今年度は4～5月の新型コロナウイルス感染症拡大の影響による休校期間などがあり、准看護師試験対策の遅れが出て例年より厳しい状況となりましたが、直前の習熟度別の個別指導に力を入れるとともに、関西広域連合以外の他府県の准看護師試験についても積極的に受験するよう指導しました。結果として、関西広域連合実施の准看護師試験では123名全員が合格することができました。

2020年度卒業生 准看護師試験の結果

学 科	受験者数（人）	合格者数（人）	合格率（%）
衛生看護科	123	123	100

④進学・就職状況

2020年度 衛生看護科進学・就職状況

卒業生数 (人)	進学者数 (人)	就職者数 (人)	未定 (人)
123 (74)	121 (73)	1 (0)	1 (1)

※カッコ内の数値は前年度

⑤自己評価の実施

学校教育法及び同施行規則の学校評価に関する規定に基づき、2019年度の教育活動その他の学校運営状況について設定した目標や具体計画の達成状況、取り組みの適切さ等の自己評価を行ないました。その結果を、保護者等による学校関係者で教育活動の観察や意見交換等を通じて評価を行ない、学校の状況に関する共通理解と連携体制を築くことができました。

また、その結果を対外的にも情報公開し、学校としての説明責任を果たすよう努めました。

⑥生徒募集活動

2020年度は、大阪で唯一准看護師の資格取得が可能である「衛生看護コース」と、藍野大学との高大連携教育を特徴とする「メディカルサイエンスコース」の二つのコースにおける生徒募集を行いました。

前年度までは不透明であった藍野大学短期大学部第一看護学科（准看護師から看護師を養成する2年制コース）の2024年度以降の存続が決定したことは、中学生及び保護者の不安心理を解消し、生徒募集面で好影響をもたらしました。

具体的な募集活動においては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響によりオープンスクールの実施や従来型の中学校訪問活動において、多大な制約を余儀なくされました。その中で本校は、新たな施策として本校の特徴や様子を伝えるための動画制作に注力し、YouTube上への掲載と、中学生や保護者が利用している各種SNSの掲示板等を積極的に活用するPR戦略を展開しました。本校教員による授業動画、学内実習の様子、学校までのアクセス、オープンスクールに参加できなかった中学生のための当日の内容紹介、等々をコンテンツとした専用チャンネルを立ち上げ、15本以上の動画を掲載しました。合計13,000回以上（2021年3月15日現在）の再生回数が記録され、広報ツールとして特筆すべき効果をあげました。

さらに、集客力の高い外部の合同説明会等の外部イベント（大阪私立学校展、東淀川区PTA協議会説明会・五木書房主催進学相談会・和歌山県中学校長会等）に積極的に参加するとともに、難しい訪問環境の中、従来型の中学校訪問や学習塾へのアプローチも可能な限り実施しました。

こういった取り組みが奏功し、最終的には出願者153名（昨年度123名）、入学者数134名（昨年度102名）の結果が得られました。近畿圏の看護系高等学校や大阪府内私立高等学校の約半数が定員割れとなる中で、極めて顕著な募集成果として各校からの注目を浴びる結果となりました。

(5) 滋賀医療技術専門学校

1996年4月に開校した滋賀医療技術専門学校は2021年3月31日をもって閉校しました。2021年4月に開学した、びわこリハビリテーション専門職大学という新たな大学に施設を引き継ぎ、専門学校から専門職大学へと、発展・継承することとなりました。

25年間に渡り、これまで温かいご支援をいただきました地域・保護者の皆様、医療関係者の皆様、学校に関わっていただきました多くの皆様に深く感謝するとともに、皆様のご健勝とご多幸を心からお祈

り申しあげます。

(6) 管理運営の取り組み

[中期的な計画の進捗・達成状況]

①教職員の採用・育成

面倒見の良い学校づくりを進めるためには、教員及び事務職員が本法人に定着し、教育サービスや学修支援サービス等を安定的に供給する必要があります。そのため、教員及び事務職員の平均勤続年数を KPI として設定し、目標値を達成するために、労働条件の改善や働き方改革を進めることとしました。2020 年度における具体的な取り組みとしては、以下の 2 点に取り組みました。

1 点目は、退職金制度の充実化を目的として、一定額を学校法人が全負担し、拠出する新たな制度を開始しました。2 点目は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止や多様な働き方を推進する観点から、在宅勤務や時差出勤を教職員に推奨し、勤務体制の柔軟性を高めました。

2020 年度の達成状況としては、教員の平均勤続年数は 7 年 6 ヶ月、事務職員の平均勤続年数は実績は 8 年 7 ヶ月となりました。2020 年度における事務職員の平均勤続年数は、2019 年度実績と比較し、増加傾向となり、教員の平均勤続年数は、減少傾向となりました。これは、講義や実習等のカリキュラムが原則に定められていることや対面での講義等を余儀なくされる場面が少なからず存在することから、教員においては、柔軟な勤務体制のもと、業務を行うことが困難であったことが要因の一つであったと推測されます。そのため、2021 年度においては、教員の特殊性を考慮した働き方改革を進めたいと考えます。

また、本法人の経営基盤を安定化させ、充実した教育サービスを学生・生徒に提供するためには、事務職員の資質と能力の向上が不可欠です。そのため、事務職員における人事評価の総合評価が B 以上の者の割合を KPI として設定し、目標値を達成するために、必要な SD 研修等を実施することとしました。2020 年度における具体的な取り組みとしては、学校法人に従事する事務職員として必要な知識の向上を目的とした「会計検査院の実施に関する研修」や管理監督者のマネジメント能力等の向上を目的とした「管理職研修」を実施しました。その他、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、心理面が不安定な学生・生徒が増加している状況を考慮し、学生・生徒の心理的負担の軽減に努めるための素養を身につけることを目的とした「アンガーマネジメント研修」を実施しました。

しかしながら、2020 年度においては、新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策や遠隔業の実施、授業のオンデマンド配信等の新規業務の対応に追われていたことを考慮し、人事評価を実施しませんでした。2021 年度においては、人事評価を必ず実施し、実施した研修における効果性を検証し、KPI の目標値の達成に努めたいと考えています。

②安定した財務基盤と積極的な投資

今後の成長に必要な財政基盤の確立を目指して、収入の増加（入学者の確保、未納者及び中途退学者の低減と同時に、補助金や付随事業による収入の拡充に努める）、経費の節減に努めていますが、2020 年度の経常収支差額比率は-2.1%となりました。藍野大学の看護学科及び理学療法学科の収容定員増加の学年進行に伴う教員採用並びにびわこリハビリテーション専門職大学の学年進行に伴う教員採用等による人件費の増加が主な要因であり、今後は、収容定員を増加させた藍野大学の看護学科及び理学療法学科の学年進行並びにびわこリハビリテーション専門職大学の学年進行に伴い、学生生徒等納付金収入の増加が見込まれることから、経常収支差額比率の改善が見込まれます。2025 年度の目標である 6.2%に向け、引き続き事業計画の適正履行に努めてまいります。

教育・研究の充実に向けた積極的な投資戦略については、その一つとして、2020年度からM・L・Cを本格稼働させることができました。それらの設備投資もあり、教育研究経費比率の2020年度の実績は31.8%となり、2025年度の目標である32.0%に近い数値となっています。

さて、このあとの「第三 3. 経営状況の分析、経営上の成果と課題、今後の方針・対応方策」(P.74)においても述べることとなりますが、本法人では、これまで財政収支を安定させるために、様々な財務戦略を講じてきました。特に2008年度の本法人の経営状態は、当時の日本私立学校振興共済事業団の「定量的な経営判断指標に基づく経営状態の区分(2005~12年度版)」で示すところの「B4」(教育研究活動のCFが二年連続で赤字であり、外部負債と運用財産を比較し外部比較が超過している状況)と、当時の区分では最も危機的で危ういレッドゾーンにありましたが、厳格な予算統制を行うために教学組織の理解を得て、財政基盤を安定させてきました。その結果、2013年度には正常状態とされる「A2」(黒字幅: 帰属収支差額比率12.1%)まで回復し、2020年度においては「A3」を確保しました。現在、本法人の運営は安定的に正常な状態を維持しています。

今後、2022年4月には明浄学院高等学校が本法人の設置校に加わることで学校法人として規模が拡大し、純資産と収益基盤となる収容定員が増加します。また、2020年4月に開学したびわこリハビリテーション専門職大学が年を追うごとに学生数が増加していくことから、今後の収入が拡大していくと予想しています。

一方で、2020年に流行した新型コロナウイルス感染症等に対する学生及び教職員の感染予防のための学内整備や急速に進む教育のICT化とIoT化への投資は今後継続して必要となります。長期的な収支バランスを見つつ、今後のキャンパスの機能再編や整備等の取り組みを行い、時代に合った教育環境を整えることで教育の質・満足度の向上に努めます。

なお、校友会組織の強化と扶助会の設立については、2025年度の目標である連携施策の実施に向けて引き続き強化を進めているところであります。

[事業計画の進捗・達成状況]

2020年度に取り組んだ本法人の管理運営の改善及び事業は、次のとおりです。

①学校法人明浄学院が運営する明浄学院高等学校を支援すべく支援契約を締結

本法人は、学校法人明浄学院が運営する明浄学院高等学校を支援し、相互に一層の教育研究活動を発展させることを目的に、2022年4月より明浄学院高等学校は学校法人藍野大学を運営母体として設置者を変更することで合意し、2020年8月18日に支援契約を締結しました。建学の精神「明く・淨く・直く」を掲げる学校法人明浄学院の100年の歴史と伝統を受け継ぐ教育とブランド力を活かし、大阪阿倍野キャンパスで再建を図ることを前提に、人的支援・物的支援・資金的支援を継続的に行ってまいりました。



2021年度も引き続き、教育活動や部活動等の充実と施設・設備への投資を通じて、入学定員充足率の回復と明浄学院高等学校単体として収支が均衡する状態を目指し支援を継続していきます。

また、2020年度末には大阪府の私立学校審議会において設置者変更について「適当である」との答申が出ており、8月から9月頃に正式な認可が下りる予定となっています。2021年度は規程やシステムの移管など設置者変更に向けた具体的な手続きも進めていきます。

②ファシリティ・マネジメント

本法人内の施設について、全般的に老朽化が進んでおり、全体のファシリティ・マネジメントに目を向けなくてはならない状況にあり、2020年度においては、以下の内容を整備した。

ア. 藍野高等学校の屋外運動施設（テニスコート）の整備

2018年に近畿地方を襲った台風12号により大きな被害を受けた藍野高等学校のスポーツ施設を再構築するために、屋外運動施設（テニスコート）を整備しました。

イ. 藍野大学のA~C棟とD棟の間の万年塀及びトイレ他の解体・撤去並びに受電設備の移設

屋外運動施設（テニスコート）の設置に伴い、旧日立の万年塀の一部解体及び給排水管設備の盛替え工事を行いました。

ウ. 藍野大学短期大学部大阪富田林キャンパスの教室・実習室改修工事

大阪富田林キャンパスには100名以上で使用できる講義室が少なく、現状のコロナ禍では密になることを防ぐことができませんでした。小さな講義室の活用よりも大講義室の必要性を重視し、密になることを解消するため、第1実習室を大講義室に、第3教室、第4教室他を解体し第1実習室に改修しました。

また、中講義室の部屋を一部改修し、コロナ禍の状況が変わった後、コモンズとして使用できるスペースを設けました。



エ. 藍野大学短期大学部大阪富田林キャンパスの2階屋上防水及びトップライト防水工事

大阪富田林キャンパスの開設以来手付かずであった第1実習室上部の屋上防水が経年劣化の状況であり、大雨の都度、頻繁に漏水しており防水工事が必要でありました。今般、屋上の状況を調査した結果、屋上防水の経年劣化及びトップライト部からの漏水の可能性が高いことが判明したため、トップライトの撤去及び屋上防水の再施工を実施しました。



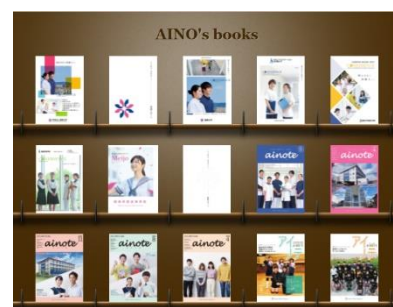
③広報戦略

ア. 学校法人藍野大学の知名度向上

前年度に引き続き、学校法人藍野大学全体の知名度向上のため、主要施設等への看板設置、メディアへのプレスリリース等を行いました。

また、2020年度は新たに学校法人藍野大学の設置校の情報を集約したパンフレットを制作し、学校訪問、オープンキャンパス等で配布しました。

この他にも、本法人では統合報告書、広報誌アイノテ、各設置校パンフレットなど紙媒体の広報物を発行しています。今年度より、これらの冊子をWEB上で一



括して閲覧できるデジタルパンフレット変換システムを導入しました。このシステムの導入により、携帯やパソコンからいつでもデジタルパンフレット閲覧サイトへアクセスし、誰もが手軽に本法人のパンフレットを閲覧できる環境が整いました。

さらに、今年度は YouTube や LINE 等の SNS を活用し、様々な情報を発信することにより、法人全体の知名度向上を目指しました。その結果、法人公式 YouTube で配信した本法人紹介動画の再生回数が 2 万回以上となり、多くの人に本法人の教育活動を知ってもらうきっかけとなりました。今後、本法人の学生・生徒自らが撮影した動画を配信するなど、SNS を学生・生徒の主体的な情報発信の場として活用することにより、より多くの人に本法人の教育活動に興味をもってもらえるよう工夫していきます。

イ. びわこリハビリテーション専門職大学の知名度向上

びわこリハビリテーション専門職大学の知名度向上のため、昨年度に引き続き、高等学校・予備校訪問をはじめ、メディアへのプレスリリース、新聞広告掲出、駅看板の掲出等を積極的に実施しました。

また、2020 年度は WEB 広告を実施し、近畿圏内での知名度向上の強化を図りました。主に、大阪府・京都府・滋賀県・福井県等、びわこリハビリテーション専門職大学への進学者が見込める府県にターゲットを絞り、リスティング広告を実施することで、オープンキャンパスへの来場者獲得、資料請求数の増加等を目指しました。リスティング広告の掲出先としては、受験者層である若者の利用が多い Google、Instagram、Twitter、LINE 等に加え、保護者層が多く利用する Yahoo! 内に広告を掲出し、認知度を高められるよう工夫しました。

その他、JR 南草津駅及び近江八幡駅のサインボードに、びわこリハビリテーション専門職大学の看板広告を設置し、滋賀県内における認知度向上を図りました。

結果、びわこリハビリテーション専門職大学リハビリテーション学部の志願者数は 2019 年度の 74 名に対し、2020 年度は 208 名となり 134 名増加しました。

2020 年度 広報活動

パンフレット	法人全体パンフレット 広報誌アインテ デジタルパンフレット変換システム (e-book5) 統合報告書
ポスター	在学生応援メッセージポスター (広報誌 ainote11 月号内企画)
プレスリリース	大学プレスセンター
新聞	読売新聞「進学特集 2021」、日本私立大学協会教育学術新聞 (新年名刺交換広告、入学要項連合案内)
WEB 広告	リスティング広告 (Google、Yahoo!、Instagram、Twitter、LINE)
看板広告	デジタルサイネージ (JR 京都駅橋上マルチビジョン) JR 駅看板 (摂津富田・山科・彦根・能登川・近江八幡) JR 駅構内サインボード (南草津・近江八幡) 南海大阪狭山市駅看板 電柱看板
SNS	法人公式 YouTube、LINE

④ 人事業務の効率化を目指したシステムの導入

本年度の取り組みの一つとして、給与明細電子化クラウドの導入を行いました。学校法人の事務職員においては、教育・研究及び組織の管理運営を行うための業務が多岐にわたっており、また、果たすべき役割の重要性が高まっていることから、今後も業務量の増加が推測されます。加えて、近年で

は、自然災害や新型コロナウイルス感染症拡大等、突発的な事象により、迅速かつ的確な対応が求められることも多発しています。上述の状況において、限られた人員で業務を行うためには、業務の効率化を図ることは必須であるため、その一環として、給与明細電子化クラウドの導入を行った次第であり、今後も年末調整業務等の IT 化を検討しています。

⑤情報インフラネットワークの発展的な利用

ア. ネットワーク環境整備のための、藍野大学 E 棟コンセント型アクセスポイントの設置

近年、IoT サービスの急速な拡大により、個人が複数の Wi-Fi 接続端末を持つ時代となりました。しかしながら作業療法学科教員室である E 棟に、有線に繋ぐ市販無線ルーターの設置や、教員以外の不特定多数が利用できるアクセスポイントを設置すると、ネットワーク障害や情報漏えい等事故につながる恐れがあります。それを踏まえて、E 棟各教員室に Wi-Fi アクセスポイントを高性能のまま超小型化し、コンセント内に収めました。

コンセント型アクセスポイントは高速通信が可能である IEEE802.11ac に対応し、教員室ごとに SSID とパスワードが設定されているため、その部屋のユーザーだけが安全かつ快適に利用できます。また、電源工事が不要な為、設置コストの削減ができます。

イ. 証明書自動発行システム（パピルスメイト）の設置

従来、事務職員を介して発行していた各種証明書の発行を完全自動化、完全キャッシュレス化し、学生は必要な時に学生証（電子マネーedy 機能を搭載した非接触型 IC カード）を使い、即時に分かりやすいインターフェースで証明書を発行できるようになりました。それにより窓口業務の負担軽減や、現金収納処理業務の負担軽減とともに、学生サービスの向上を行いました。また、パピルスメイトは証明書発行機としての利用だけではなく、学内における各種申請、申込書の発行も可能なため、様々なシーンで活用できます。

キャッシュレスモデル
CASHLESS MODEL



ウ. 運用 SE 業務、ヘルプデスク業務、授業支援業務を担う SE の常駐化

M・L・C（メディカル・ラーニング・コモンズ）設立に伴い、高度化したネットワーク及び各種システム、機器・設備等の維持、管理を行い、教職員の業務負担の軽減や学生サービスの向上を目的として、相応のスキルを持つ SE（システムエンジニア）が M・L・C 内に常駐しています。常駐 SE は、各種システム等の維持、管理の他、日々巧妙化、高度化していくサイバー攻撃に対するセキュリティ対策や、サーバを含む情報基盤の日々の点検、障害対応など運用業務、その他、学生・教職員からのヘルプデスク業務、教育支援システム・遠隔授業システムのサポートなど授業支援業務を行っています。

エ. 学生食堂食券販売機の完全キャッシュレス化

現金収納処理業務の負担軽減や盗難・紛失・紙幣詰まりなど事故防止と、新型コロナウイルス感染予防対策として現金に触れない衛生面の向上及び学生証やスマートフォンでの簡単決済による学生サービスの向上を目的として、学生食堂 ALBUS の食券販売機を完全キャッシュレス化しました。AINOPIA1F ファミリーマートで非接触型 IC カードへの現金のチャージが可能であり、スマートフォンでも決済が可能のため、学生、教職員からも好評で、運用開始当初から大きな混乱や事故も無く稼働しています。

⑥Faculty Development (FD)・Staff Development (SD) 活動について

2020 年度に行った FD・SD 活動は次のとおりです。なお、本法人は 2016 年 4 月 1 日施行の「学校

法人藍野大学「改正職員研修制度」に基づき、研修体系を次のとおり分類しています。

学校法人藍野大学 改正職員研修制度 研修体系及び2020年度実施研修

ア. 職場内研修

イ. 職場外研修

(ア) 職掌・職能資格別研修

(イ) 職位別研修

a. 管理職位研修

名称	開催日時	場所	対象	内容	講師	参加人数
SD研修 管理職位研修	2月15日	オンライン	事務職員	管理監督者の役割とマネジメントについて	垣尾和彦（大阪茨木キャンパス事務局長）	33

b. 監督職位研修

c. 専門職位研修

(ウ) 目的別研修

a. 全体研修

名称	開催日時	場所	対象	内容	講師	参加人数
【藍野大学】 FD・SD研修	8月31日	オンライン	教職員 (他設置校・非常勤講師含む)	2020年遠隔授業アンケートおよび授業アンケート結果に関する報告 オンライン授業方法のステップアップ オンライン授業における今後の展開～オンライン授業と対面を組み合わせたブレンド型学習の可能性	杉山芳生（藍野大学非常勤講師／教学IR室） 澁川幸加（日本学術振興会特別研究員・京都大学大学院・藍野大学非常勤講師） 岩居弘樹（大阪大学サイバーメディアセンター教授・藍野大学非常勤講師）	108
【藍野大学】 FD研修（コンプライアンス教育研修会）	9月3日	藍野大学 F402講義室	教育職員	研究不正、ハラスメントの起こりにくい組織文化の協創	波多野浩道（藍野大学医療保健学部長）	57
【藍野大学】 FD研修	3月16日	F201講義室及びオンライン	教職員	めまい・平衡医学の研究から内耳再生医療まで	伊藤壽一（滋賀県立総合病院研究所 所長）	52
【藍野大学】 FD・SD研修	3月22日	オンライン	教職員	藍野大学における教学マネジメントと学修成果の可視化	斎藤有吾（新潟大学准教授） 杉山芳生（藍野大学非常勤講師／教学IR室）	49

b. 実務研修

名称	開催日時	場所	対象	内容	講師	参加人数
【藍野大学】 FD・SD研修	4月23日	オンライン	教職員 (他設置校・非常勤講師含む)	オンライン授業の概要とzoomの活用方法について	斎藤有吾（新潟大学准教授）	145
【藍野大学】 FD・SD研修	4月28日	オンライン	教職員 (他設置校・非常勤講師含む)	オンライン授業におけるclassroomとmeetの活用方法について	五十嵐朗（藍野大学医療保健学部臨床工学科教授） 林拓世（藍野大学医療保健学部臨床工学科講師）	56

【藍野大学短期大学部】 FD 研修	5月7日	藍野大学短期大学部大阪茨木キャンパス情報処理室	教職員	遠隔授業に向けて「YouTube」のアカウントの作成方法 「manaba」の使用例	竹田秀信（藍野大学短期大学部第一看護学科講師） 中野幸恵（藍野大学短期大学部第一看護学科講師）	16
【藍野大学短期大学部】 FD・SD 研修	7月1日 7月20日	オンライン	教職員	効果的なプレゼン方法	島田尚哉（特定医療法人神戸健康共和会東神戸病院 事務次長）	13
【藍野大学】 FD 研修（研究倫理に関する研修会）	9月3日	藍野大学 F402 講義室	教職員	新規指針「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」と研究倫理審査申請書作成の基本	水谷陽一（中央研究施設施設長／藍野大学医療保健学部臨床工学科教授）	60
【藍野大学】 FD・SD 研修	9月11日	藍野大学 F402 講義室	教職員	科研費採択に向けた効果的な戦略について	本多容子（藍野大学医療保健学部看護学科長） 五十嵐朗（藍野大学医療保健学部臨床工学科教授）	32
【びわこリハビリテーション専門職大学】 FD 研修 科研費獲得に向けた研修会	9月24日	びわこリハビリテーション専門職大学 3F 大教室	教職員	科学研究費の申請・獲得について、申請の注意点や推奨書式などについての説明。eAPRIN についての説明	山内正雄（びわこリハビリテーション専門職大学理学療法学科長） 石川由美（藍野大学事務センター学生支援グループ係長）	33
【藍野大学】 FD・SD 研修	10月16日	オンライン	教職員	ハラスメントに発展させない学生・保護者への対応～心理学の観点から	足利学（藍野大学短期大学部第一看護学科長）	78
【藍野大学短期大学部】 FD 研修	10月下旬～11月初旬	オンデマンド	教職員	コンプライアンス教育	飯田 英晴（藍野大学短期大学部副学長）	33
【びわこリハビリテーション専門職大・滋賀医療技術専門学校】 FD・SD 研修 シラバス作成に向けた研修会	10月27日	びわこリハビリテーション専門職大学 3F 大教室	教職員	自学自習を促すシラバス作成法	大山牧子（大阪大学全学教育推進機構助教）	25
【藍野大学短期大学部】 FD・SD 研修	11月6日	藍野大学短期大学部大阪富田林キャンパス第3講義室及びオンライン	教職員	学修支援（発達障がい児について）について	飯田英晴（藍野大学短期大学部副学長）	40
【藍野大学短期大学部】 FD・SD 研修	11月30日	オンライン	教職員	発達障がいのある学生へのかかわり方について	足利学（藍野大学短期大学部第一看護学科長） 中川栄太（あいの発達支援リハビリ訪問看護ステーション副所長）	35
SD 研修 会計検査院の実施について	12月3日	オンライン	事務職員	会計検査院の実施について	垣尾和彦（大阪茨木キャンパス事務局長）	15
FD・SD 研修 アンガーマネジメントについて	2月26日	オンライン	教職員	感情をコントロールし、適切な問題解決やコミュニケーションにつなげるための手法を身につけることについて	足利学（藍野大学短期大学部第一看護学科長）	87
FD・SD 研修 アンガーマネジメントについて	3月9日	オンライン	教職員	感情をコントロールし、適切な問題解決やコミュニケーションにつなげるための手法を身につけることについて	足利学（藍野大学短期大学部第一看護学科長）	69

- c. 国内研修
- d. 海外研修
- e. 新任職員研修・2年目職員研修・3年目職員研修
- f. 次世代リーダーズ育成研修
- ウ. 外部団体研修
- エ. 自己啓発研修

第三 財務の概要

1. 決算の概要

(1) 貸借対照表関係

①貸借対照表の状況と経年比較

(単位：千円)

年 度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
固定資産	11,562,801	11,329,472	11,669,692	14,068,843	15,611,784
流動資産	2,903,977	3,787,979	5,068,516	3,564,855	2,742,459
資産の部合計	14,466,779	15,117,451	16,738,208	17,633,698	18,354,243
固定負債	534,625	1,035,300	2,425,530	2,909,812	3,689,843
流動負債	2,768,091	2,660,779	2,570,011	3,018,400	3,066,915
負債の部合計	3,302,717	3,696,079	4,995,542	5,928,212	6,756,758
基本金	15,936,796	16,249,214	16,245,503	16,014,947	16,770,087
繰越収支差額	△4,772,734	△4,827,843	△4,502,836	△4,309,462	△5,172,602
純資産の部合計	11,164,062	11,421,371	11,742,666	11,705,485	11,597,485
負債及び純資産の部合計	14,466,779	15,117,451	16,738,208	17,633,698	18,354,243

②財務比率の経年比較

比率名	算式	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	全国平均
運用資産余裕比率	$\frac{\text{運用資産} - \text{外部負債}}{\text{経常支出}}$	0.6年	0.7年	0.7年	0.04年	-0.3年	1.95年
流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	104.9%	142.4%	197.2%	118.1%	89.4%	251.8%
総負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{総資産}}$	22.8%	24.4%	29.8%	33.6%	36.8%	12.2%
前受金保有率	$\frac{\text{現金預金}}{\text{前受金}}$	118.1%	159.2%	224.4%	155.2%	108.8%	348.8%
基本金比率	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$	93.4%	94.8%	95.4%	85.0%	86.6%	97.2%
積立率	$\frac{\text{運用資産額}}{\text{要積立額}}$	48.7%	60.3%	87.1%	69.0%	53.2%	78.5%

(2) 資金収支計算書関係

①資金収支計算書の状況と経年比較

(単位：千円)

収入の部	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
学生生徒等納付金収入	3,088,658	3,092,851	3,010,921	2,904,022	3,004,509
手数料収入	61,757	58,616	56,760	61,101	64,129
寄付金収入	3,377	5,578	2,565	6,063	9,088

補助金収入	339,157	376,986	422,620	425,060	572,091
資産売却収入	25,708	6,595	0	0	6,121
付随事業・収益事業収入	97,594	84,345	86,263	81,605	68,566
受取利息・配当金収入	1,829	2,456	78	52	1,682
雑収入	77,278	77,997	118,145	102,873	64,848
借入金等収入	300,000	700,000	1,552,000	348,000	1,000,000
前受金収入	2,430,108	2,352,094	2,240,868	2,260,035	2,484,611
その他の収入	54,707	8,076	35,901	49,503	29,540
資金収入調整勘定	△2,387,440	△2,440,041	△2,359,252	△2,265,155	△2,269,548
前年度繰越支払資金	2,403,426	2,870,044	3,744,197	5,027,758	3,507,546
収入の部合計	6,496,162	7,195,599	8,911,070	9,000,919	8,543,187
支出の部	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
人件費支出	1,933,463	1,922,451	1,857,632	1,887,411	2,141,229
教育研究経費支出	651,157	696,468	691,063	813,617	823,181
管理経費支出	386,077	478,464	464,633	524,364	463,976
借入金等利息支出	15,988	10,299	7,285	11,466	14,010
借入金等返済支出	240,000	226,000	197,875	183,325	144,996
施設関係支出	259,681	25,534	595,851	2,076,116	239,670
設備関係支出	84,293	62,476	99,686	508,744	261,283
資産運用支出	0	20,000	0	200,000	200,000
その他の支出	128,091	98,367	83,535	109,326	1,841,493
資金支出調整勘定	△72,634	△88,660	△114,251	△820,998	△290,656
翌年度繰越支払資金	2,870,044	3,744,197	5,027,758	3,507,546	2,704,003
支出の部合計	6,496,162	7,195,599	8,911,070	9,000,919	8,543,187

②活動区分資金収支計算書の状況と経年比較

(単位：千円)

科目	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
教育活動による資金収支					
教育活動資金収入計	3,667,824	3,696,374	3,697,276	3,565,087	3,783,233
教育活動資金支出計	2,970,698	3,097,384	3,013,330	3,225,393	3,428,387
差引	697,125	598,990	683,946	339,693	354,845
調整勘定等	18,775	△75,587	△99,143	359,085	△104,285
教育活動資金収支差額	715,901	523,402	584,802	698,779	250,560
施設設備等活動による資金収支					
施設整備等活動資金収入計	25,708	1,051	0	15,638	6,121
施設整備等活動資金支出計	343,974	88,010	695,538	2,784,860	700,954
差引	△318,266	△86,959	△695,538	△2,769,222	△694,833
調整勘定等	△14,858	△226	27,560	372,158	106,801

	施設設備等活動資金収支差額	△333,124	△87,185	△667,977	△2,397,064	△588,031
	小計（教育活動資金収支差額+施設設備等活動資金収支差額）	382,777	436,217	△83,174	△1,698,284	△337,471
その他の活動による資金収支						
	その他の活動資金収入計	345,857	709,038	1,576,335	388,536	1,004,247
	その他の活動資金支出計	262,016	271,102	209,600	210,463	1,470,385
	差引	83,841	437,936	1,366,734	178,073	△466,138
	調整勘定等	0	0	0	0	66
	その他の活動資金収支差額	83,841	437,936	1,366,734	178,073	△466,071
	支払資金の増減額（小計+その他の活動資金収支差額）	466,618	874,153	1,283,560	△1,520,211	△803,543
	前年度繰越支払資金	2,403,426	2,870,044	3,744,197	5,027,758	3,507,546
	翌年度繰越支払資金	2,870,044	3,744,197	5,027,758	3,507,546	2,704,003

③財務比率の経年比較

教育活動資金収支差額比率

比率名	算式	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	全国平均
教育活動資金収支差額比率	$\frac{\text{教育活動資金収支差額}}{\text{教育活動資金収入計}}$	19.5%	14.2%	15.8%	19.6%	6.6%	14.4%

(3) 事業活動収支計算書関係

①事業活動収支計算書の状況と経年比較

(単位：千円)

		科目	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	3,088,658	3,092,851	3,010,921	2,904,022	3,004,509
		手数料	61,757	58,616	56,760	61,101	64,129
		寄付金	3,377	5,578	2,565	10,264	11,491
		経常費等補助金	339,157	376,986	422,620	409,422	572,091
		付随事業収入	97,594	84,345	86,263	81,605	68,566
		雑収入	79,676	79,792	119,820	104,364	66,941
		教育活動収入計	3,670,222	3,698,169	3,698,951	3,570,780	3,787,728

		科目	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
教育活動収支	事業活動支出の部	人件費	1,933,463	1,922,451	1,857,632	1,888,911	2,143,429
		教育研究経費	936,174	987,201	983,525	1,036,149	1,206,174
		管理経費	437,045	522,483	511,350	566,211	504,044
		徴収不能額等	2,185	800	0	0	0
		教育活動支出計	3,308,867	3,432,936	3,352,508	3,491,272	3,853,648
教育活動収支差額			361,354	265,233	346,442	79,507	△65,919

		科目	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
教育活動外収支	事業活動収入の部	受取利息・配当金	1,829	2,456	78	52	1,682
		その他の教育活動外収入	0	0	0	0	0

		教育活動外収入計	1,829	2,456	78	52	1,682
	事業活動支出の部	科 目	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
		借入金等利息	15,988	10,299	7,285	11,466	14,010
		その他の教育活動外支出	0	0	0	0	0
		教育活動外支出計	15,988	10,299	7,285	11,466	14,010
教育活動外収支差額			△14,159	△7,843	△7,207	△11,413	△12,327
経常収支差額			347,194	257,389	339,235	68,093	△78,246
	特別収支	科 目	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
		資産売却差額	172	0	0	0	3,465
		その他の特別収入	0	0	0	15,638	31,298
		特別収入計	172	0	0	15,638	34,763
	事業活動支出の部	科 目	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
		資産処分差額	0	80	17,940	120,912	64,517
		その他の特別支出	0	0	0	0	0
		特別支出計	0	80	17,940	120,912	64,517
特別収支差額			172	△80	△17,940	△105,274	△29,753
予備費							
基本金組入前当年度収支差額			347,367	257,309	321,294	△37,180	△108,000
基本金組入額合計			△406,867	△312,418	0	△200,000	△755,139
当年度収支差額			△59,500	△55,108	321,294	△237,180	△863,140
前年度繰越収支差額			△4,748,233	△4,772,734	△4,827,843	△4,502,836	△4,309,462
基本金取崩額			35,000	0	3,711	430,555	—
翌年度繰越収支差額			△4,772,734	△4,827,843	△4,502,836	△4,309,462	△5,172,602
(参考)	事業活動収入計		3,672,223	3,700,625	3,699,029	3,586,470	3,824,175
	事業活動支出計		3,324,856	3,443,316	3,377,734	3,623,651	3,932,176

②財務比率の経年比較

比率名	算式	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	全国平均
人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入}}$	52.7%	51.9%	50.2%	52.9%	56.6%	53.2%
教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{経常収入}}$	25.5%	26.7%	26.6%	29.0%	31.8%	33.5%
管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{経常収入}}$	11.9%	14.1%	13.8%	15.9%	13.3%	8.9%
事業活動収支差額比率	$\frac{\text{基本金組入前当年度収支差額}}{\text{事業活動収入}}$	9.5%	7.0%	8.7%	-1.0%	-2.8%	4.7%
学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{経常収入}}$	84.1%	83.6%	81.4%	81.3%	79.3%	75.1%
経常収支差額比率	$\frac{\text{経常収支差額}}{\text{経常収入}}$	9.5%	7.0%	9.2%	1.9%	-2.1%	4.2%

※財務比率につきましては、原則、小数点以下第2位を四捨五入して小数点第1位まで記入しています。

※全国平均は令和2年度版「今日の私学財政」における「令和元年度財務比率表（大学法人（医歯系除く）」によります。

※単位表示は、千円未満切り捨てのため、合計等が一致しない場合があります。

2. その他

(1) 有価証券の状況

区分	銘柄	数量	帳簿価額	時価	表示科目
株式	(株) 藍野大学事業部	400 口	20,000 千円	—	有価証券
計		400 口	20,000 千円		

※非上場株式であり、市場価額はありません。

(2) 借入金の状況

(単位：千円)

借入先	期末残高	利率	返済期限	担保等
日本私立学校振興・ 共済事業団	1,900,000	0.01%	2026年3月17日	土地・建物
		0.50%	2038年9月15日	土地・建物
		0.50%	2039年9月15日	土地・建物
りそな銀行	667,504	0.39818%	2022年3月31日	土地
		0.32818%	2030年3月29日	土地・建物
関西みらい銀行	1,037,500	0.800%	2022年3月31日	土地・建物
		0.67818%	2022年4月30日	土地・建物
合計	3,605,004	—	—	—

(3) 学校債の状況

本法人は、学校債の発行はしていません。

(4) 寄付金の状況

本法人は租税特別措置法施行令第26条の28の2第1項第2号に規定する要件を満たす法人として、卒業生や保護者、教職員、民間団体・企業などを対象とし、本法人が設置する学校の校舎増改築および設備充実事業その他教育活動の充実のために必要な経常経費に充当することを目的に寄付金募集を行っています。

2020年度 寄付金募集状況

(単位：千円)

対象	種類	件数	金額
4月～3月	一般寄付金収入	17件	808

(5) 補助金の状況

2020年度における補助金交付額は572,091千円となりました。内訳は以下のとおりです。

(単位：千円)

補助金名称	対象校	交付額
私立大学等経常費補助金	大学・短期大学部	236,271
授業料等減費交付金	大学・専門職大学・短期大学部・専門学校	106,068
大阪府私立高等学校等経常費補助金	高等学校	177,981
大阪府他高等学校等授業料支援補助金	高等学校	48,445
大阪府私立高等学校等就学支援金事務費他	高等学校他	3,324
合計		572,091

(6) 収益事業の状況

該当事項はありません。

(7) 関連当事者等との取引の状況

①関連当事者

(単位：千円)

属性	役員、法人等の名称	資本金又は出資金	事業の内容又は職業	議決権の所有割合	関係内容		取引の内容	取引金額	勘定科目	期末残高
					役員の兼任等	事業上の関係				
役員及びその近親者が議決権の過半数を所有している法人	医療法人恒昭会(茨木市高田町)	-	病院	-	兼任3人	実習施設	健康診断委託等	14,372	-	
							実習費	3,313	-	
						賃貸契約	賃貸収入	35,541	前受金	228

②出資会社

(単位：千円)

会社の名称	事業内容	資本金等	出資割合		取引の内容	役員の兼任・報酬の有無等
			学校法人	その他		
株式会社 藍野大学事業部	<ul style="list-style-type: none"> ・書籍販売、各種物品販売業務 ・施設設備のメンテナンス業務 ・人材派遣業務 ・学生食堂・コンビニ経営 ・運用SE業務 	20,000	20,000 (100%)	0 (0%)	書籍、各種物品販売、施設設備のメンテナンス、人材派遣、学生食堂、コンビニ経営等を行い、教育研究活動の満足度向上に貢献している	兼任3人 報酬無し

3. 経営状況の分析、経営上の成果と課題、今後の方針・対応方策

本法人では、これまで財政収支を安定させるために、様々な財務戦略を講じてまいりました。特に、12年前の2008年度の本法人の経営状態は、当時の日本私立学校振興・共済事業団の「定量的な経営判断指標に基づく経営状態の区分」(2005年～2012年度版)で示すところの「B4」(教育研究活動のCFが2年連続で赤字であり、外部負債と運用財産を比較し外部負債が超過している状況)であり、当時の区分では最も危機的で危ういレッドゾーンにありましたが、厳格な予算統制を支えるために教学組織の理解を得て、財政基盤を安定させてきました。具体的には中期事業計画に基づく中期財務計画を、期中において月次資金収支計画の予実管理をもとにセグメント別月次資金収支計画・セグメント別月次事業活動収支計画等の情報に纏め、執行部の構成員がメンバーとなる合同運営委員会で示し、法人事務局経営企画センター・IR経営企画グループの職員が予算執行状況を教学組織に説明することで、厳格な予算統制を確立してきました。

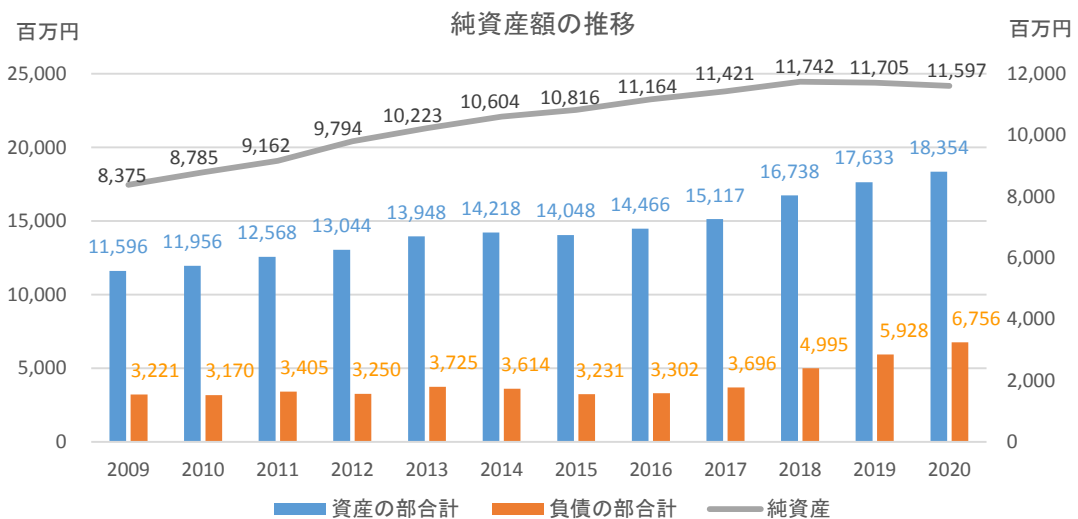
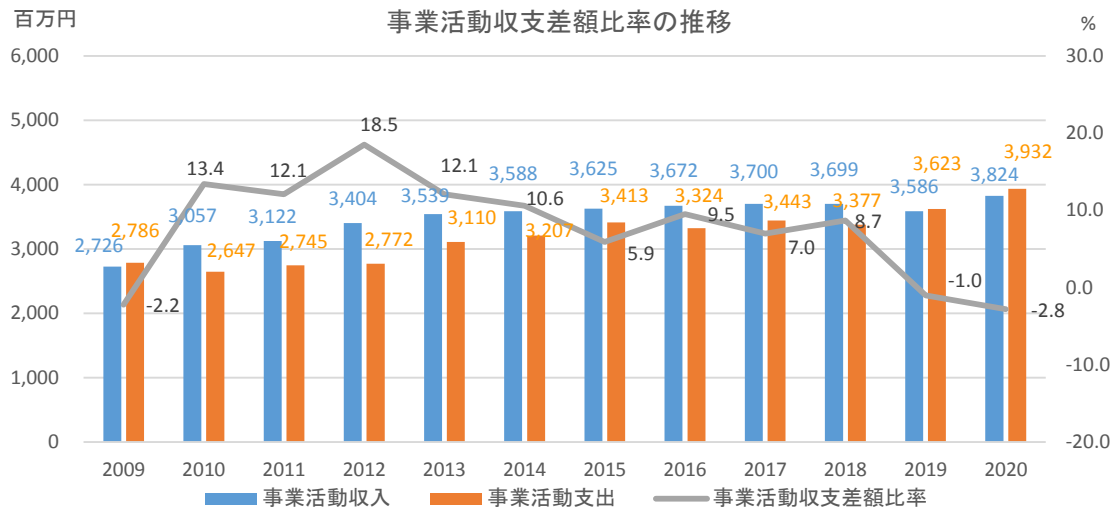
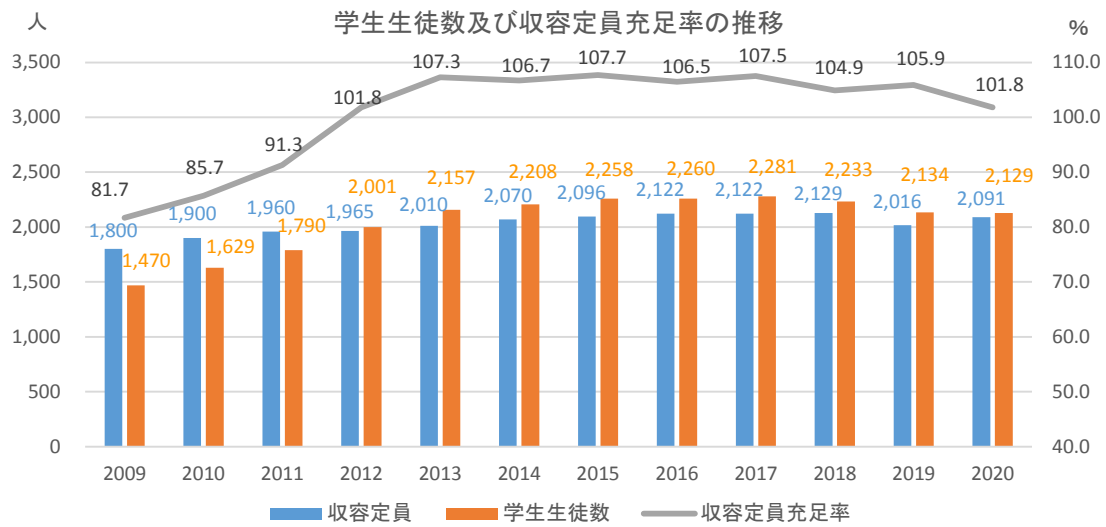
この取り組みにより、2013年度には正常状態とされる「A2」(黒字幅：帰属収支差額比率12.1%)まで回復し、2020年度においては「A3」を確保し、現在、本法人の運営は安定的に正常な状態を維持しています。

さて、2009年度決算と2020年度決算を対比すると、事業活動収入(2014年度までは帰属収入)が27億2,689万円から10億9,728万円(40.2%)増の38億2,417万円となっています。事業活動収入と事業活動支出の差額である事業活動収支差額も2006年度の△4億700万円が低値で、2009年度までマイナスの状態でしたが、経営改善計画の適正履行と種々の改革を断行し、2010年度は4億1,000万円のプラス収支(黒字経営)に改善し、以後、2018年度までプラス収支(黒字経営)の状態を継続してきました。2019年度においては特別支出(資産処分差額)を1億2,091万円計上したことにより△3,718万円、2020年度においてはM・L・Cへの設備投資や、藍野大学の看護学科及び理学療法学科の収容定員増加の学年進行

に伴う教員採用並びにびわこリハビリテーション専門職大学の学年進行に伴う教員採用等による人件費の増加もあり、△1 億 800 万円となっております。今後は、収容定員を増加させた藍野大学の看護学科及び理学療法学科の学年進行並びにびわこリハビリテーション専門職大学の学年進行に伴い、学生生徒等納付金の増加が見込まれることから、事業活動収支差額の改善が見込まれます。

なお、貸借対照表上の純資産額については、2009 年度 83 億 7,527 万円から 2020 年度 115 億 9,748 万円へと、この 12 年間で 32 億 2,221 万円内部留保させることができています。

本法人は、今後とも、認証評価の結果を踏まえて中期的な計画及び事業計画を作成し、それを適正履行するなかで、さらなる財政収支の安定を目指してまいります。





学校法人 藍野大学

〒567-0011 大阪府茨木市高田町1番22号

<http://www.aino.ac.jp/>